

第2章 九州と各国・地域の貿易

1. 九州と韓国の貿易

1-1. 韓国の経済概況

国名	大韓民国
面積	約10万km ² (朝鮮半島全体の45%、日本の約4分の1)
人口	約5,127万人(出典:2016年、韓国統計庁)
首都	ソウル
人種	韓民族
言語	韓国語
宗教	宗教人口比率53.1%(うち仏教:42.9%、プロテスタント:34.5%、カトリック:20.6%、その他:2.0%)。社会・文化に儒教の影響を色濃く受ける。
政体	民主共和国
主要産業	電気・電子機器、自動車、鉄鋼、石油化学、造船

出所：外務省HP「国・地域」（基礎データ“一般事情”）より九州経済産業局作成。

図表 2-1-1 韓国のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.3	2.8	2.9	3.1	2.7
名目GDP総額	10億ドル	1,411	1,383	1,415	1,540	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	27,811	27,105	27,608	29,938	—
輸出額	億ドル	5,727	5,268	4,954	5,737	6,049
	前年比(%)	2.3	▲ 8.0	▲ 5.9	15.8	5.4
輸入額	億ドル	5,255	4,365	4,062	4,785	5,352
	前年比(%)	1.9	▲ 16.9	▲ 6.9	17.8	11.9
貿易収支	億ドル	472	903	892	952	697
対日貿易収支	億ドル	▲ 216	▲ 203	▲ 231	▲ 283	▲ 241
鉱工業生産指数	前年比(%)	0.2	▲ 0.3	2.2	2.5	1.3
失業率	(%)	3.5	3.6	3.7	3.7	3.8
消費者物価指数	前年比(%)	1.3	0.7	1.0	1.9	1.5
直接投資受入額	億ドル	190	209	213	229	269 *
為替レート(1ドル)	ウォン	1,052.96	1,131.16	1,160.43	1,130.43	1,100.56
為替レート(1ウォン)	円	0.10	0.10	0.09	0.10	0.10

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」（平成31年3月）、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成。

1-2. 九州と韓国の貿易動向

●2018年の九州の対韓国貿易額

輸出総額：8,324億円（前年比18.4%減） → 3年ぶりのマイナス

輸入総額：2,904億円（前年比3.2%増） → 2年連続のプラス

差引額：5,420億円（前年比▲26.7%）

●輸出品目（輸出額多い順）半導体等製造装置、半導体等電子部品、自動車

〈寄与度↑〉自動車（+1.1%）、鉄鋼くず（+0.6%）

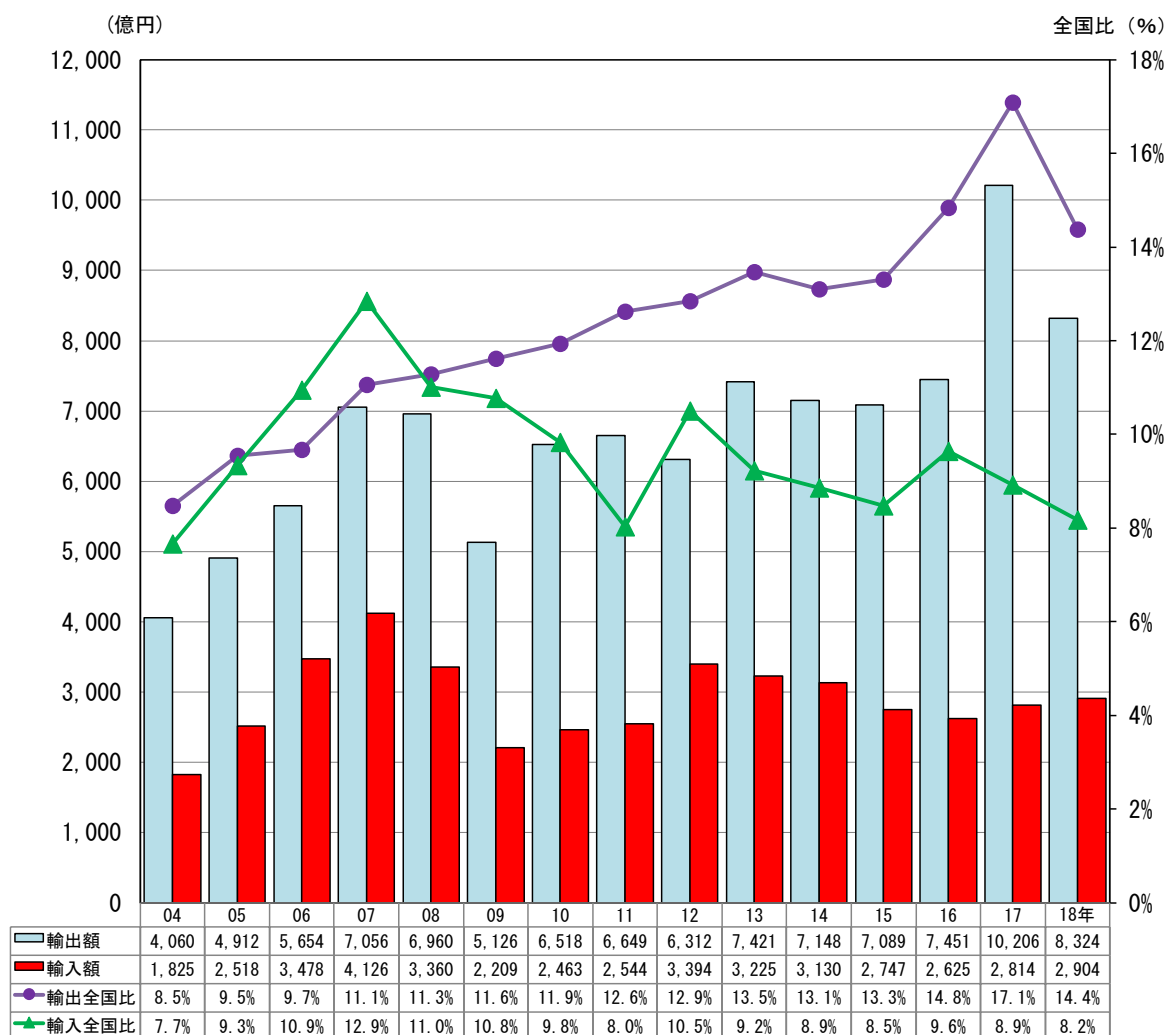
〈寄与度↓〉半導体等製造装置（▲12.3%）、半導体等電子部品（▲6.3%）

●輸入品目（輸入額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、石油製品、有機化合物

〈寄与度↑〉石油製品（+6.8%）、有機化合物（+4.7%）

〈寄与度↓〉鉄鋼のフラットロール製品（▲1.7%）、鉄鋼製構造物及び同建設材（▲1.6%）

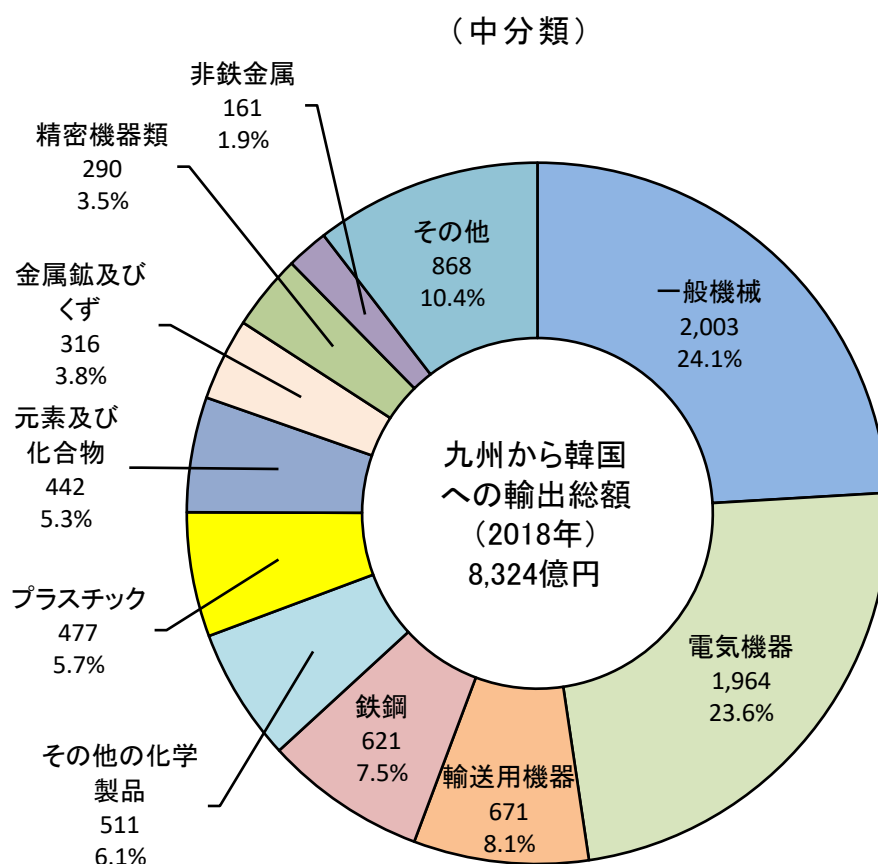
図表 2-1-2 九州の対韓国貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-1-3 九州から韓国への輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等製造装置	一般機械	1,611	19.4%	▲43.8%	25.6%
半導体等電子部品	電気機器	1,543	18.5%	▲29.6%	60.2%
自動車	輸送用機器	619	7.4%	22.5%	79.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	560	6.7%	▲11.8%	21.5%
有機化合物	元素及び化合物	343	4.1%	▲26.6%	11.3%
科学光学機器	精密機器類	289	3.5%	▲10.9%	11.6%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	281	3.4%	30.0%	16.7%
電池	電気機器	95	1.1%	33.6%	50.7%
無機化合物	元素及び化合物	92	1.1%	57.8%	7.6%
映像機器	電気機器	73	0.9%	▲9.4%	46.3%
その他		2,817	33.8%	—	—
総 額		8,324	100%	▲18.4%	14.4%

寄与度（増加分）：自動車（＋1.1%）、鉄鋼くず（＋0.6%）等

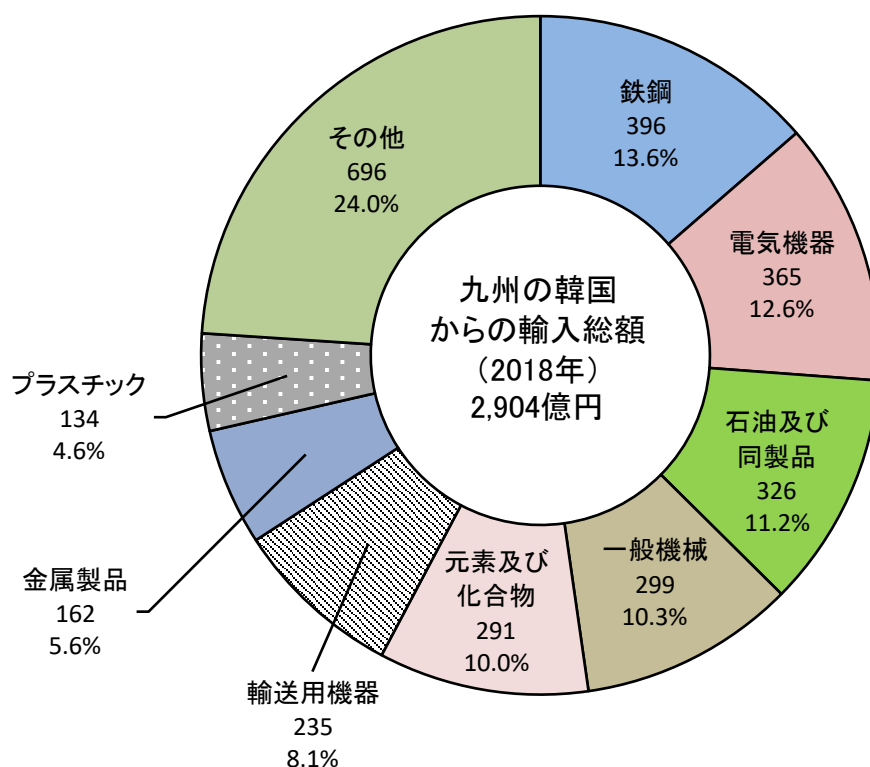
寄与度（減少分）：半導体等製造装置（▲12.3%）、半導体等電子部品（▲6.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-1-4 九州の韓国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	345	11.9%	▲12.2%	14.5%
石油製品	石油及び同製品	326	11.2%	142.8%	6.0%
有機化合物	元素及び化合物	250	8.6%	111.9%	14.2%
自動車の部分品	輸送用機器	227	7.8%	▲10.7%	28.9%
半導体等電子部品	電気機器	93	3.2%	▲23.2%	3.8%
鉄鋼製構造物及び同建設材	金属製品	83	2.9%	▲34.9%	21.2%
半導体等製造装置	一般機械	59	2.0%	▲31.0%	10.3%
電気回路等の機器	電気機器	56	1.9%	12.5%	23.5%
野菜	果実及び野菜	53	1.8%	▲17.6%	16.8%
原動機	一般機械	51	1.8%	▲33.7%	12.1%
その他		1,360	46.8%	-	-
総 額		2,904	100%	3.2%	8.2%

寄与度（増加分）：石油製品（＋6.8%）、有機化合物（＋4.7%）等

寄与度（減少分）：鉄鋼のフラットロール製品（▲1.7%）、鉄鋼製構造物及び同建設材（▲1.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

2. 九州と中国の貿易

2-1. 中国の経済概況

国名	中華人民共和国
面積	約960万km ² (日本の約26倍)
人口	約13.76億人
首都	北京
人種	漢民族(総人口の約92%)及び55の少数民族
言語	漢語(中国語)
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教など
政体	人民民主共和制
主要産業	第一次産業(名目GDPの8.6%)、第二次産業(同39.8%)、第三次産業(同51.6%) (注)労働集約・外需主導型産業がけん引する「世界の工場」として第二次産業を中心に発展してきたが、2012年に第三次産業の比率が第二次産業の比率を逆転。

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-2-1 中国のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.3	6.9	6.7	6.8	6.6
名目GDP総額	10億ドル	10,535	11,226	11,222	12,015	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	7,702	8,167	8,116	8,643	—
輸出額	億ドル	23,423	22,735	20,976	22,633	24,870
	前年比(%)	6.0	▲ 2.9	▲ 7.7	7.9	9.9
輸入額	億ドル	19,592	16,796	15,879	18,438	21,359
	前年比(%)	0.5	▲ 14.3	▲ 5.5	16.1	15.8
貿易収支	億ドル	3,831	5,939	5,097	4,196	3,511
対日貿易収支	億ドル	▲ 135	▲ 72	▲ 159	▲ 283	▲ 329
鉱工業生産指数	前年比(%)	8.3	6.1	6.0	6.6	6.2
失業率(都市部)	(%)	4.1	4.1	4.0	3.9	3.8
消費者物価指数	前年比(%)	2.0	1.4	2.0	1.6	2.1
直接投資受入額	億ドル	2,681	2,425	1,748	1,661	2,035 *
為替レート(1ドル)	人民元	6.14	6.23	6.65	6.76	6.62
為替レート(1人民元)	円	17.25	19.44	16.37	16.60	16.69

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

2-2. 九州と中国の貿易動向

● 2018 年の九州の対中国貿易額

輸出総額：1兆5,359億円（前年比18.7%増） → 2年連続のプラス

輸入総額：1兆162億円（前年比4.9%増） → 2年連続のプラス

差引額：5,207億円（前年比+1,955億円）

● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等製造装置、有機化合物

〈寄与度↑〉自動車（+6.9%）、半導体等製造装置（+6.6%）

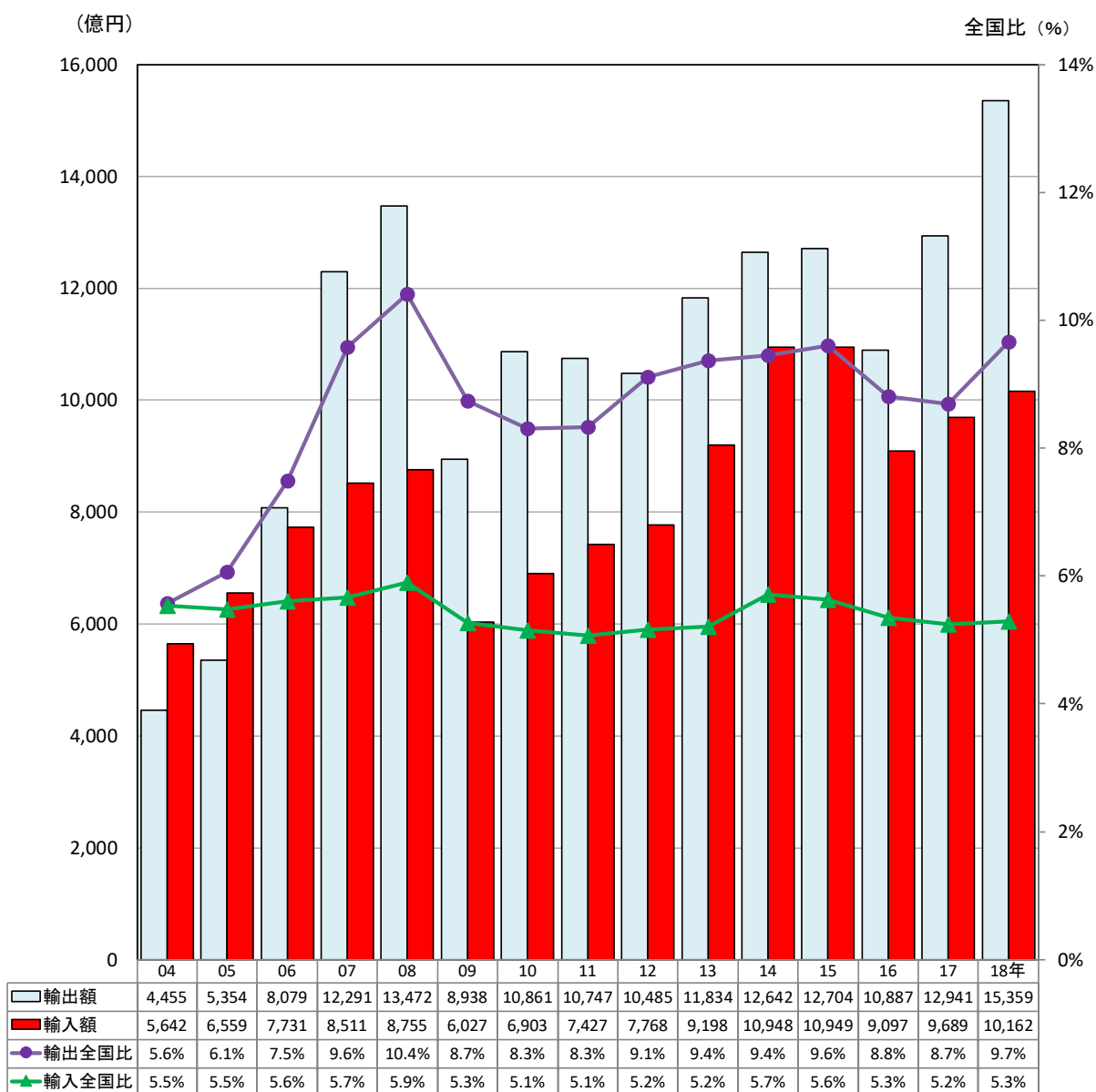
〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲1.3%）、抗生物質製剤（▲0.5%）

● 輸入品目（輸入額多い順）自動車の部分品、半導体等電子部品、有機化合物

〈寄与度↑〉無機化合物（+1.9%）、石油製品（+0.7%）

〈寄与度↓〉電気回路等の機器（▲0.9%）、自動車の部分品（▲0.6%）

図表 2-2-2 九州の対中国貿易額の推移

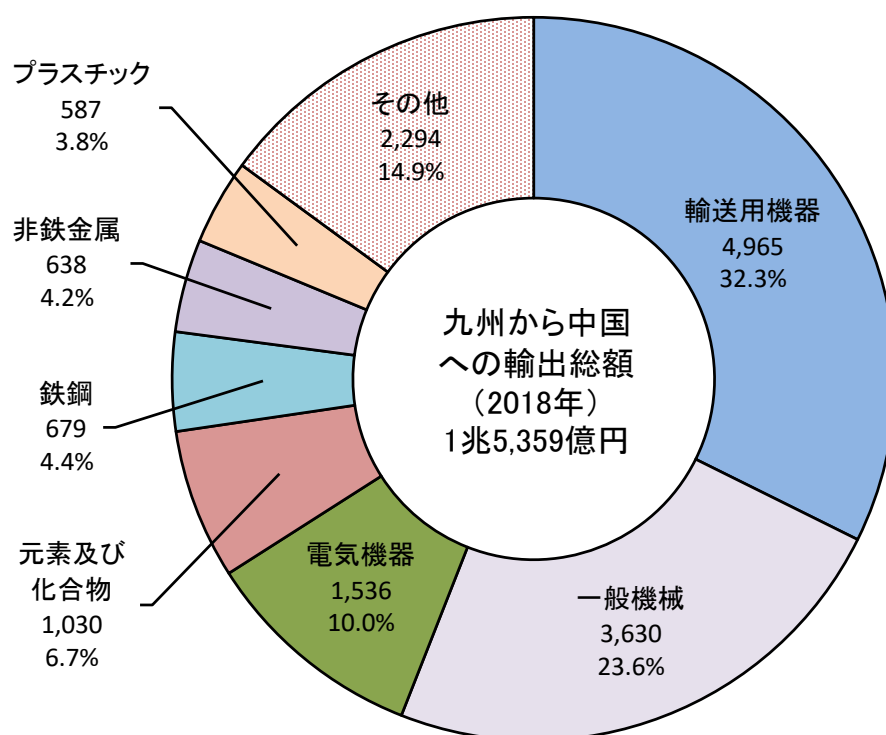


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-2-3 九州から中国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	4,906	31.9%	22.4%	76.9%
半導体等製造装置	一般機械	2,270	14.8%	59.6%	21.0%
有機化合物	元素及び化合物	954	6.2%	8.4%	12.2%
半導体等電子部品	電気機器	696	4.5%	▲19.5%	6.3%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	616	4.0%	4.1%	15.6%
銅及び同合金	非鉄金属	587	3.8%	7.5%	23.9%
原動機	一般機械	547	3.6%	13.4%	10.6%
科学光学機器	精密機器類	216	1.4%	18.6%	2.6%
映像機器	電気機器	206	1.3%	96.1%	18.0%
電気回路等の機器	電気機器	169	1.1%	▲26.2%	2.8%
その他		4,191	27.3%	—	—
総 額		15,359	100%	18.7%	9.7%

寄与度（増加分）：自動車（＋6.9%）、半導体等製造装置（＋6.6%）等

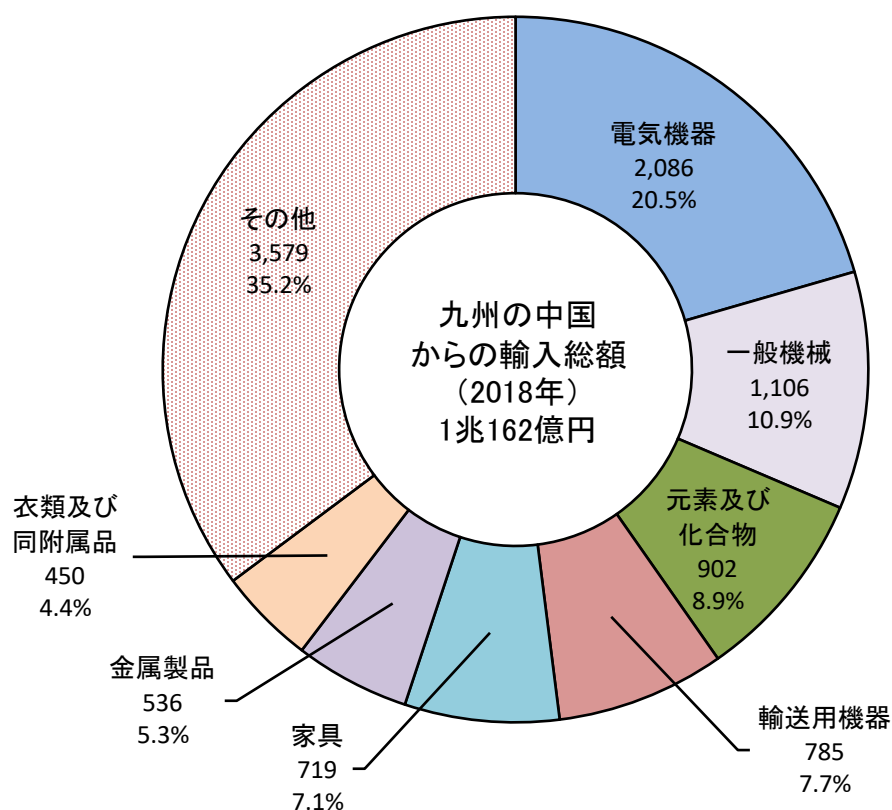
寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲1.3%）、抗生物質製剤（▲0.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-2-4 九州の中国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車の部分品	輸送用機器	627	6.2%	▲8.4%	17.8%
半導体等電子部品	電気機器	551	5.4%	0.8%	11.0%
有機化合物	元素及び化合物	452	4.4%	▲2.1%	11.6%
無機化合物	元素及び化合物	435	4.3%	71.6%	13.8%
電気回路等の機器	電気機器	280	2.8%	▲24.6%	10.0%
野菜	果実及び野菜	253	2.5%	5.1%	9.3%
家庭用電気機器	電気機器	245	2.4%	16.7%	5.7%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	243	2.4%	▲6.9%	2.6%
加熱用・冷却用機器	一般機械	219	2.2%	20.2%	7.5%
プラスチック製品	その他の雑製品	208	2.0%	3.4%	5.4%
その他		6,649	65.4%	—	—
総 額		10,162	100%	4.9%	5.3%

寄与度（増加分）：無機化合物（＋1.9%）、石油製品（＋0.7%）等

寄与度（減少分）：電気回路等の機器（▲0.9%）、自動車の部分品（▲0.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

3. 九州と台湾の貿易

3-1. 台湾の経済概況

国・地域名	台湾
面積	3万6千km ² (九州よりやや小さい)
人口	約2,359万人(2018年12月現在)
主要都市	台北、台中、高雄
言語	中国語、台湾語、客家語等
宗教	仏教、道教、キリスト教
政体	三民主義(民族独立、民権伸長、民生安定)に基づく民主共和制 五権分立(行政、立法、監察、司法、考試)
主要産業	電子・電気、化学品、鉄鋼金属、機械

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-3-1 台湾のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	4.0	0.8	1.5	3.1	2.6
名目GDP総額	10億ドル	531	526	531	573	－
一人当たりGDP(名目)	ドル	22,639	22,374	22,541	24,292	－
輸出額	億ドル	3,201	2,853	2,803	3,172	3,359
	前年比(%)	2.8	▲ 10.9	▲ 1.8	13.2	5.9
輸入額	億ドル	2,819	2,372	2,306	2,593	2,863
	前年比(%)	1.4	▲ 15.8	▲ 2.8	12.4	10.4
貿易収支	億ドル	382	481	498	580	496
対日貿易収支	億ドル	▲ 218	▲ 193	▲ 211	▲ 212	▲ 211
鉱工業生産指数	前年比(%)	6.4	▲ 1.3	2.0	5.0	3.6
失業率	(%)	4.0	3.8	3.9	3.8	3.7
消費者物価指数	前年比(%)	1.2	▲ 0.3	1.4	0.6	1.3
直接投資受入額	億ドル	28	24	93	33	70 *
為替レート(1ドル)	台湾元	30.37	31.91	32.33	30.44	30.16
為替レート(1台湾元)	円	3.49	3.79	3.37	3.68	3.66

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

3-2. 九州と台湾の貿易動向

● 2018 年の九州の対台湾貿易額

輸出総額：3,742 億円（前年比 0.4%減） → 2 年ぶりのマイナス

輸入総額：3,136 億円（前年比 1.0%増） → 2 年連続のプラス

差引額：606 億円（前年比 7.1%減）

● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、半導体等電子部品、有機化合物

〈寄与度↑〉自動車（+3.2%）、銅及び同合金（+1.0%）

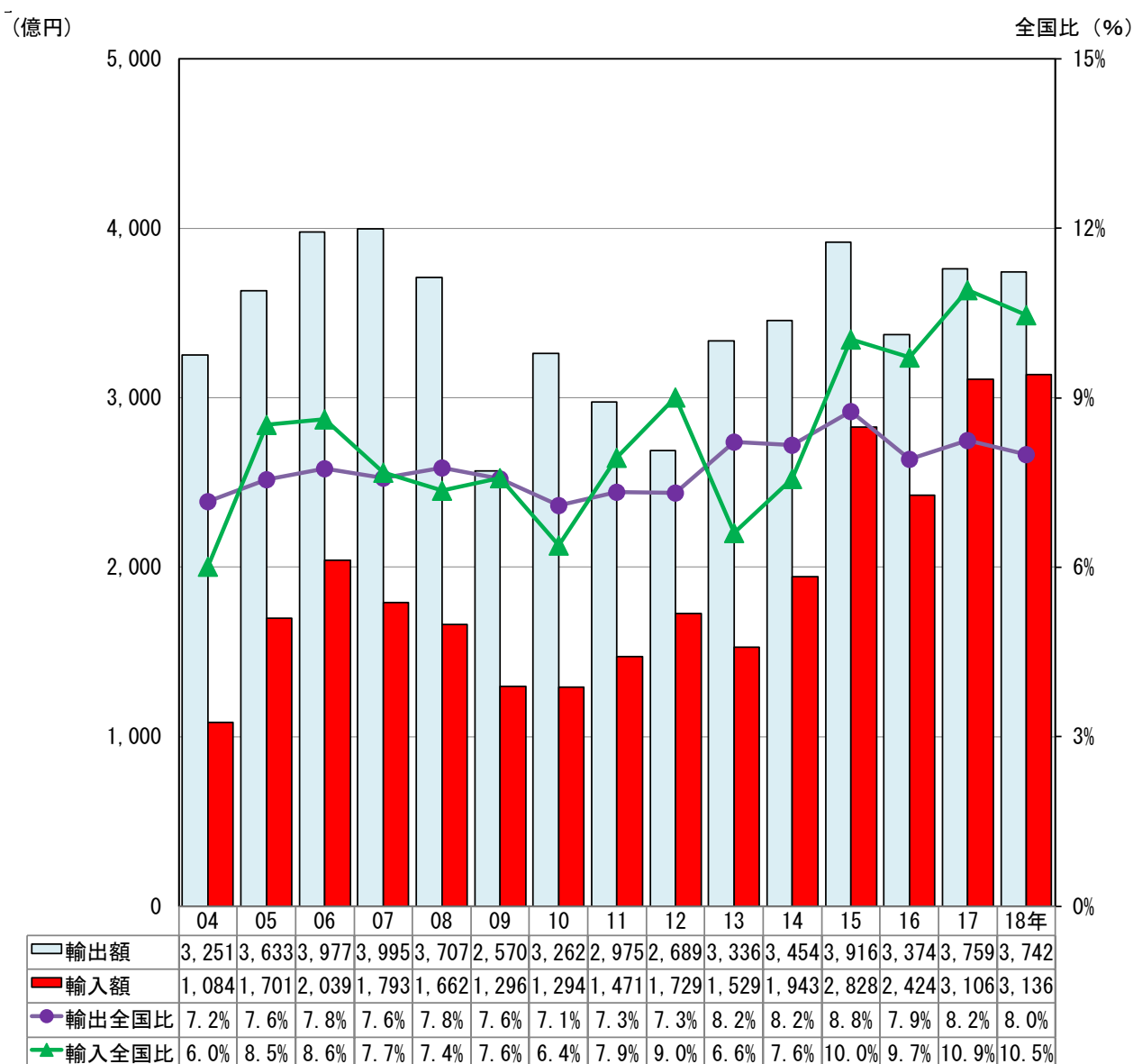
〈寄与度↓〉原動機（▲4.0%）、ポンプ及び遠心分離機（▲1.3%）

● 輸入品目（輸入額多い順）半導体等電子部品、科学光学機器、有機化合物

〈寄与度↑〉有機化合物（+1.7%）、非鉄卑金属くず（+0.5%）

〈寄与度↓〉半導体等電子部品（▲3.1%）、科学光学機器（▲0.8%）

図表 2-3-2 九州の対台湾貿易額の推移

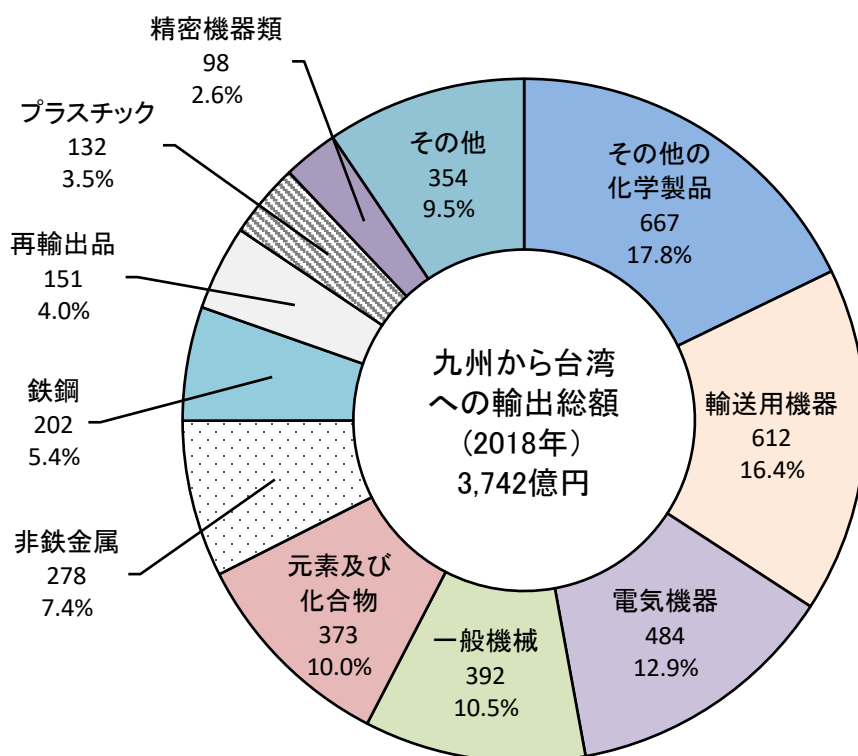


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-3-3 九州から台湾への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	589	15.7%	25.4%	22.7%
半導体等電子部品	電気機器	359	9.5%	▲7.5%	5.0%
有機化合物	元素及び化合物	267	7.1%	1.7%	13.3%
銅及び同合金	非鉄金属	228	6.1%	19.6%	14.3%
半導体等製造装置	一般機械	194	5.2%	▲12.0%	4.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	139	3.7%	0.4%	20.4%
科学光学機器	精密機器類	98	2.6%	▲10.4%	7.4%
無機化合物	元素及び化合物	95	2.5%	▲2.0%	14.6%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	36	1.0%	▲57.0%	7.9%
ベアリング及び同部分品	一般機械	32	0.9%	6.1%	16.4%
その他		1,706	45.4%	—	—
総 額		3,742	100.0%	▲0.4%	8.0%

寄与度（増加分）：自動車（＋3.2%）、銅及び同合金（＋1.0%）等

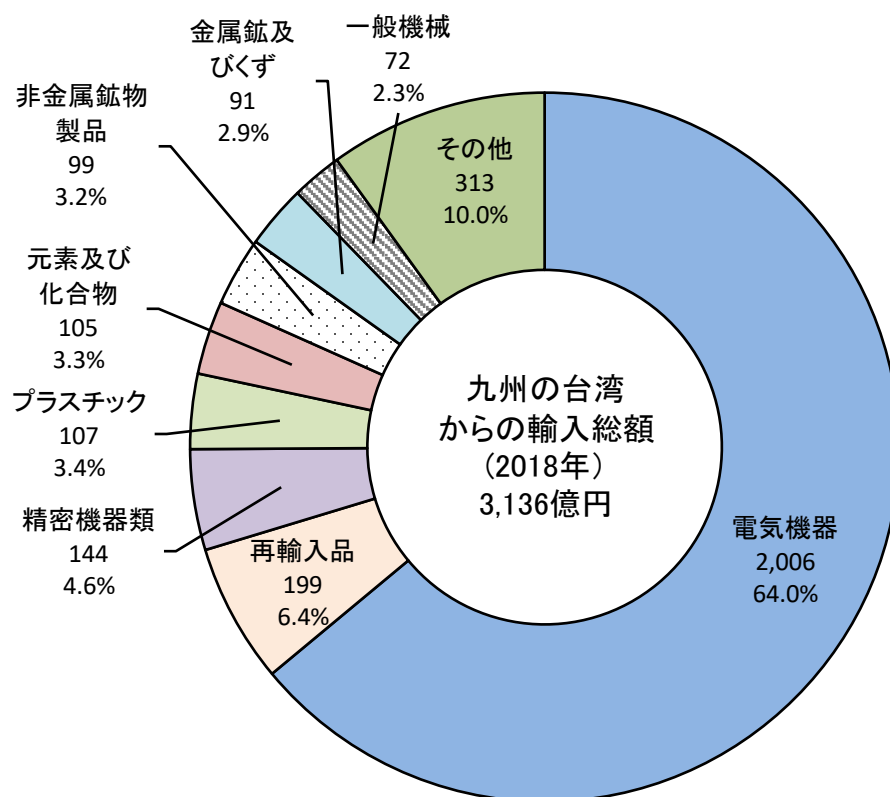
寄与度（減少分）：原動機（▲4.0%）、ポンプ及び遠心分離機（▲1.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-3-4 九州の台湾からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,928	61.5%	▲4.8%	16.5%
科学光学機器	精密機器類	144	4.6%	▲15.5%	18.5%
有機化合物	元素及び化合物	93	3.0%	127.5%	18.6%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	75	2.4%	26.7%	40.3%
プラスチック製品	その他の雑製品	23	0.7%	5.8%	6.7%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	22	0.7%	▲12.5%	5.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	22	0.7%	7.5%	2.9%
重電機器	電気機器	18	0.6%	2.5%	9.6%
魚介類	魚介類及び同調整品	16	0.5%	54.6%	2.7%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	14	0.4%	▲17.6%	16.6%
その他		782	24.9%	—	—
総 額		3,136	100%	1.0%	10.5%

寄与度（増加分）：有機化合物（＋1.7%）、非鉄卑金属くず（＋0.5%）等

寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲3.1%）、科学光学機器（▲0.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

4. 九州と香港の貿易

4-1. 香港の経済概況

国・地域名	香港
面積	1,106km ² (東京都の約半分)
人口	約734万人(2016年)
人種	中国系(約91%)
言語	広東語、英語、中国語(マンダリン)ほか
宗教	仏教、道教、プロテスタント、カトリック、イスラム教、ヒンドゥー教、シーク教、ユダヤ教
政体	中華人民共和国香港特別行政区(Hong Kong Special Administrative Region: SAR)
主要産業	金融業、不動産業、観光業、貿易業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-4-1 香港のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.8	2.4	2.2	3.8	—
名目GDP総額	10億ドル	291	309	321	341	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	40,182	42,322	43,499	46,080	—
輸出額	億ドル	4,740	4,655	4,626	4,976	5,312
	前年比(%)	3.2	▲ 1.8	▲ 0.6	7.6	6.7
輸入額	億ドル	5,449	5,226	5,170	5,595	6,029
	前年比(%)	4.0	▲ 4.1	▲ 1.1	8.2	7.8
貿易収支	億ドル	▲ 709	▲ 571	▲ 544	▲ 619	▲ 717
対日貿易収支	億ドル	▲ 203	▲ 202	▲ 185	▲ 192	— *
製造業生産指数	前年比(%)	▲ 0.4	▲ 1.5	▲ 0.4	0.5	1.3
失業率	(%)	3.3	3.3	3.4	3.1	2.8
消費者物価指数	前年比(%)	4.4	3.0	2.4	1.5	2.4
直接投資受入額	億ドル	1,298	1,810	1,333	1,224	— *
為替レート(1ドル)	香港ドル	7.75	7.75	7.76	7.79	7.84
為替レート(1香港ドル)	円	13.66	15.62	14.02	14.39	14.09

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*1はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

4-2. 九州と香港の貿易動向

● 2018年の九州の対香港貿易額

輸出総額：4,334億円（前年比15.6%増） → 7年連続のプラス

輸入総額：181億円（前年比205.2%増） → 2年ぶりのプラス

差引額：4,152億円（前年比+12.5%）

● 輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、電気回路等の機器、船舶類

〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+19.1%）、電気回路等の機器（+1.5%）

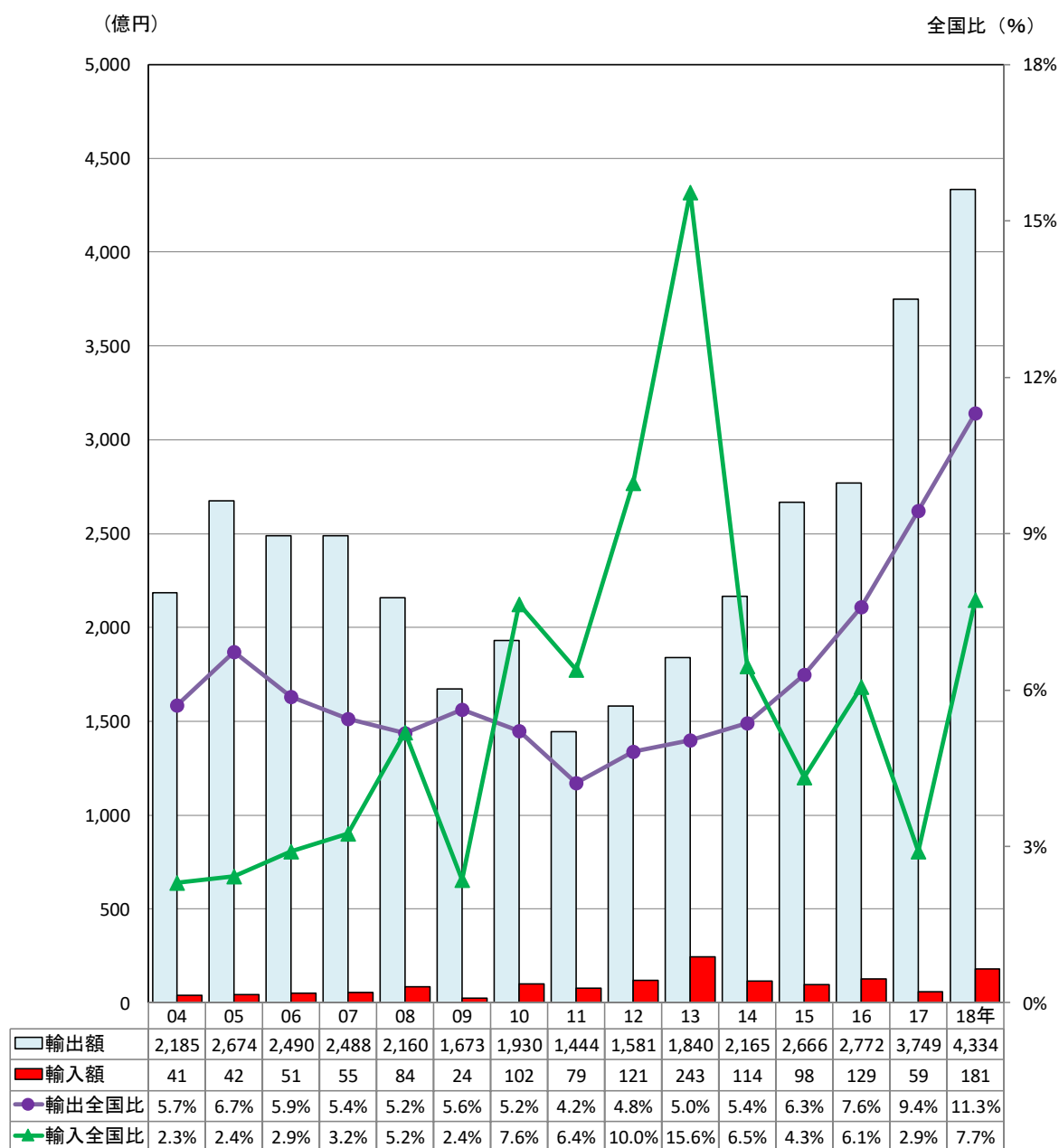
〈寄与度↓〉船舶類（▲7.6%）、化粧品（▲0.3%）

● 輸入品目（輸入額多い順）魚介類、非鉄卑金属くず、鉄鋼くず

〈寄与度↑〉魚介類（+219.6%）、非鉄卑金属くず（+0.3%）

〈寄与度↓〉鉄鋼くず（▲9.7%）、通信機（▲0.1%）

図表 2-4-2 九州の対香港貿易額の推移

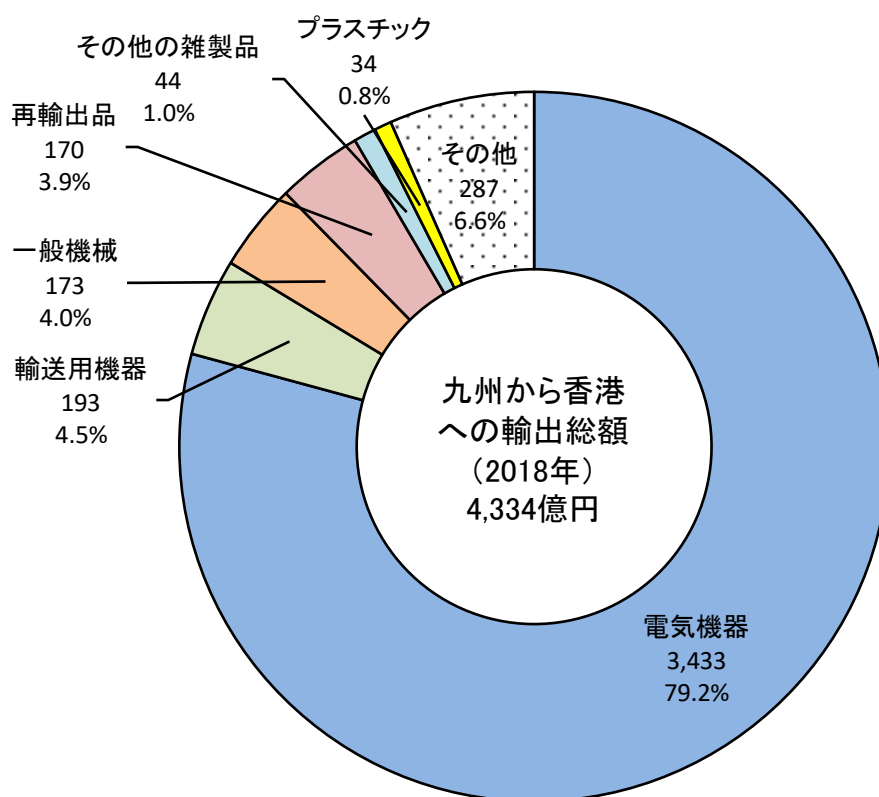


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-4-3 九州から香港への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	3,152	72.7%	29.4%	47.3%
電気回路等の機器	電気機器	187	4.3%	43.3%	8.1%
船舶類	輸送用機器	140	3.2%	▲66.9%	37.3%
建設用・鉱山用機械	一般機械	63	1.5%	▲6.1%	11.2%
自動車	輸送用機器	50	1.2%	45.0%	5.4%
映像機器	電気機器	36	0.8%	61.3%	16.2%
貴石等の製品類	その他の雑製品	27	0.6%	16.8%	2.5%
コンデンサー	電気機器	24	0.6%	4593.5%	1.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	22	0.5%	▲20.5%	40.9%
原動機	一般機械	21	0.5%	27695.4%	13.7%
その他		611	14.1%	—	—
総 額		4,334	100.0%	15.6%	11.3%

寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+19.1%）、電気回路等の機器（+1.5%）等

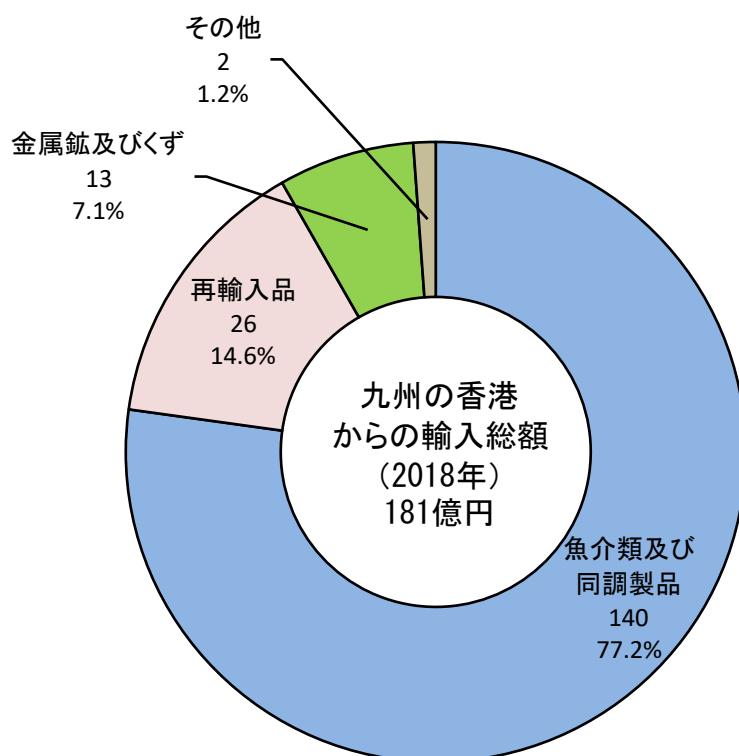
寄与度（減少分）：船舶類（▲7.6%）、化粧品（▲0.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-4-4 九州の香港からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
魚介類	魚介類及び同調製品	140	77.2%	1367.8%	66.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びびくず	5	3.0%	3.2%	18.1%
鉄鋼くず	金属鉱及びびくず	3	1.6%	▲67.1%	41.0%
建設用・鉱山用機械	一般機械	0.6	0.3%	—	84.0%
自動車の部分品	電気機器	0.1	0.1%	—	14.1%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.1	0.1%	▲6.4%	1.9%
がん具及び遊戯用具	その他の雑製品	0.1	0.0%	61.9%	1.5%
塩化ビニール樹脂	プラスチック	0.1	0.0%	88.7%	1.3%
荷役機械	一般機械	0.1	0.0%	—	40.1%
ダイヤモンド	非金属鉱物製品	0.0	0.0%	582.1%	0.0%
その他		32.1	17.7%	—	—
総 額		181	100.0%	205.2%	7.7%

寄与度（増加分）：魚介類（＋219.6%）、非鉄卑金属くず（＋0.3%）等

寄与度（減少分）：鉄鋼くず（▲9.7%）、通信機（▲0.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

5. 九州とASEANの貿易

5-1. ASEANの経済概況

名 称	東南アジア諸国連合 (Association of Southeast Asian Nations)
設 立	1967年8月8日(於:バンコク)
事 務 局	ジャカルタ 事務総長:リム・ジョクホイ(2018年~)
加 盟 国	10ヶ国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア)

出所：日本 ASEAN センター「ASEAN 情報マップ」

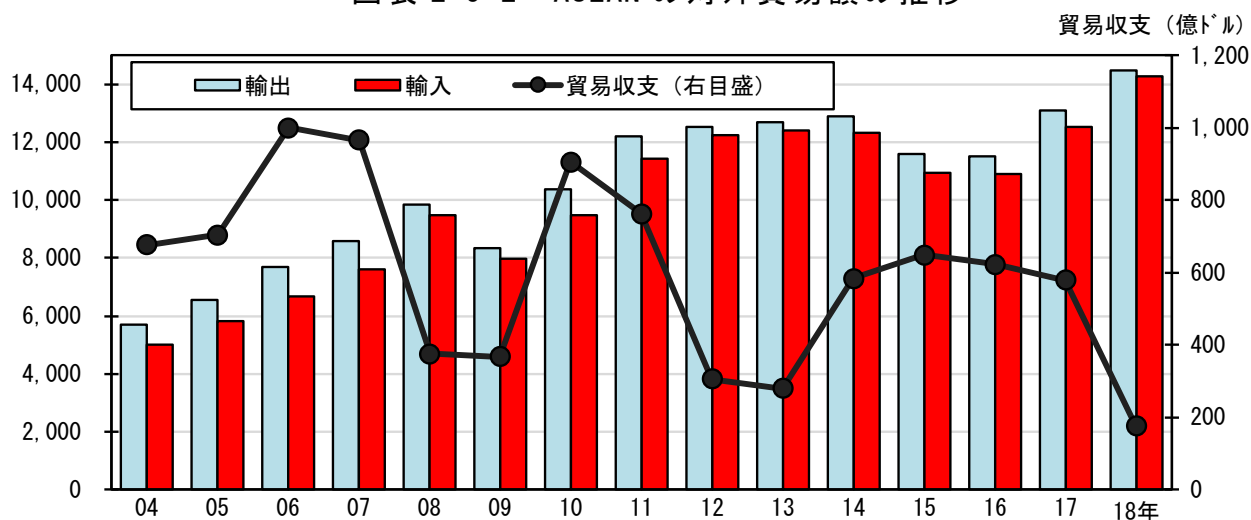
図表 2-5-1 世界の地域経済圏との比較（2018 年）

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP/人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	65,431	29,502	4,509	28,749
欧州連合 (EU)	28か国	51,193	187,085	36,545	128,785
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	49,824	235,320	47,230	61,267
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,830	26,897	9,017	6,404

出所：UNCTADstat より九州経済産業局作成。

備考：NAFTA 加盟国（アメリカ、カナダ、メキシコ）、MERCOSUR 加盟国（アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ）

図表 2-5-2 ASEANの対外貿易額の推移



出所：ジェトロ「ASEAN10ヶ国貿易統計」、UNCTADstat より九州経済産業局作成。

5-2. 九州とASEANの貿易動向

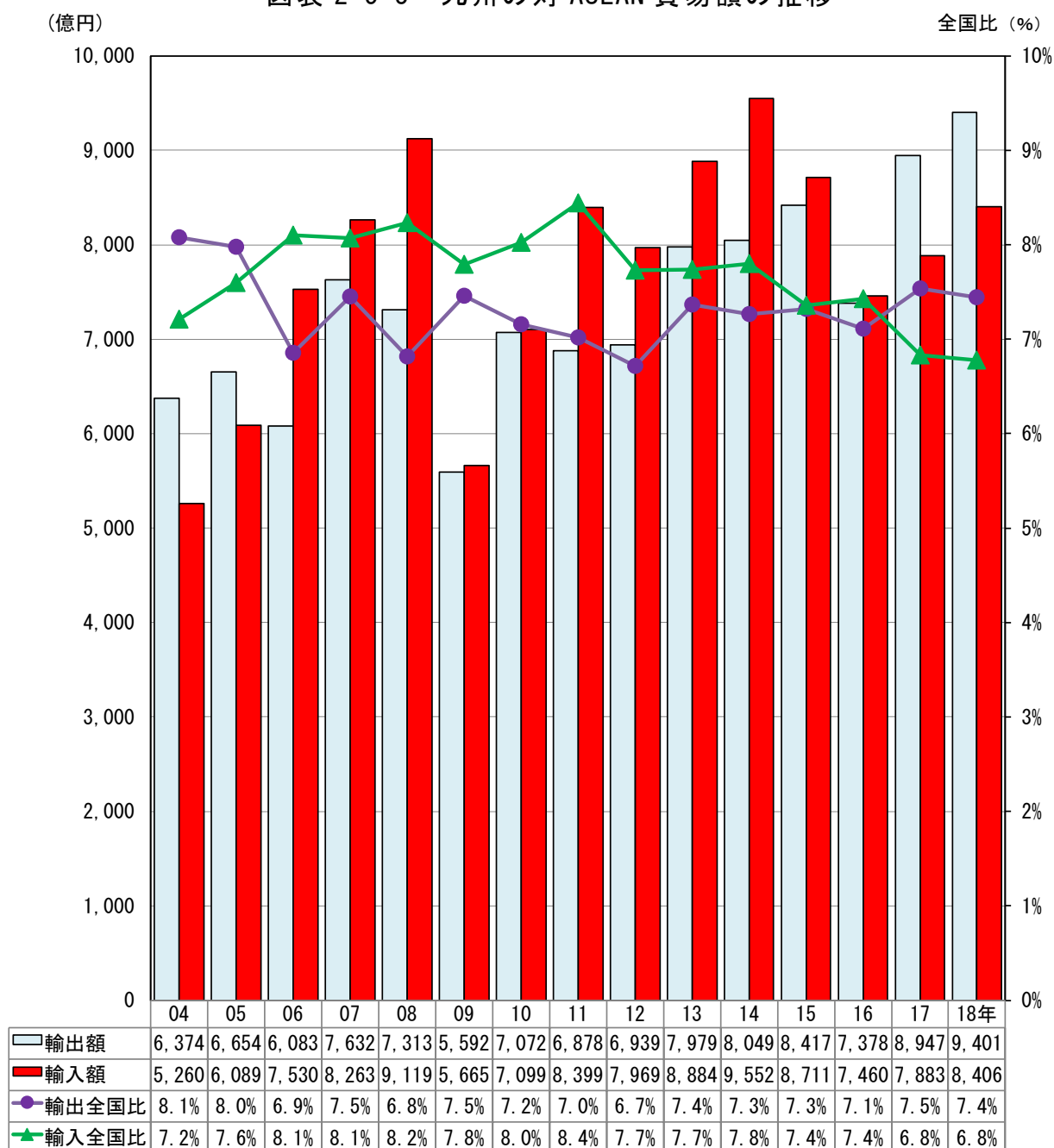
●2018年の九州の対ASEAN貿易額

輸出総額：9,401億円（前年比5.1%増） → 2年連続のプラス
 輸入総額：8,406億円（前年比6.6%増） → 2年連続のプラス
 差引額：995億円（前年比▲69億円） → 2年連続の輸出超過

●輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、金
 〈寄与度↑〉鉄鋼のフラットロール製品（+2.1%）、半導体等電子部品（+1.7%）
 〈寄与度↓〉船舶類（▲3.5%）、荷役機械（▲0.7%）

●輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱、石炭
 〈寄与度↑〉非鉄金属鉱（+5.0%）、石炭（+2.2%）
 〈寄与度↓〉石油ガス類（▲3.2%）、天然ゴム（▲1.4%）

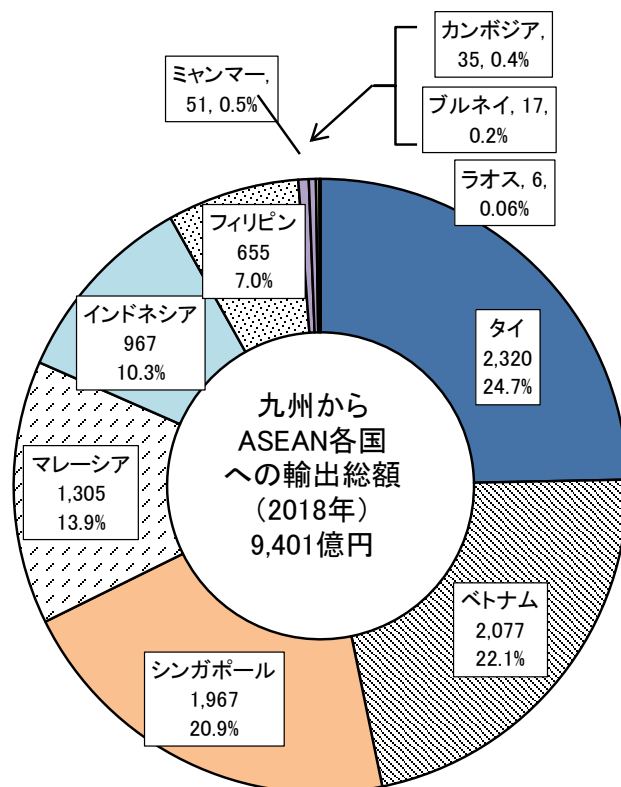
図表 2-5-3 九州の対ASEAN貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより、九州経済産業局作成。

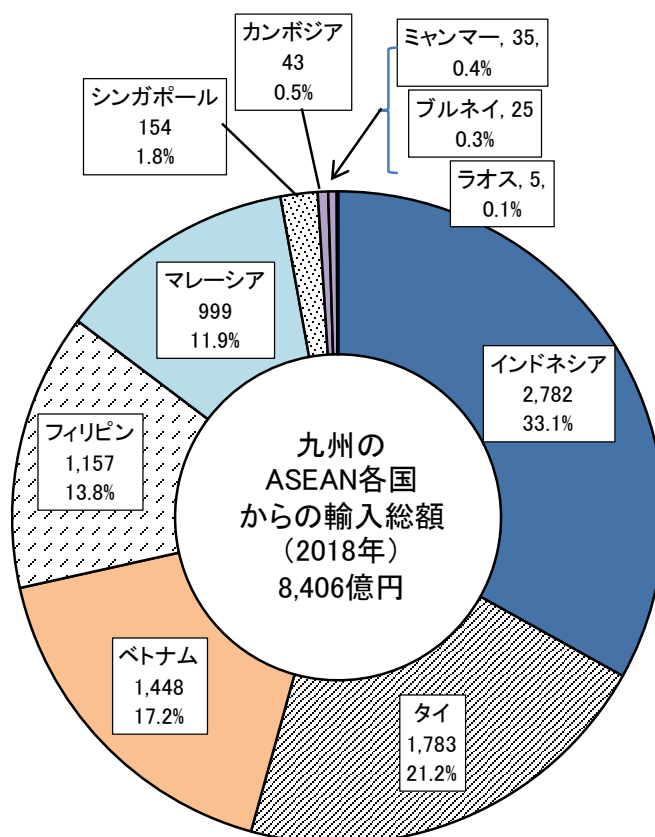
図表 2-5-4 九州から ASEAN への国別輸出額

(単位：億円、%)



図表 2-5-5 九州の ASEAN からの国別輸入額

(単位：億円、%)



図表 2-5-6 全国の ASEAN 域内における国別輸出入動向（2018 年）

（単位：億円、％）

国名	輸出				輸入			
	金額	構成比	伸び率	寄与度	金額	構成比	伸び率	寄与度
ベトナム	18,142	14.4%	7.5%	1.1%	23,352	18.8%	12.3%	2.2%
タイ	35,625	28.2%	7.9%	2.2%	27,707	22.3%	8.6%	1.9%
シンガポール	25,841	20.5%	1.7%	0.4%	10,760	8.7%	12.5%	1.0%
マレーシア	15,387	12.2%	7.5%	0.9%	20,910	16.9%	▲3.3%	▲0.6%
ブルネイ	110	0.1%	15.2%	0.01%	2,586	2.1%	34.2%	0.6%
フィリピン	12,432	9.8%	▲0.4%	▲0.0%	11,524	9.3%	5.1%	0.5%
インドネシア	17,431	13.8%	16.0%	2.0%	23,789	19.2%	6.6%	1.3%
カンボジア	466	0.4%	16.0%	0.1%	1,776	1.4%	25.4%	0.3%
ラオス	147	0.1%	12.8%	0.01%	172	0.1%	2.6%	0.004%
ミャンマー	766	0.6%	▲22.5%	▲0.2%	1,415	1.1%	18.3%	0.2%
ASEAN 計	126,345	100.0%	6.4%	6.4%	123,991	100.0%	7.4%	7.4%

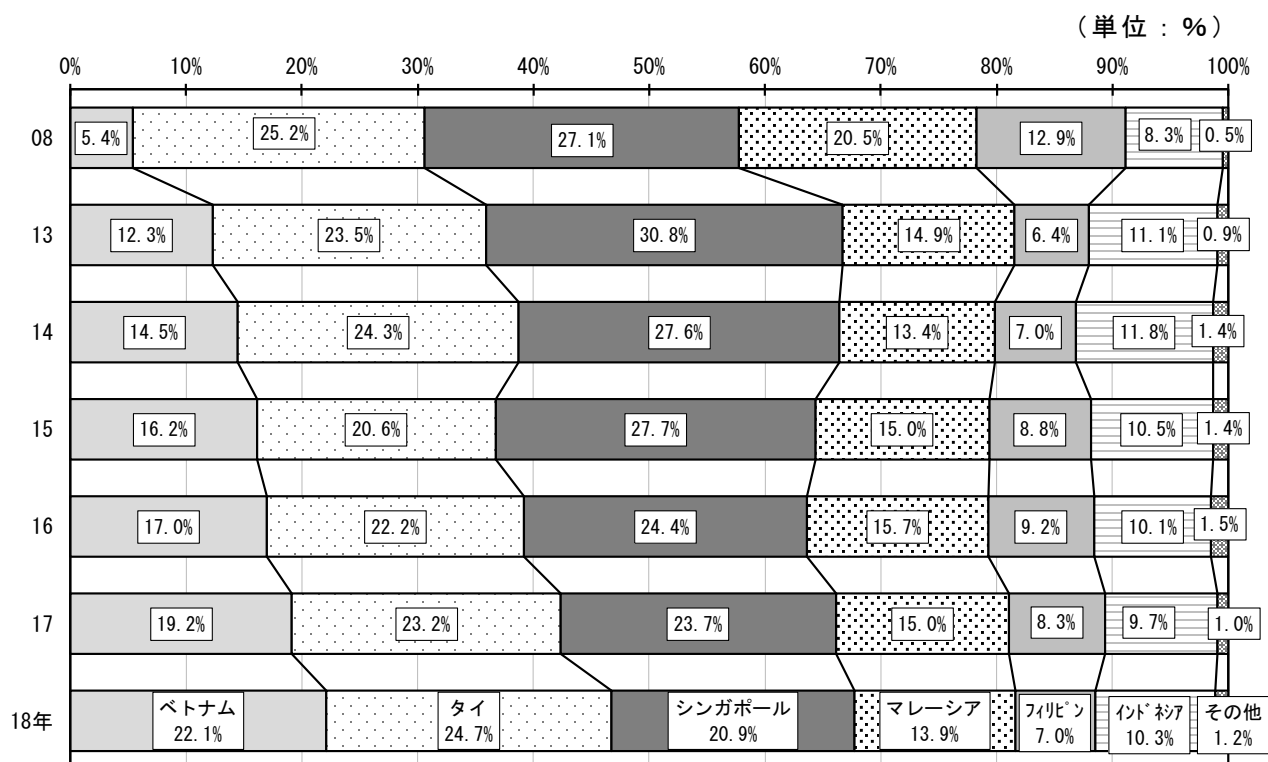
図表 2-5-7 九州の ASEAN 域内における国別輸出入動向（2018 年）

（単位：億円、％）

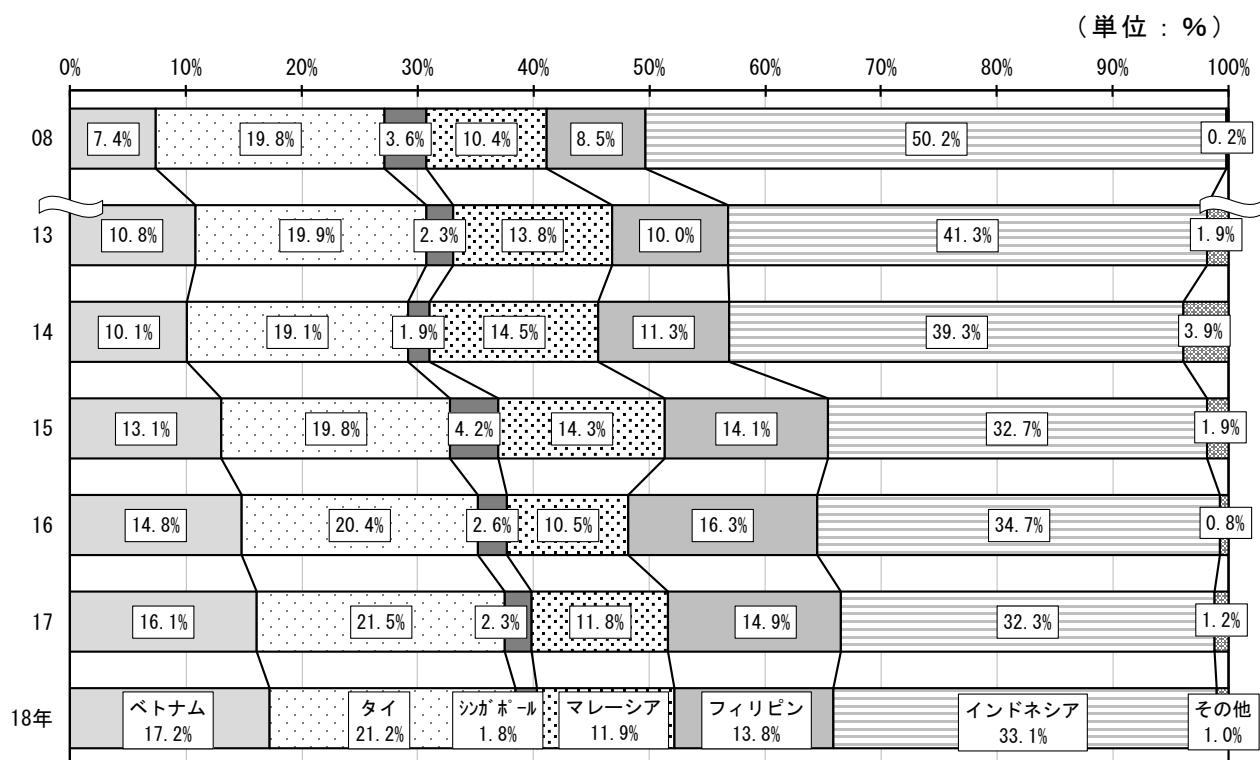
国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	2,077	22.1%	21.2%	4.1%	11.4%	1,448	17.2%	14.1%	2.3%	6.2%
タイ	2,320	24.7%	11.7%	2.7%	6.5%	1,783	21.2%	5.4%	1.2%	6.4%
シンガポール	1,967	20.9%	▲7.3%	▲1.7%	7.6%	154	1.8%	▲13.8%	▲0.3%	1.4%
マレーシア	1,305	13.9%	▲2.5%	▲0.4%	8.5%	999	11.9%	7.5%	0.9%	4.8%
ブルネイ	17	0.2%	103.8%	0.1%	15.6%	0.4	0.005%	▲98.5%	▲0.3%	0.01%
フィリピン	655	7.0%	▲11.6%	▲1.0%	5.3%	1,157	13.8%	▲1.5%	▲0.2%	10.0%
インドネシア	967	10.3%	11.6%	1.1%	5.5%	2,782	33.1%	9.4%	3.0%	11.7%
カンボジア	35	0.4%	27.4%	0.1%	7.5%	43	0.5%	26.7%	0.1%	2.4%
ラオス	6	0.06%	166.6%	0.04%	3.8%	5	0.06%	0.02%	0.00001%	2.8%
ミャンマー	51	0.5%	3.8%	0.02%	6.7%	35	0.4%	6.7%	0.03%	2.5%
ASEAN 計	9,401	100.0%	5.1%	5.1%	7.4%	8,406	100.0%	6.6%	6.6%	6.8%

図表 2-5-6～7 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-8 ASEAN 域内における九州の輸出相手国の推移



図表 2-5-9 ASEAN 域内における九州の輸入相手国の推移

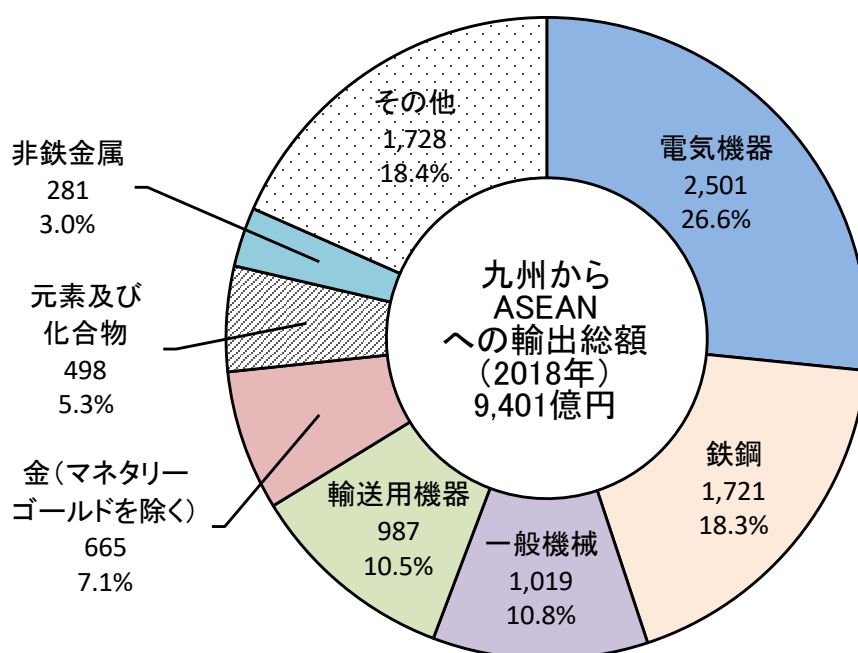


図表 2-5-8～9 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-10 九州から ASEAN への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



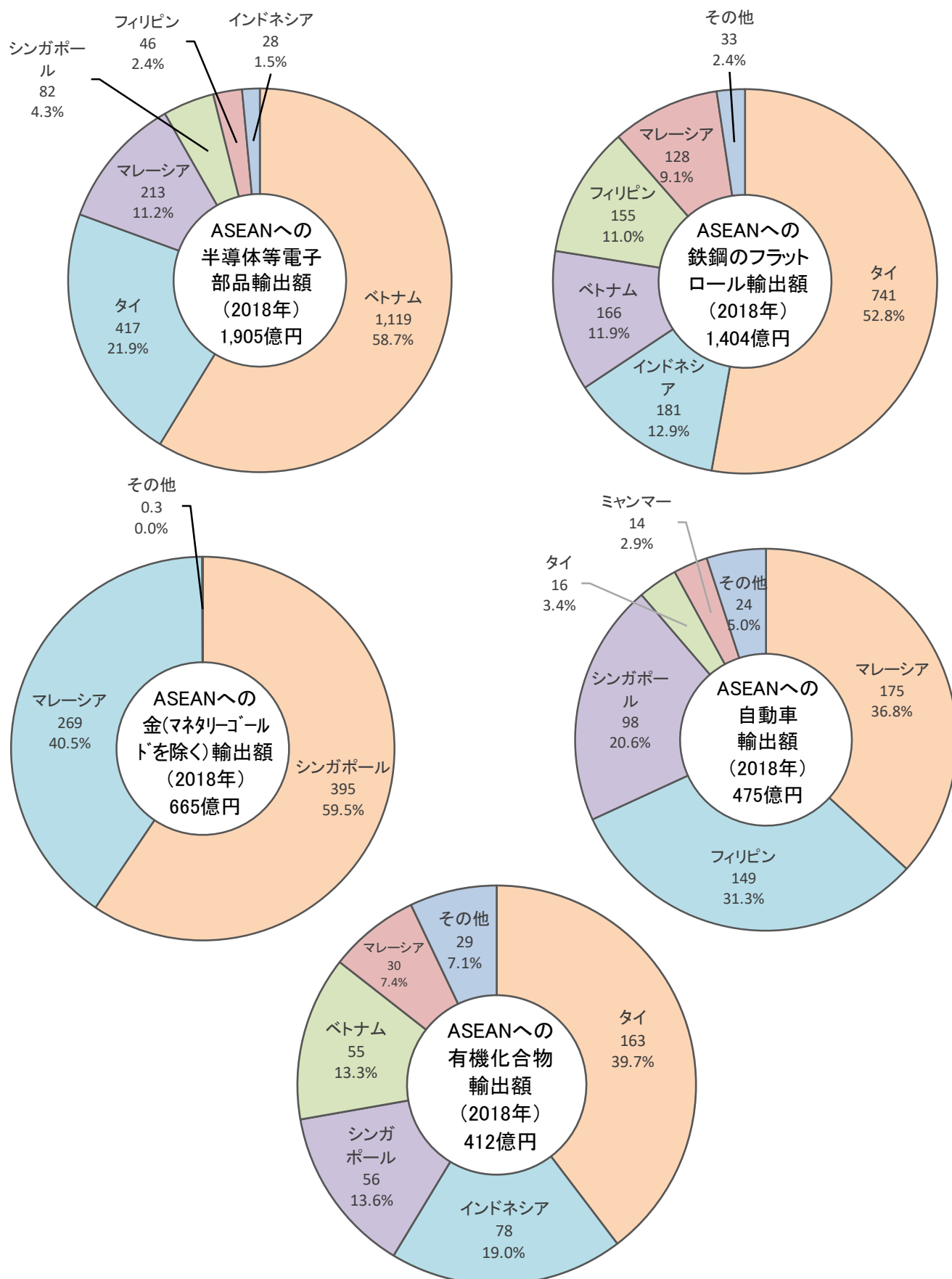
主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,905	20.3%	8.8%	20.4%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	1,404	14.9%	15.9%	18.0%
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	665	7.1%	▲2.9%	24.9%
自動車	輸送用機器	475	5.1%	1.9%	7.7%
有機化合物	元素及び化合物	412	4.4%	15.6%	24.3%
船舶類	輸送用機器	376	4.0%	▲45.3%	20.2%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	281	3.0%	10.5%	15.7%
原動機	一般機械	267	2.8%	111.0%	5.7%
事務用機器	一般機械	253	2.7%	▲5.6%	9.0%
映像機器	電気機器	202	2.1%	15.0%	53.5%
その他		3,161	33.6%	—	—
総 額		9,401	100.0%	5.1%	7.4%

寄与度（増加分）：鉄鋼のフラットロール製品（+2.1%）、半導体等電子部品（+1.7%）等
 寄与度（減少分）：船舶類（▲3.5%）、荷役機械（▲0.7%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-11 九州から ASEAN への主要輸出品目に係る輸出相手国

(単位：億円、%)

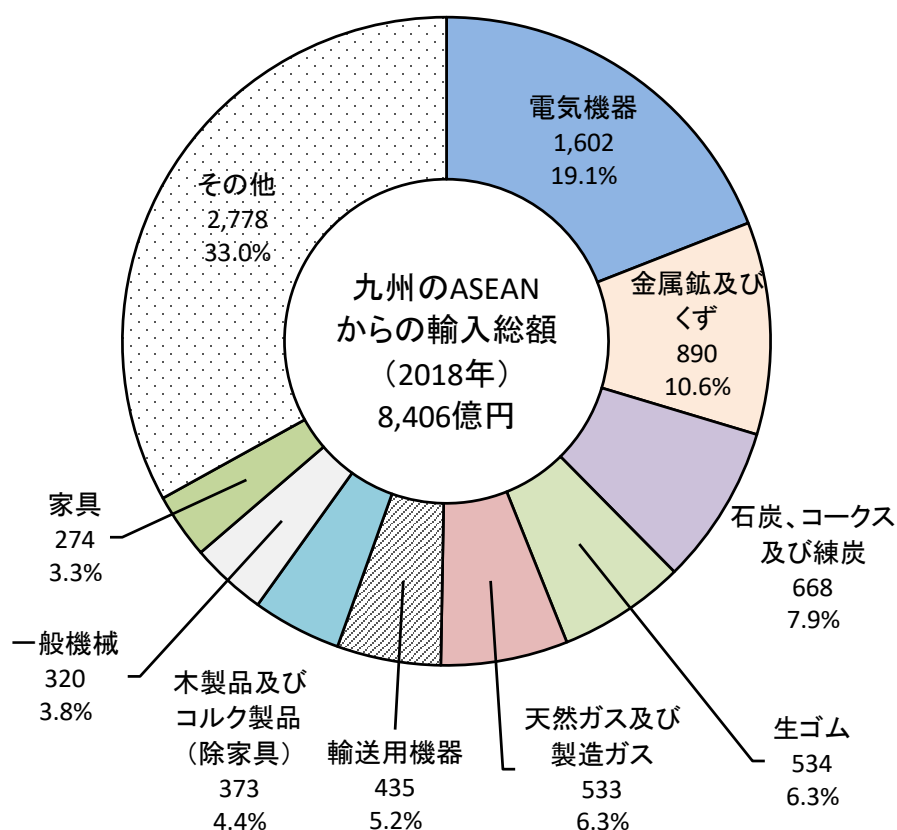


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

表 2-5-12 九州の ASEAN からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	881	10.5%	13.1%	17.0%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	760	9.0%	105.7%	19.8%
石炭	石炭、コークス及び練炭	668	7.9%	36.1%	18.4%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	533	6.3%	▲32.0%	4.6%
天然ゴム	生ゴム	507	6.0%	▲18.0%	42.0%
自動車の部分品	輸送用機器	390	4.6%	2.3%	17.6%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	221	2.6%	4.9%	7.8%
半導体等電子部品	電気機器	141	1.7%	1.0%	3.2%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	133	1.6%	8.7%	14.7%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	126	1.5%	9.6%	8.1%
その他		4,048	48.1%	—	—
総額		8,406	100%	6.6%	6.8%

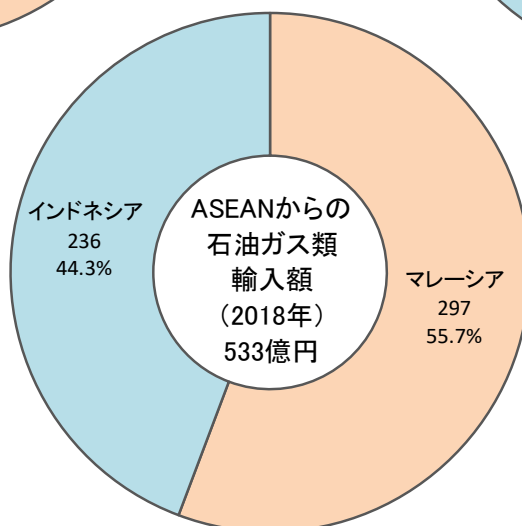
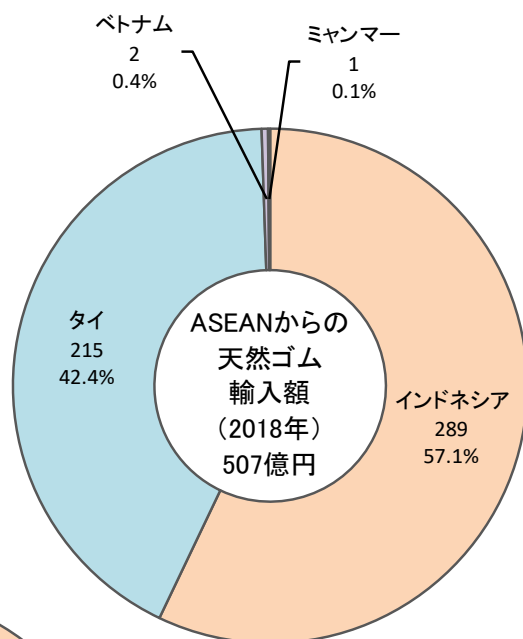
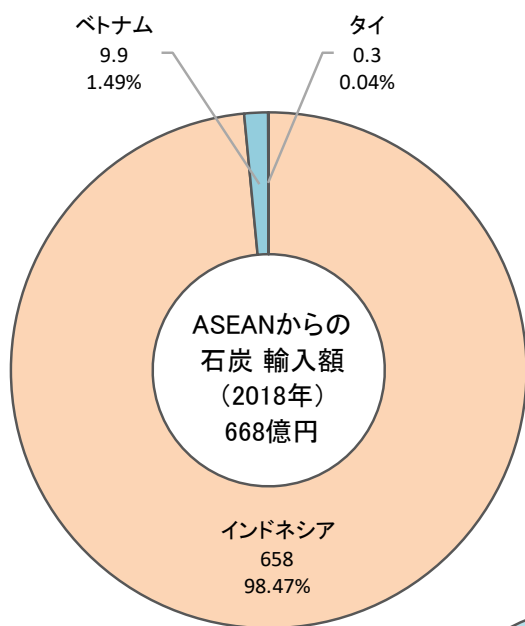
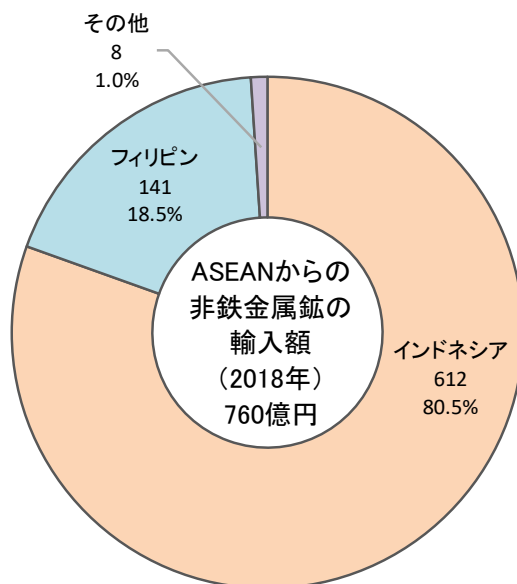
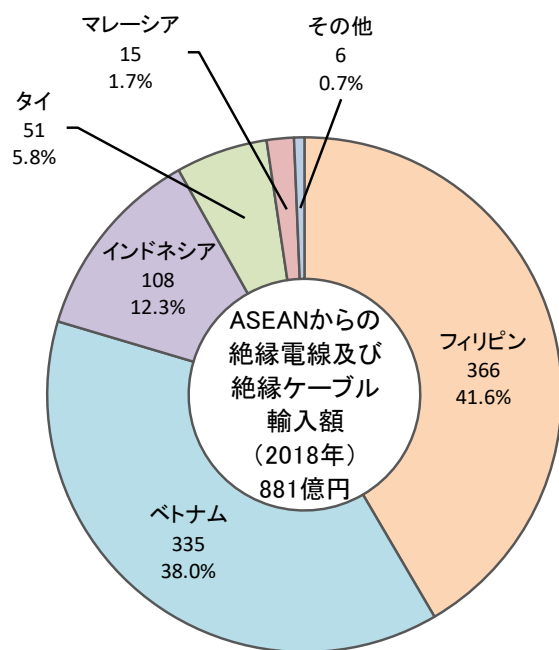
寄与度（増加分）：非鉄金属鉱（＋5.0%）、石炭（＋2.2%）等

寄与度（減少分）：石油ガス類（▲3.2%）、天然ゴム（▲1.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-13 九州の ASEAN からの主要輸入品目に係る輸入相手国

(単位：億円、%)



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

6. 九州とベトナムの貿易

6-1. ベトナムの経済概況

国名	ベトナム社会主義共和国
面積	32万9,241km ²
人口	約9,370万人(2017年、越統計総局)
首都	ハノイ
人種	キン族(越人)約86%、他に53の少数民族
言語	ベトナム語
宗教	仏教、カトリック、カオダイ教他
政体	社会主義共和国
主要産業	農林水産業、鉱業、工業

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-1 ベトナムのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.0	6.7	6.2	6.8	7.1
名目GDP総額	億ドル	1,862	1,932	2,053	2,238	2,450 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,052	2,109	2,215	2,389	2,590 *
輸出額	億ドル	1,502	1,620	1,766	2,151	2,432
	前年比(%)	13.8	7.9	9.0	21.8	13.0
輸入額	億ドル	1,478	1,656	1,748	2,130	2,363
	前年比(%)	12.0	12.0	5.6	21.9	10.9
貿易収支	億ドル	24	▲ 36	18	21	68
対日貿易収支	億ドル	18	▲ 1	▲ 4	▲ 1	▲ 3 *
鉱工業生産指数伸び率	前年比(%)	5.8	10.1	7.2	9.5	10.2
失業率	(%)	3.4	3.4	3.2	3.2	3.1
消費者物価上昇率	(%)	4.1	0.6	2.7	3.5	3.5
直接投資受入額	億ドル	219	241	269	371	364 *
為替レート(1ドル)	ドン	21,148	21,677	21,932	22,370	22,602 *

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」より九州経済産業局作成。

6-2. 九州とベトナムの貿易動向

● 2018 年の九州の対ベトナム貿易額

輸出総額：2,077 億円（前年比 21.2%増） → 2 年連続のプラス
 輸入総額：1,448 億円（前年比 14.1%増） → 2 年連続のプラス
 差引額：629 億円（前年比 18.2%増） → 6 年連続の輸出超過

● 輸出品目（輸出額多い順）半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、銅及び同合金

〈寄与度↑〉半導体等電子部品（+16.3%）、鉄鋼のフラットロール製品（+2.4%）

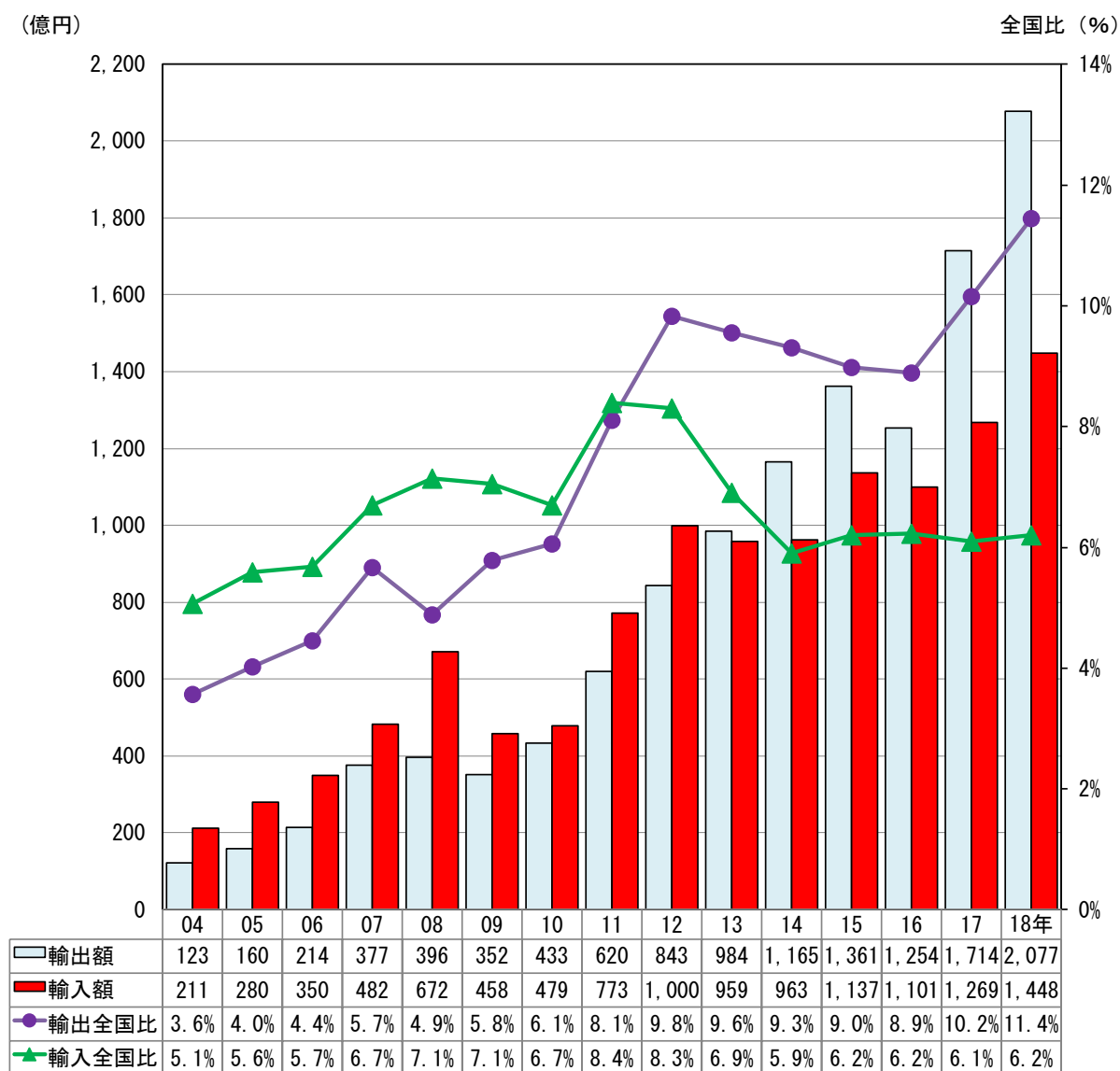
〈寄与度↓〉船舶類（▲2.2%）、電気回路等の機器（▲1.3%）

● 輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、パルプウッド等、メリヤス編み及びクロセ編み衣類

〈寄与度↑〉絶縁電線及び絶縁ケーブル（+3.3%）、パルプウッド等（+1.2%）

〈寄与度↓〉重電機器（▲0.5%）、コック・弁類（▲0.4%）

図表 2-6-2 九州の対ベトナム貿易額の推移

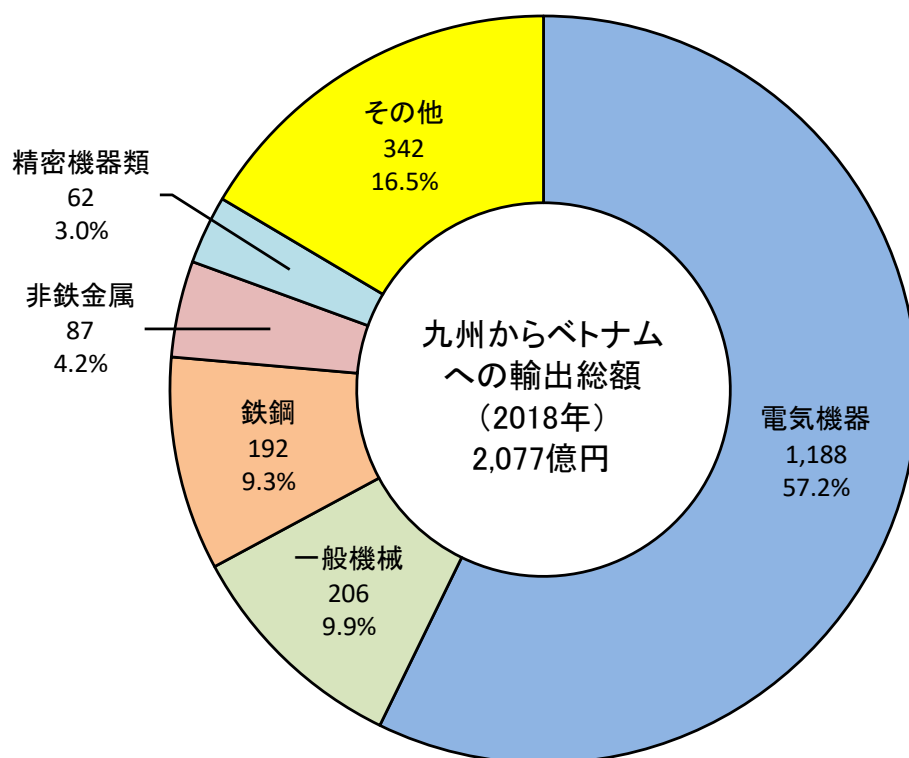


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-6-3 九州からベトナムへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,119	53.9%	33.3%	67.8%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	166	8.0%	33.6%	12.5%
銅及び同合金	非鉄金属	86	4.1%	54.2%	22.3%
事務用機器	一般機械	71	3.4%	▲1.1%	9.3%
科学光学機器	精密機器類	62	3.0%	4.9%	11.9%
有機化合物	元素及び化合物	55	2.6%	13.9%	24.7%
鉄鋼くず	金属鉱及びくず	45	2.2%	211.7%	7.7%
荷役機械	一般機械	45	2.1%	▲10.2%	21.4%
魚介類	魚介類及び同調製品	34	1.6%	▲24.1%	21.0%
電気回路等の機器	電気機器	31	1.5%	▲42.6%	2.6%
その他		365	17.5%	-	-
総 額		2,077	100%	21.2%	11.4%

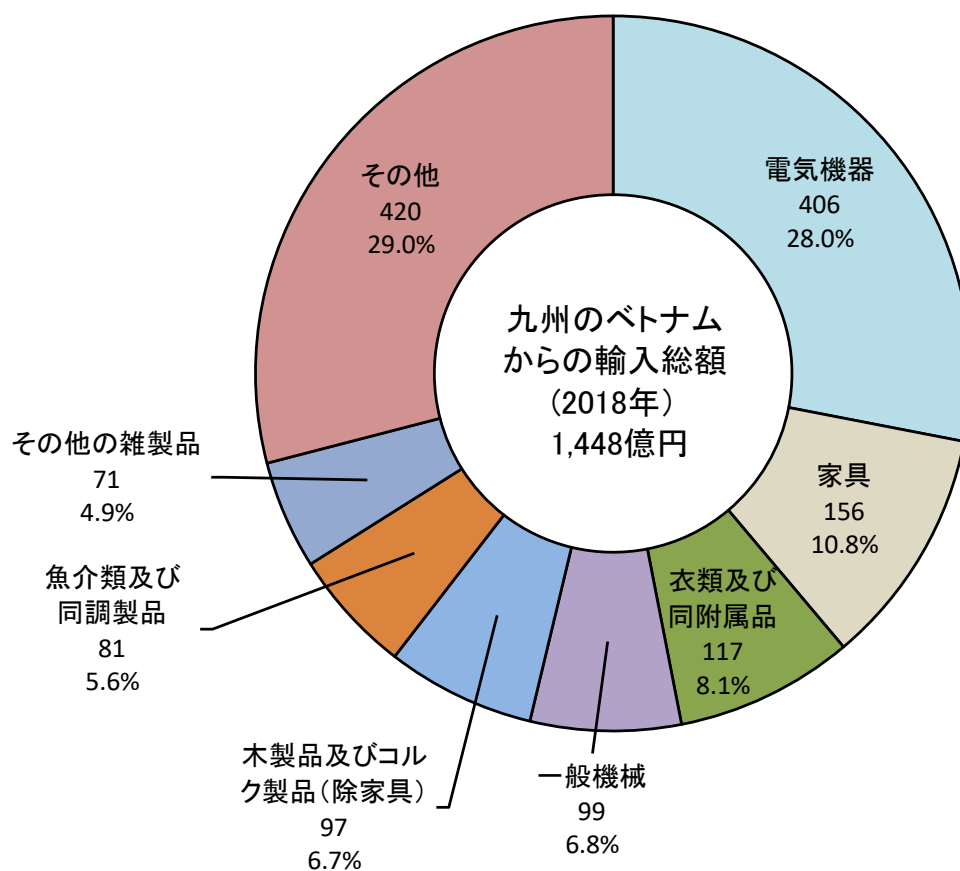
寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+16.3%）、鉄鋼のフラットロール製品（+2.4%）等
 寄与度（減少分）：船舶類（▲2.2%）、電気回路等の機器（▲1.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-4 九州のベトナムからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	335	23.1%	14.0%	14.4%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	87	6.0%	22.3%	15.2%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	76	5.3%	▲5.1%	3.4%
プラスチック製品	その他の雑製品	56	3.9%	29.9%	7.6%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	43	3.0%	▲7.1%	8.6%
魚介類	魚介類及び同調製品	38	2.6%	▲0.6%	6.0%
合金鉄	鉄鋼	33	2.3%	26.2%	44.4%
衣類	衣類及び同附属品	32	2.2%	7.4%	1.5%
自動車の部分品	輸送用機器	32	2.2%	38.8%	5.6%
原動機	一般機械	31	2.2%	32.2%	26.2%
その他		685	47.3%	—	—
総 額		1,448	100.0%	14.1%	6.2%

寄与度（増加分）：絶縁電線及び絶縁ケーブル（＋3.3%）、パルプウッド等（＋1.2%）等
 寄与度（減少分）：重電機器（▲0.5%）、コック・弁類（▲0.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

7. 九州とタイの貿易

7-1. タイの経済概況

国名	タイ王国
面積	51万4千km ² (日本の約1.4倍)
人口	6,891万人(2017年)(タイ国勢調査)
首都	バンコク
人種	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
言語	タイ語
宗教	仏教 94%、イスラム教 5%
政体	立憲君主制
主要産業	農業は就業者の約40%弱を占めるが、GDPでは12%にとどまる。一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約34%、輸出額の90%弱を占める。

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-7-1 タイのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	1.0	3.1	3.4	4.0	4.1
名目GDP総額	10億ドル	407	401	412	455	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	5,933	5,831	5,970	6,591	—
輸出額	億ドル	2,275	2,143	2,154	2,366	2,524
	前年比(%)	▲ 0.5	▲ 5.8	0.5	9.9	6.7
輸入額	億ドル	2,277	2,027	1,942	2,215	2,492
	前年比(%)	▲ 9.1	▲ 11.0	▲ 4.2	14.1	12.5
貿易収支	億ドル	▲ 3	117	212	151	33
対日貿易収支	億ドル	▲ 138	▲ 112	▲ 102	▲ 97	▲ 103 *
製造業生産指数	前年比(%)	▲ 4.0	0.0	1.4	1.8	3.6
失業率	(%)	0.8	0.9	1.0	1.2	3.5
消費者物価指数(総合)	前年比(%)	1.9	▲ 0.9	0.2	0.7	1.1
直接投資受入額	億ドル	37	86	31	79	134 *
為替レート(1ドル)	バーツ	32.48	34.25	35.30	33.94	32.31
為替レート(1バーツ)	円	3.26	3.53	3.08	3.31	3.42

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(J-FILE)より九州経済産業局作成。

7-2. 九州とタイの貿易動向

●2018年の九州の対タイ貿易額

輸出総額：2,320億円（前年比11.7%増） → 2年連続のプラス

輸入総額：1,783億円（前年比5.4%増） → 2年連続のプラス

差引額：537億円（前年比39.7%増）

●輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品

〈寄与度↑〉鉄鋼のフラットロール製品（+5.1%）、有機化合物（+1.9%）

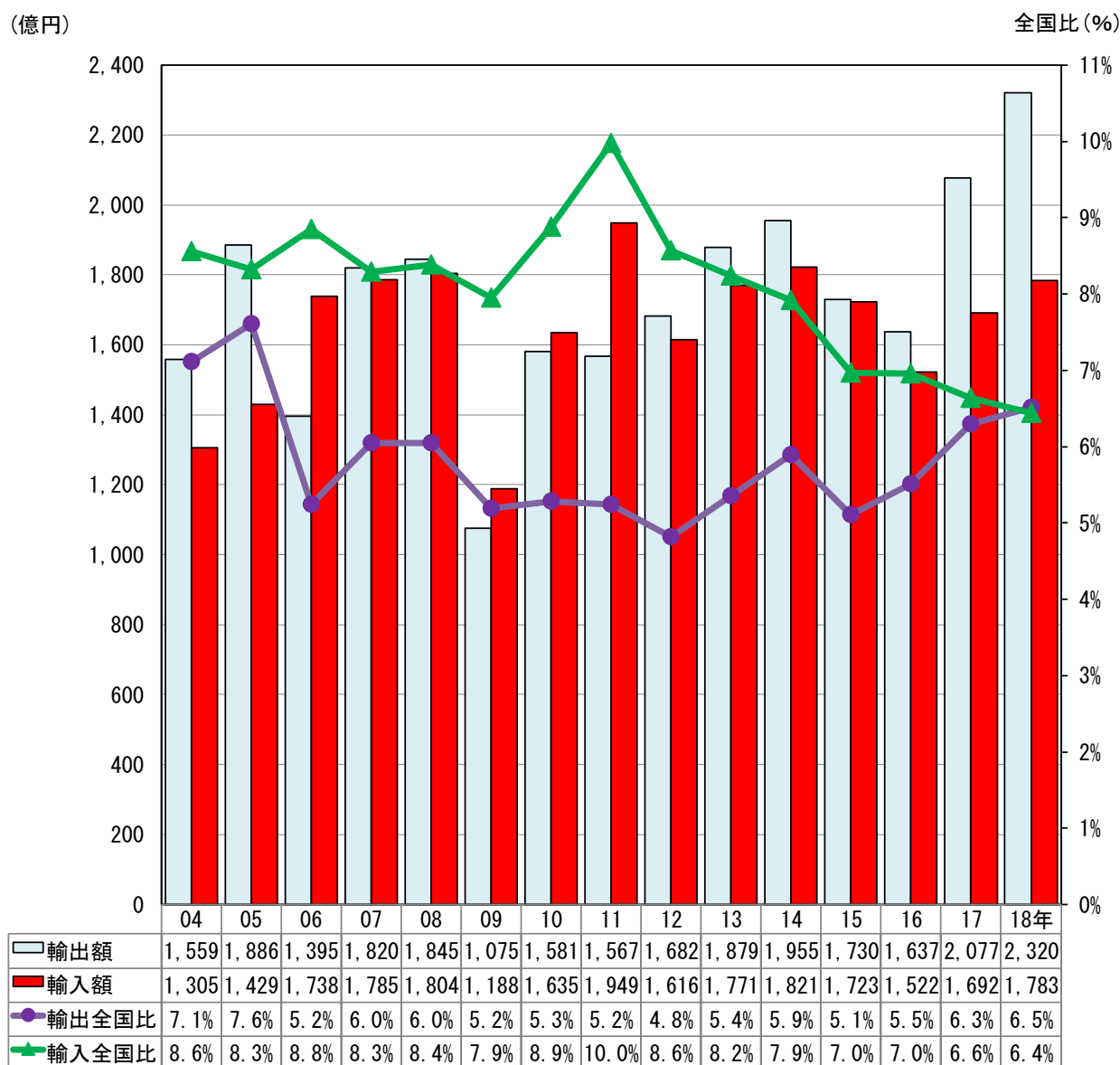
〈寄与度↓〉科学光学機器（▲1.2%）、半導体等電子部品（▲0.6%）

●輸入品目（輸入額多い順）天然ゴム、自動車の部分品、音響・映像機器（含む部品）

〈寄与度↑〉絶縁電線及び絶縁ケーブル（+1.2%）、石油製品（+1.1%）

〈寄与度↓〉天然ゴム（▲2.9%）、米（▲0.5%）

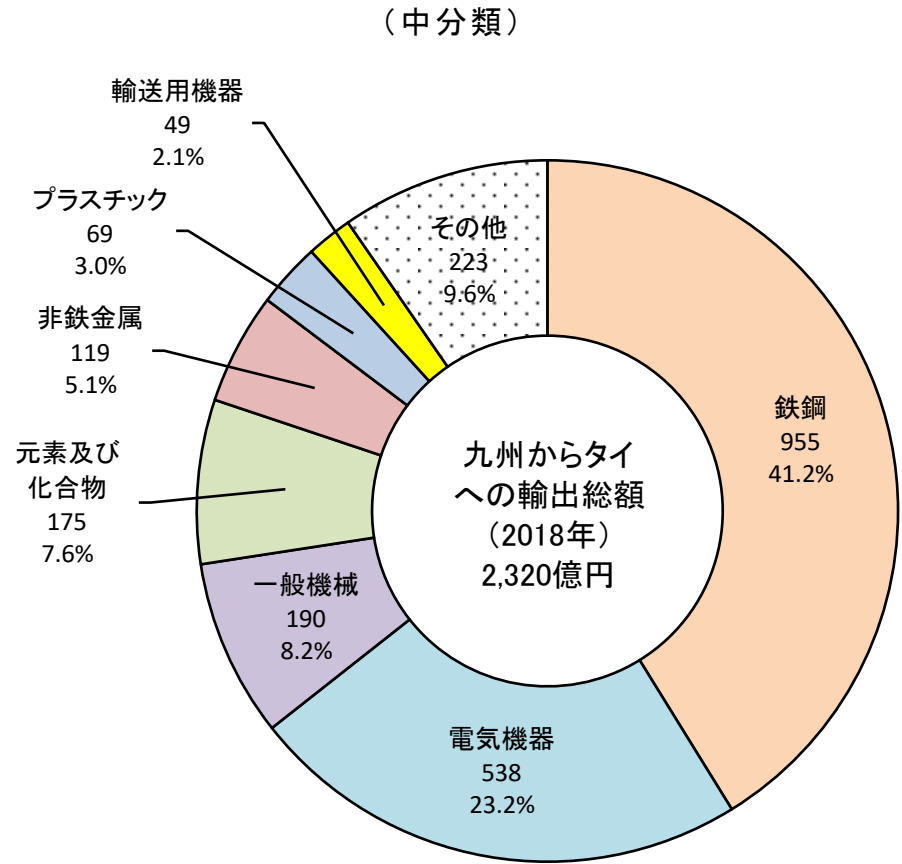
図表 2-7-2 九州の対タイ貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-7-3 九州からタイへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	741	31.9%	16.7%	21.4%
半導体等電子部品	電気機器	417	18.0%	▲2.9%	17.6%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	193	8.3%	11.2%	20.5%
有機化合物	元素及び化合物	163	7.0%	32.9%	32.2%
銅及び同合金	非鉄金属	99	4.3%	15.0%	10.0%
音響・映像機器の部分品	電気機器	39	1.7%	632.2%	20.9%
科学光学機器	精密機器類	35	1.5%	▲40.6%	4.8%
魚介類	魚介類および同調整品	29	1.3%	99.0%	13.6%
建設用・鉱山用機械	一般機器	23	1.0%	6.3%	12.2%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	22	1.0%	41.4%	2.3%
その他		558	24.0%	—	—
総 額		2,320	100.0%	11.7%	6.5%

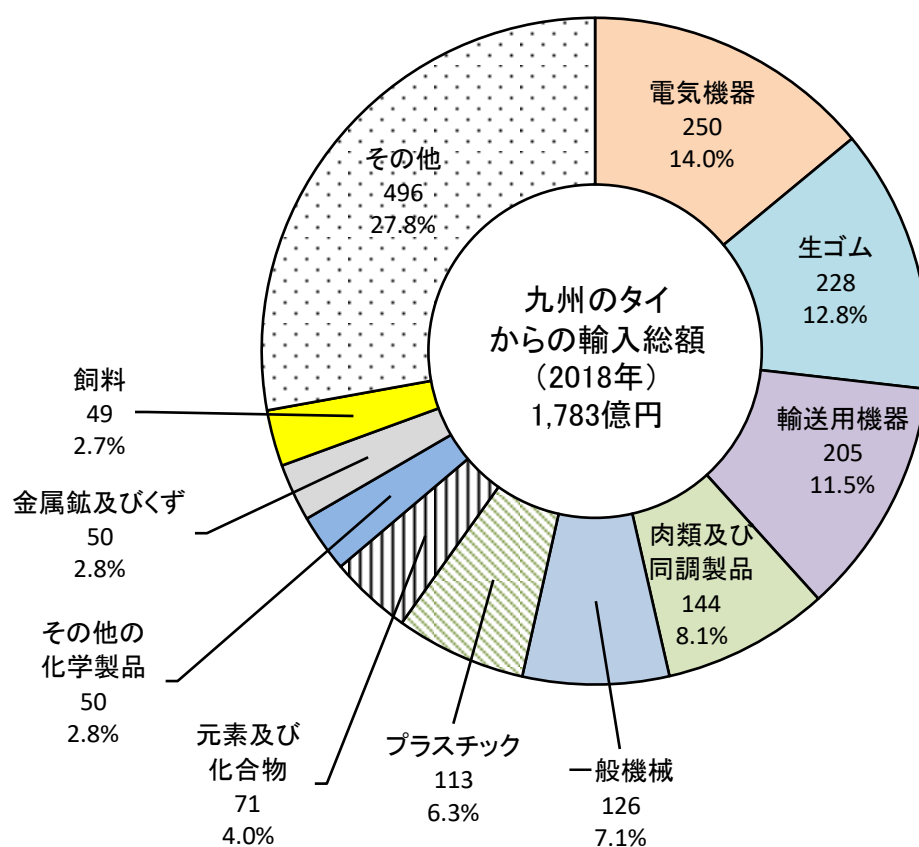
寄与度（増加分）：鉄鋼のフラットロール製品（+5.1%）、有機化合物（+1.9%）等
寄与度（減少分）：科学光学機器（▲1.2%）、半導体等電子部品（▲0.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-7-4 九州のタイからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
天然ゴム	生ゴム	215	12.0%	▲18.8%	55.0%
自動車の部分品	輸送用機器	193	10.8%	▲2.6%	19.0%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	66	3.7%	▲9.0%	6.1%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	51	2.9%	67.8%	12.0%
無機化合物	元素及び化合物	42	2.4%	46.1%	28.8%
ポリエチレン	プラスチック	41	2.3%	26.3%	11.4%
電気計測機器	電気機器	38	2.1%	11.8%	9.3%
合成樹脂	プラスチック	38	2.1%	50.8%	7.9%
米	穀物及び同調製品	37	2.1%	▲18.7%	29.3%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	35	2.0%	▲5.7%	11.8%
その他		1,027	60.7%	—	—
総 額		1,783	100.0%	5.4%	6.4%

寄与度（増加分）：絶縁電線及び絶縁ケーブル（+1.2%）、石油製品（+1.1%）等

寄与度（減少分）：天然ゴム（▲2.9%）、米（▲0.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

8. 九州とシンガポールの貿易

8-1. シンガポールの経済概況

国名	シンガポール共和国
面積	約720km ² (東京23区と同程度)
人口	約561万人(うちシンガポール人・永住者は397万人)(2017年6月)
人種	中華系74%、マレー系13%、インド系9%、(2017年6月)
言語	国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミール語
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
政体	立憲共和制(1965年8月9日成立)(英連邦加盟)
主要産業	製造業(エレクトロニクス、化学関連、バイオメディカル、輸送機械、精密器械)、商業、ビジネスサービス、運輸・通信業、金融サービス業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-8-1 シンガポールのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	4.1	2.5	2.8	3.9	3.2
名目GDP総額	10億ドル	312	304	310	324	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	56,959	54,940	55,241	57,713	—
輸出額	億ドル	4,152	3,577	3,380	3,729	4,120
	前年比(%)	▲ 1.1	▲ 13.8	▲ 5.5	10.3	10.5
輸入額	億ドル	3,777	3,080	2,919	3,274	3,708
	前年比(%)	▲ 2.7	▲ 18.5	▲ 5.2	12.1	13.3
貿易収支	億ドル	375	498	460	455	411
対日貿易収支	億ドル	▲ 34	▲ 33	▲ 47	▲ 33	— *
製造業生産指数	前年比(%)	2.7	▲ 5.1	3.7	10.4	7.2
失業率	(%)	2.0	1.9	2.1	2.2	2.1
消費者物価指数	前年比(%)	1.0	▲ 0.5	▲ 0.5	0.6	0.4
直接投資受入額	億ドル	695	706	743	636	— *
為替レート(1ドル)	Sドル	1.27	1.38	1.38	1.38	1.35
為替レート(1Sドル)	円	83.62	88.04	78.75	81.23	81.87

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

8-2. 九州とシンガポールの貿易動向

●2018年の九州の対シンガポール貿易額

輸出総額：1,967億円（前年比7.3%減） → 2年ぶりのマイナス

輸入総額：154億円（前年比13.8%減） → 3年連続のマイナス

差引額：1,813億円（前年比▲131億円） → 前年比▲6.7%

●輸出品目（輸出額多い順）金（マネタリーゴールドを除く）、船舶類、映像機器

〈寄与度↑〉有機化合物（+1.2%）、映像機器（+0.9%）

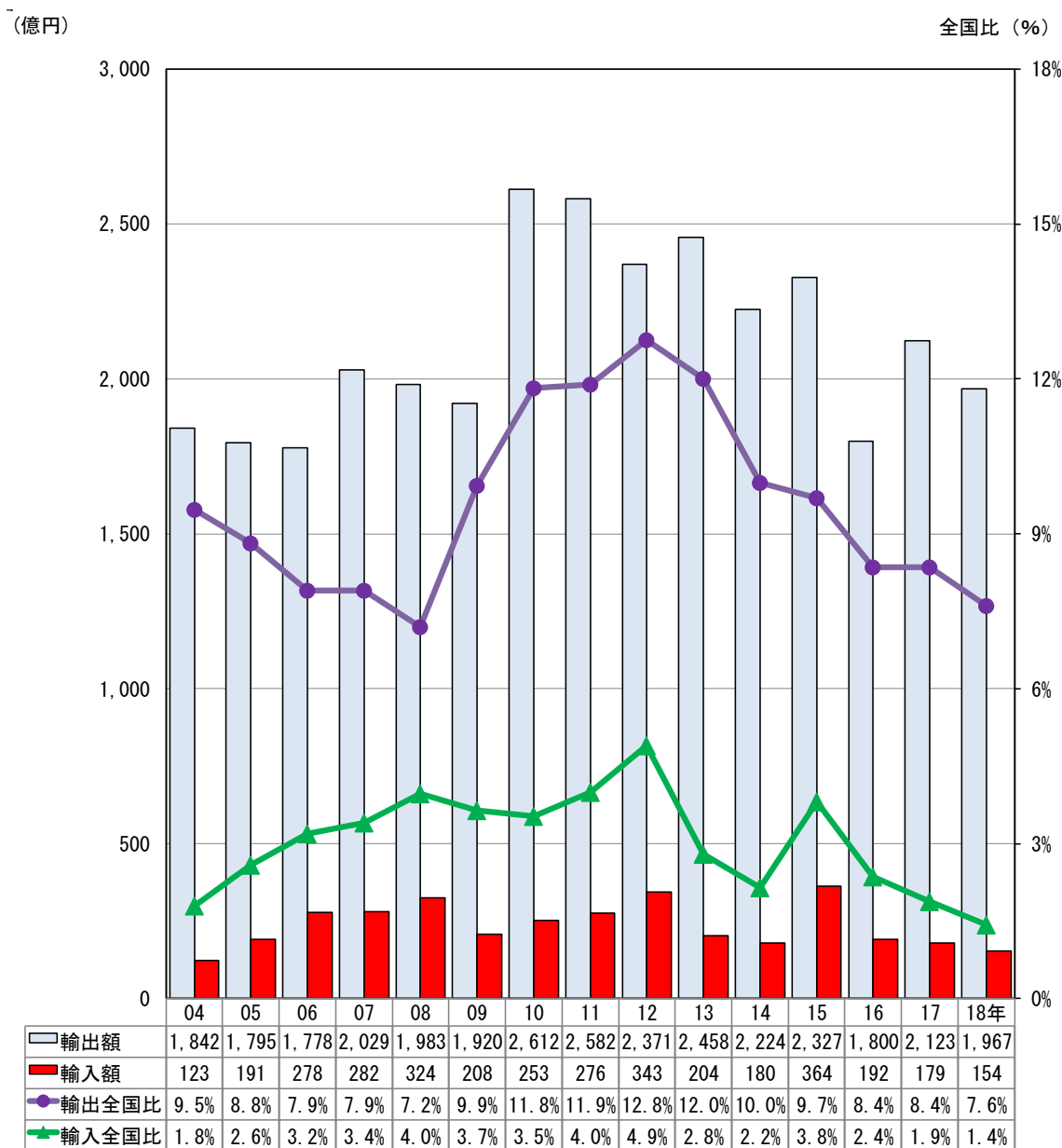
〈寄与度↓〉船舶類（▲11.2%）、半導体等電子部品（▲2.8%）

●輸入品目（輸入額多い順）有機化合物、科学光学機器、非鉄卑金属くず

〈寄与度↑〉有機化合物（+4.5%）、半導体等製造装置（+4.2%）

〈寄与度↓〉石油製品（▲23.8%）、絶縁電線及び絶縁ケーブル（▲1.4%）

図表 2-8-2 九州の対シンガポール貿易額の推移

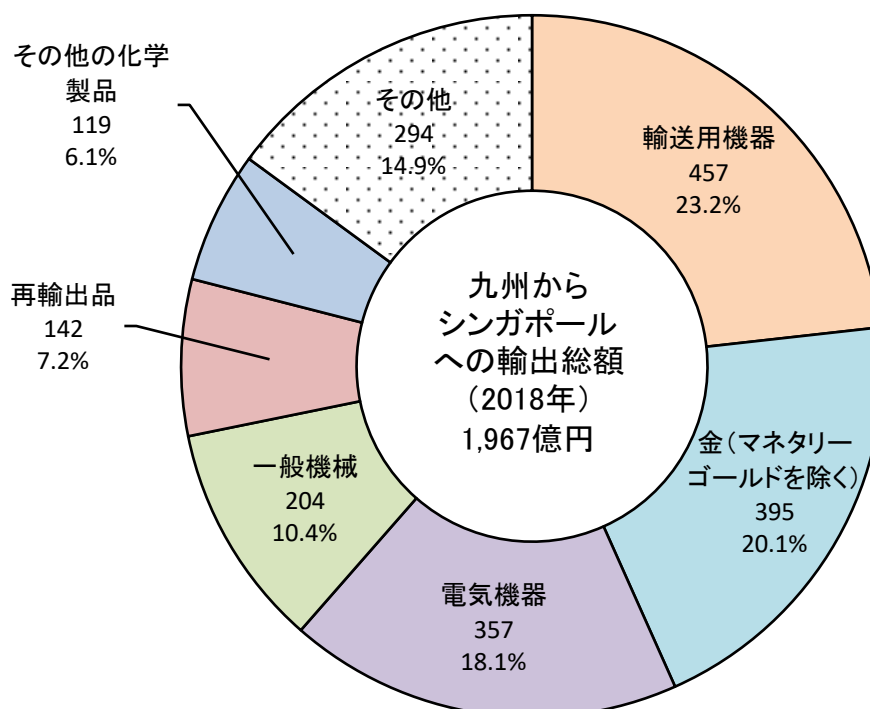


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-8-3 九州からシンガポールへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	395	20.1%	▲0.1%	20.8%
船舶類	輸送用機器	370	18.0%	▲40.2%	21.2%
映像機器	電気機器	188	9.6%	11.2%	76.9%
事務用機器	一般機械	163	8.3%	5.4%	23.8%
自動車	輸送用機器	98	5.0%	▲8.1%	9.6%
半導体等電子部品	電気機器	82	4.2%	▲41.6%	3.8%
有機化合物	元素及び化合物	56	2.8%	81.3%	20.2%
音響・映像機器の部分品	電気機器	45	2.3%	▲34.7%	65.5%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	44	2.2%	▲30.2%	40.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	28	1.4%	6.7%	8.1%
その他		515	26.2%	—	—
総 額		1,967	100%	▲7.3%	7.6%

寄与度（増加分）：有機化合物（＋1.2%）、映像機器（＋0.9%）等

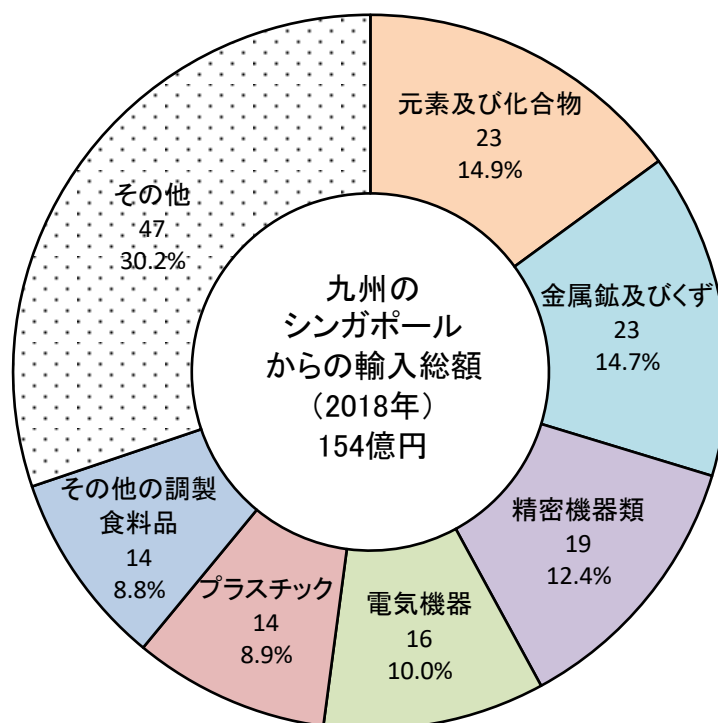
寄与度（減少分）：船舶類（▲11.2%）、半導体等電子部品（▲2.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-8-4 九州のシンガポールからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
有機化合物	元素及び化合物	22	14.2%	58.7%	2.7%
科学光学機器	精密機器類	19	12.4%	10.6%	2.2%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	16	10.3%	▲4.5%	20.0%
半導体等電子部品	電気機器	14	8.8%	▲9.9%	1.7%
合成ゴム	生ゴム	13	8.6%	▲9.9%	25.6%
半導体等製造装置	一般機械	12	7.6%	172.5%	0.7%
合成樹脂	プラスチック	7	4.3%	7.9%	3.9%
ポリエチレン	プラスチック	2	1.5%	13.3%	12.4%
石油製品	石油及び同製品	2	1.0%	▲96.6%	0.3%
電気回路等の機器	電気機器	1	0.8%	101.5%	4.0%
その他		47	30.5%	—	—
総 額		154	100%	▲13.8%	1.4%

寄与度（増加分）：有機化合物（＋4.5%）、半導体等製造装置（＋4.2%）等

寄与度（減少分）：石油製品（▲23.8%）、絶縁電線及び絶縁ケーブル（▲1.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

9. 九州とマレーシアの貿易

9-1. マレーシアの経済概況

国名	マレーシア
面積	約33万km ² (日本の約0.9倍)
人口	約3,200万人(2017年マレーシア統計局)
首都	クアラルンプール
人種	マレー系(約69%)、中国系(約23%)、インド系(約7%) (注:マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)
言語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語
宗教	イスラム教(連邦の宗教)61%、仏教20%、儒教・道教1.0%、ヒンドゥー教6.0%、キリスト教9.0%、その他
政体	立憲君主制(議会制民主主義)
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-9-1 マレーシアのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.0	5.1	4.2	5.9	4.7
名目GDP総額	10億ドル	338	297	297	315	354 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	11,014	9,516	9,397	9,833	10,942 *
輸出額	億ドル	2,340	1,992	1,900	2,178	2,475 *
	前年比(%)	2.4	▲ 14.9	▲ 4.6	14.7	13.6 *
輸入額	億ドル	2,090	1,761	1,687	1,948	2,176 *
	前年比(%)	1.4	▲ 15.7	▲ 4.2	15.5	11.7 *
貿易収支	億ドル	252	234	213	229	—
対日貿易収支	億ドル	85	49	15	26	14 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	5.2	4.7	4.1	4.3	3.1
失業率	(%)	2.9	3.2	3.5	3.4	3.3
消費者物価上昇率	前年比(%)	3.1	2.1	2.1	3.8	1.0
直接投資受入額	億ドル	1,167	1,686	2,118	1,591	1,352 *
為替レート(1ドル)	リンギ	3.27	3.91	4.15	4.30	4.04
為替レート(1リンギ)	円	32.37	30.99	26.23	26.08	27.37

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

9-2. 九州とマレーシアの貿易動向

●2018年の九州の対マレーシア貿易額

輸出総額：1,305億円（前年比2.5%減） → 2年ぶりのマイナス

輸入総額：999億円（前年比7.5%増） → 2年連続のプラス

差引額：306億円（前年比25.3%減）

●輸出品目（輸出額多い順）金（マネタリーゴールドを除く）、半導体等電子部品、自動車（寄与度↑）自動車（+8.8%）、石油製品（+4.1%）

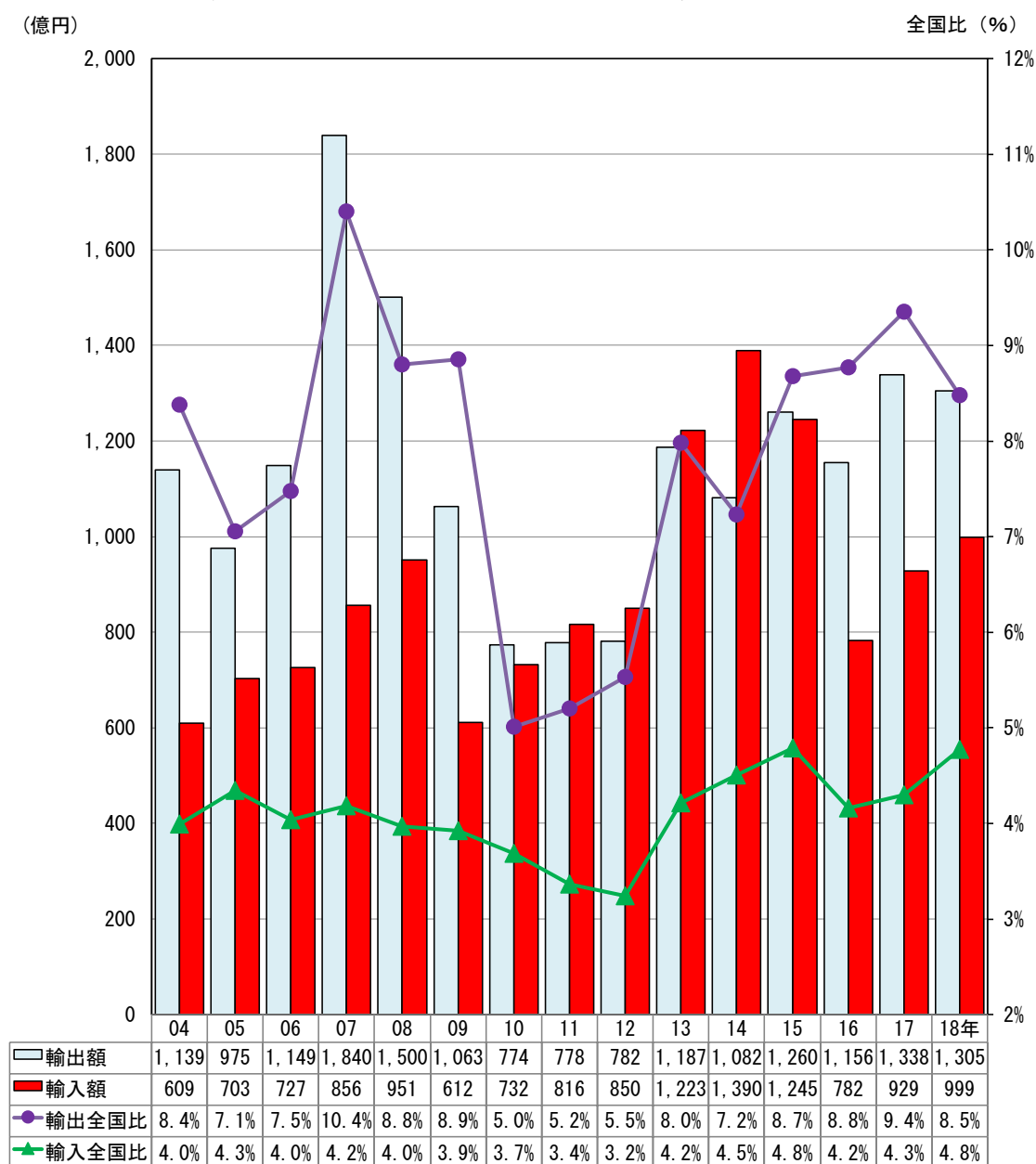
（寄与度↓）荷役機械（▲6.6%）、半導体等電子部品（▲4.1%）

●輸入品目（輸入額多い順）天然ガス及び製造ガス、木製品及びコルク製品（除家具）

（寄与度↑）音響・映像機器（含部品）（+1.8%）、合金鉄（+1.6%）

（寄与度↓）石油ガス類（▲2.3%）、自動車の部分品（▲0.4%）

図表 2-9-2 九州の対マレーシア貿易額の推移

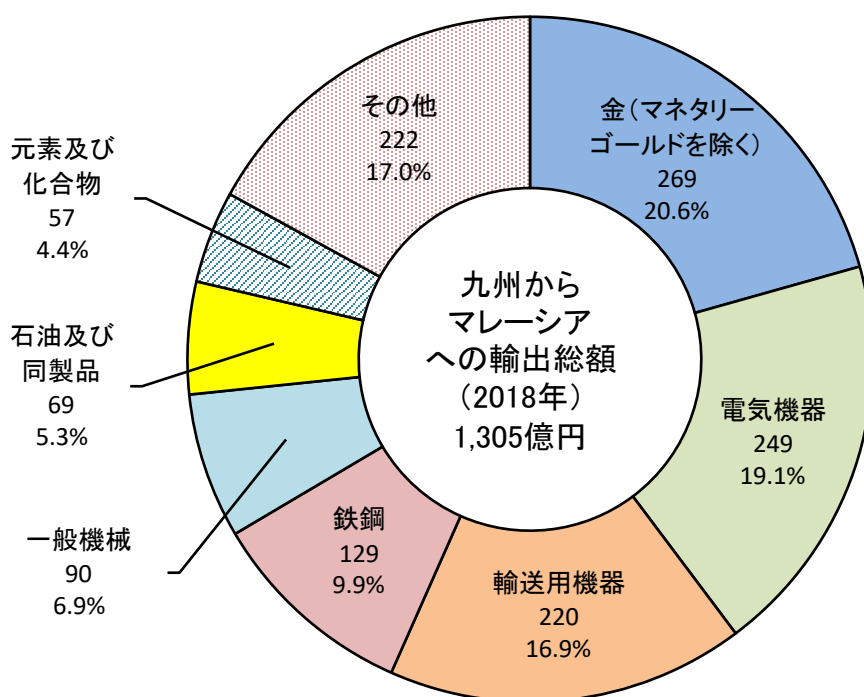


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-9-3 九州からマレーシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	269	20.6%	▲6.7%	78.1%
半導体等電子部品	電気機器	213	16.3%	▲20.4%	10.9%
自動車	輸送用機器	175	13.4%	208.1%	13.8%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	128	9.8%	8.3%	15.5%
石油製品	石油及び同製品	69	5.3%	386.9%	12.8%
自動車の部分品	生ゴム	42	3.2%	▲20.1%	5.1%
塗料類	輸送用機器	31	2.3%	23.7%	27.3%
ガラス及び同製品	元素及び化合物	30	2.3%	3.0%	24.0%
有機化合物	元素及び化合物	30	2.3%	▲6.1%	17.5%
原動機	染料・なめし剤及び着色剤	28	2.2%	▲0.9%	8.0%
その他		289	22.1%	—	—
総 額		1,305	100.0%	▲2.5%	8.5%

寄与度（増加分）：自動車（＋8.8%）、石油製品（＋4.1%）等

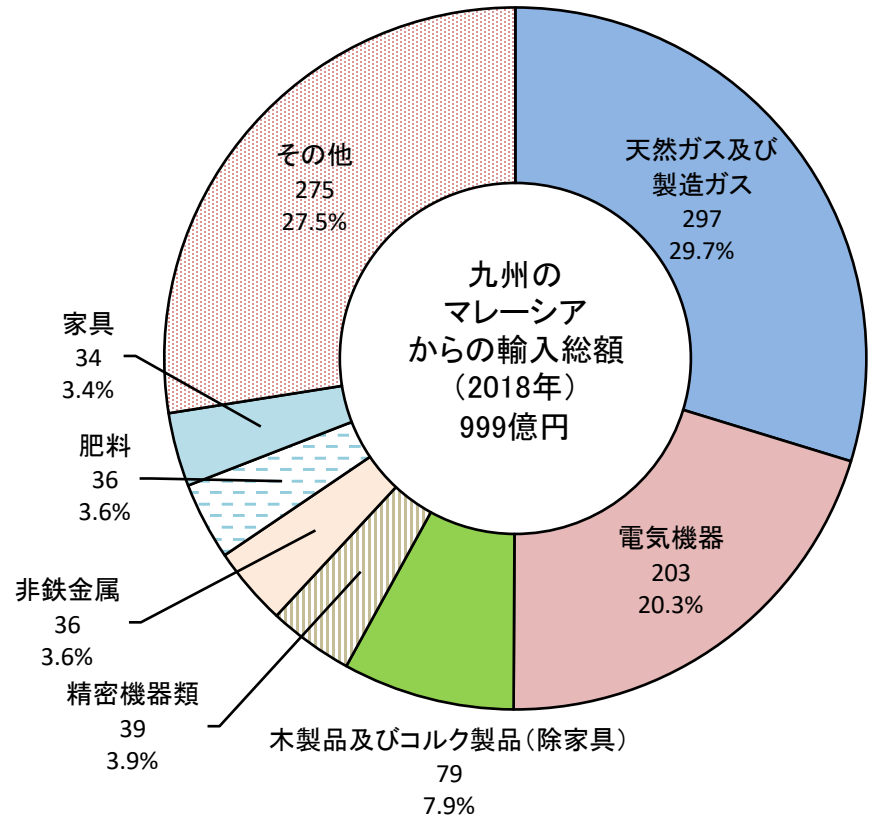
寄与度（減少分）：荷役機械（▲6.6%）、半導体等電子部品（▲4.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-9-4 九州のマレーシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	297	29.7%	▲6.8%	4.9%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	65	6.6%	11.7%	9.3%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	62	6.2%	37.8%	6.4%
半導体等電子部品	電気機器	52	5.2%	36.5%	3.3%
通信機	電気機器	41	4.1%	▲4.7%	5.4%
科学光学機器	精密機器類	39	3.9%	▲7.7%	9.0%
植物性原材料	その他の動植物性原材料	29	2.9%	20.3%	22.1%
合金鉄	鉄鋼	27	2.7%	124.7%	11.7%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	26	2.6%	111.4%	10.5%
自動車の部分品	輸送用機器	18	1.8%	▲16.8%	30.7%
その他		343	34.3%	—	—
総 額		999	100.0%	7.5%	4.8%

寄与度（増加分）：音響・映像機器（含部品）（＋1.8%）、合金鉄（＋1.6%）等

寄与度（減少分）：石油ガス類（▲2.3%）、自動車の部分品（▲0.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

10. 九州とフィリピンの貿易

10-1. フィリピンの経済概況

国名	フィリピン共和国
面積	29万9,404km ² (日本の約8割)。7,109の島々がある。
人口	約1億98万人(2015年フィリピン国勢調査)
首都	マニラ(首都圏人口約1,288万人)(2015年フィリピン国勢調査)
人種	マレー系が主体。ほかに中国系、スペイン系及びこれらとの混血並びに少数民族がいる。
言語	国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語及び英語。80前後の言語がある。
宗教	ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック、その他のキリスト教10%。イスラム教5%(ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上)。
政体	立憲共和制
主要産業	農林水産業(全就業人口の約27%が従事)(2016年1月) 近年、コールセンター事業等のビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)産業を含めたサービス業が大きく成長(全就業人口の約56%が従事)(2016年1月)

出所：外務省HP「国・地域」より九州経済産業局作成。

図表 2-10-1 フィリピンのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.1	6.1	6.9	6.7	6.2
名目GDP総額	10億ドル	285	293	305	314	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,849	2,883	2,953	2,989	—
輸出額	億ドル	621	588	574	687	675
	前年比(%)	9.5	▲ 5.3	▲ 2.4	19.7	▲ 1.8
輸入額	億ドル	654	711	841	961	1,089
	前年比(%)	4.8	8.7	18.3	14.2	13.4
貿易収支	億ドル	▲ 33	▲ 122	▲ 267	▲ 274	▲ 414
対日貿易収支	億ドル	86	53	21	▲ 3	▲ 5 *
製造業生産指数	前年比(%)	6.2	▲ 4.4	6.6	▲ 1.4	7.8
失業率	(%)	7.2	6.6	6.1	5.7	5.3
消費者物価指数	前年比(%)	3.6	0.7	1.3	2.9	5.2
直接投資受入額	億ドル	42	54	46	21	34 *
為替レート(1ドル)	ペソ	44.40	45.50	47.49	50.40	52.66
為替レート(1ペソ)	円	2.39	2.66	2.29	2.23	2.10

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

10-2. 九州とフィリピンの貿易動向

●2018年の九州の対フィリピン貿易額

輸出総額： 655億円（前年比11.6%減） → 2年ぶりのマイナス

輸入総額： 1,157億円（前年比1.5%減） → 3年連続のマイナス

差引額： ▲502億円（前年比▲68億円） → 7年連続の輸入超過

●輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、自動車、半導体等電子部品

〈寄与度↑〉鉄鋼のフラットロール製品（+3.5%）、荷役機械（+1.4%）

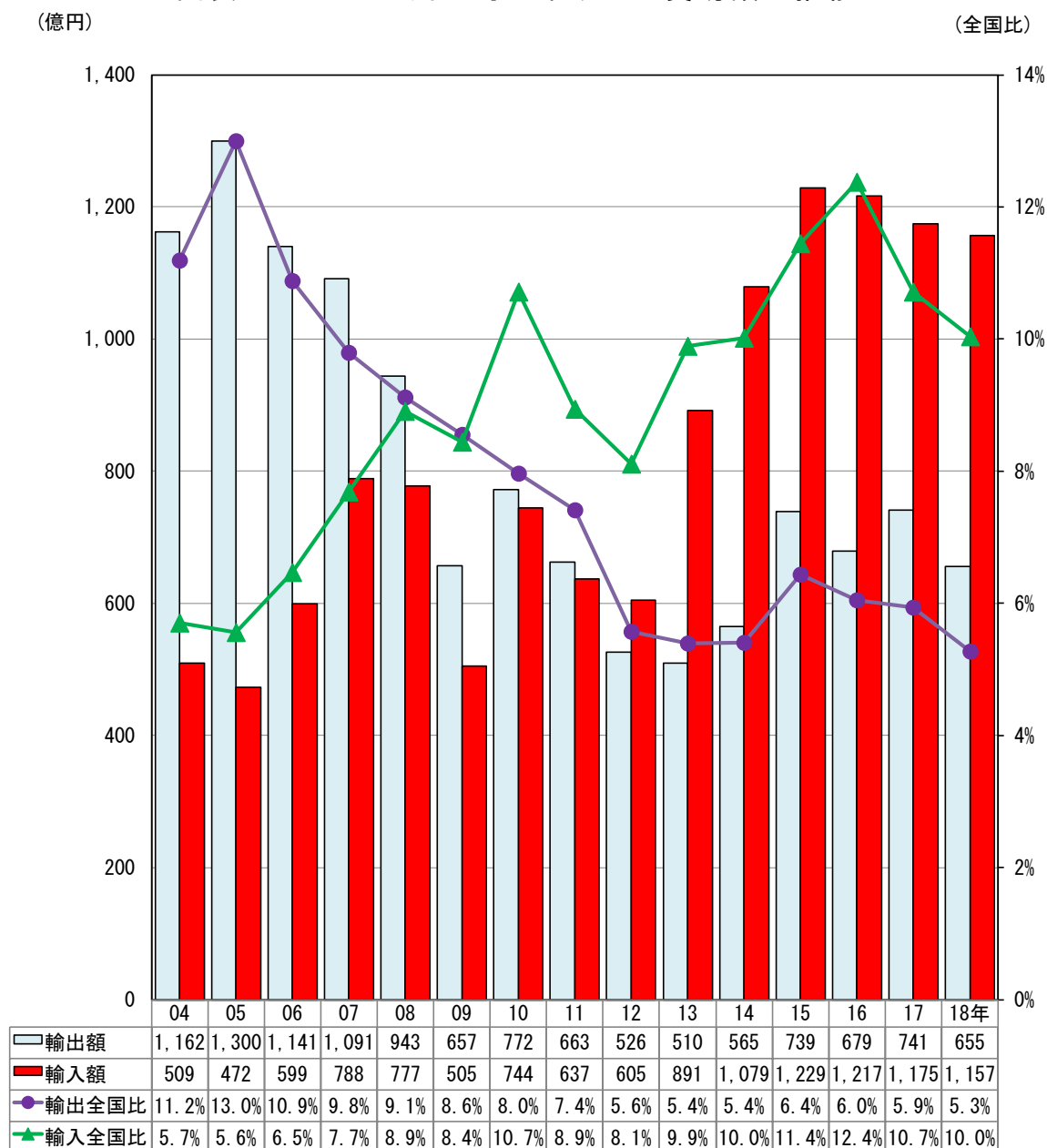
〈寄与度↓〉船舶類（▲4.9%）、自動車（▲4.9%）

●輸入品目（輸入額多い順）絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱、果実

〈寄与度↑〉非鉄金属鉱（+4.3%）、木製建具及び建築用木工品（+1.2%）

〈寄与度↓〉事務用機器（▲3.0%）、重電機器（▲2.5%）

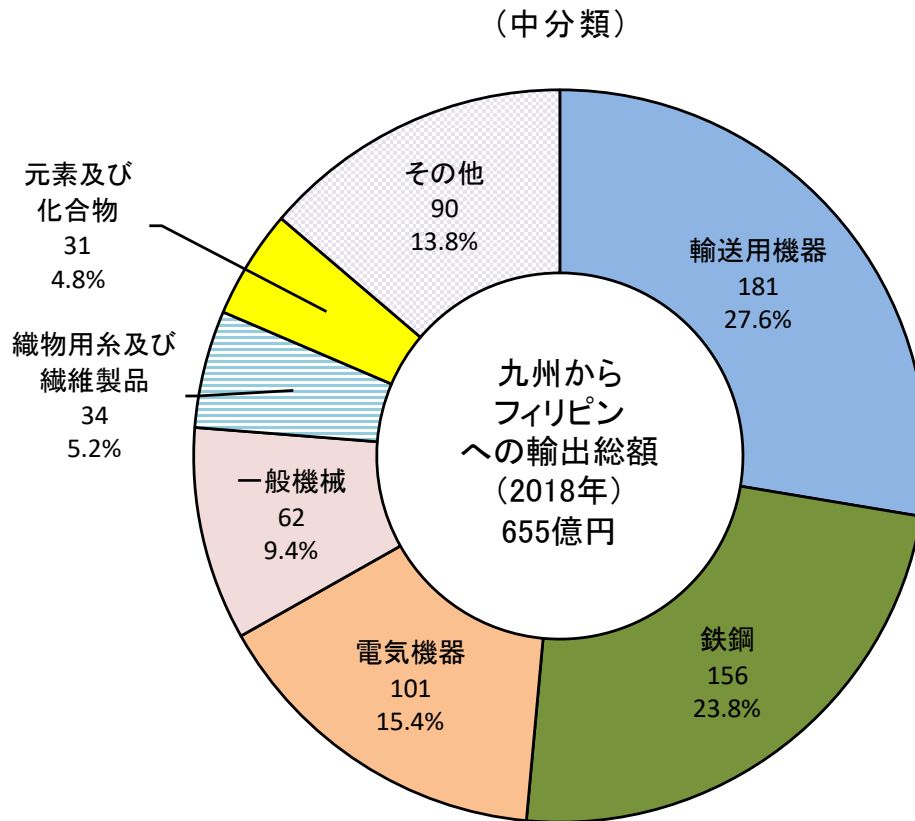
図表 2-10-2 九州の対フィリピン貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-10-3 九州からフィリピンへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	155	23.6%	20.3%	33.4%
自動車	輸送用機器	149	22.7%	▲19.6%	10.1%
半導体等電子部品	電気機器	46	7.1%	▲8.9%	4.9%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	30	4.6%	▲8.9%	82.0%
有機化合物	元素及び化合物	28	4.3%	▲6.6%	17.1%
建設用・鉱山用機械	一般機械	22	3.3%	51.3%	7.2%
船舶類	輸送用機器	21	3.2%	▲63.3%	17.5%
セメント	非金属鉱物製品	15	2.2%	▲42.3%	71.2%
荷役機械	一般機械	14	2.1%	310.4%	8.9%
プラスチック製品	その他の雑製品	9	1.3%	6.0%	6.1%
その他		167	25.5%	—	—
総 額		655	100.0%	▲11.6%	5.3%

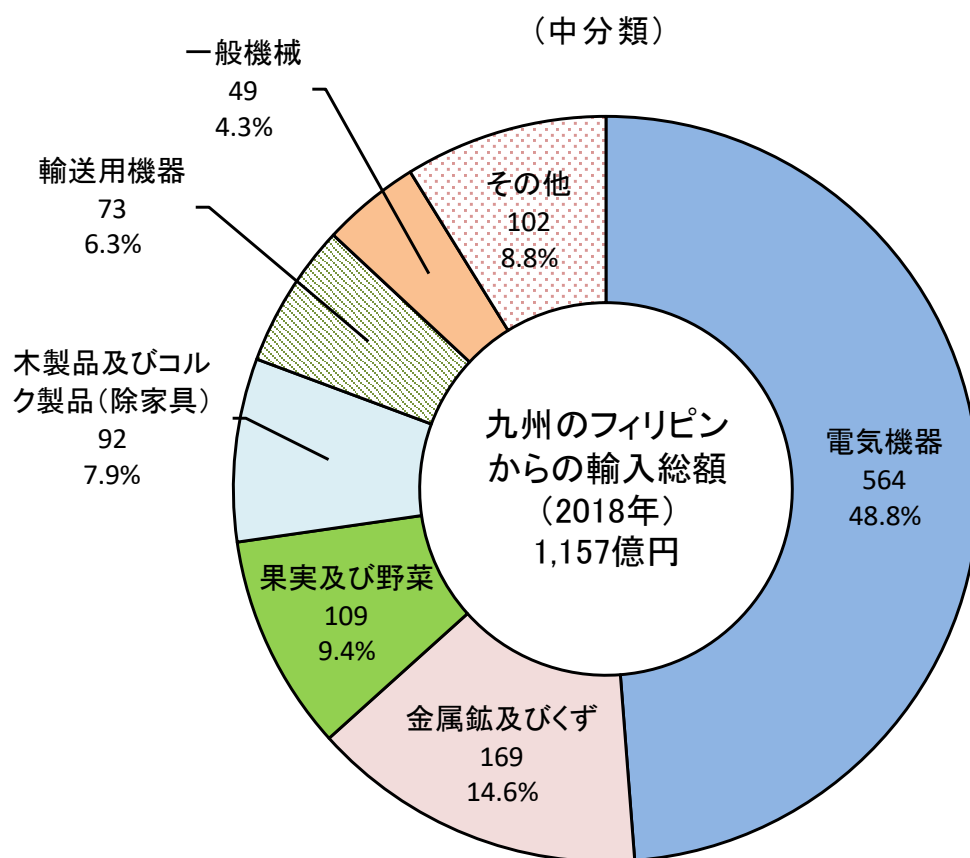
寄与度（増加分）：鉄鋼のフラットロール製品（＋3.5%）、荷役機械（＋1.4%）等

寄与度（減少分）：船舶類（▲4.9%）、自動車（▲4.9%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-10-4 九州のフィリピンからの輸入品目

(単位：億円、%)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	366	31.6%	1.9%	29.5%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	141	12.2%	56.4%	11.6%
果実	果実及び野菜	109	9.4%	5.4%	10.4%
木製建具及び建築用木工品	木製品及びコルク製品(除家具)	90	7.7%	18.3%	9.2%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	68	5.9%	▲9.4%	22.1%
自動車の部分品	輸送用機器	65	5.6%	▲0.1%	27.5%
半導体等電子部品	電気機器	37	3.2%	▲18.9%	4.1%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	37	3.2%	19.2%	24.3%
通信機	電気機器	29	2.5%	33.8%	6.6%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	26	2.3%	▲14.6%	21.4%
その他		189	16.3%	—	—
総 額		1,157	100.0%	▲1.5%	10.0%

寄与度（増加分）：非鉄金属鉱（＋4.3%）、木製建具及び建築用木工品（＋1.2%）等

寄与度（減少分）：事務用機器（▲3.0%）、重電機器（▲2.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

11. 九州とインドネシアの貿易

11-1. インドネシアの経済概況

国名	インドネシア共和国
面積	約192万km ² (日本の約5倍)
人口	約2.55億人(2015年、インドネシア政府統計)
首都	ジャカルタ(人口1,017万人:2015年、インドネシア政府統計)
人種	大半がマレー系(ジャワ、スンダ等約300種族)
言語	インドネシア語
宗教	イスラム教 87.21%、キリスト教 9.87%(プロテスタント 6.96%、カトリック 2.91%)、ヒンズー教 1.69%、仏教 0.72%、儒教 0.05%、その他 0.50%(2016年、宗教省統計)
政体	大統領制、共和制
主要産業	製造業(19.9%):輸送機器(二輪車など)、飲食品など 農林水産業(12.8%):パーム油、ゴム、米、ココア、キャッサバ、コーヒー豆など 商業・ホテル・飲食業(15.8%) 鉱業(8.1%):LNG、石炭、錫、石油など 建設(10.5%)、運輸・通信(9.1%)、金融・保険(4.2%)、 行政サービス・軍事・社会保障(3.7%) (カッコ内は2018年における名目GDP構成比)(インドネシア政府統計)

出所: 外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-11-1 インドネシアのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.0	4.9	5.0	5.1	5.2
名目GDP総額	10億ドル	891	861	932	1,015	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	3,534	3,369	3,604	3,876	—
輸出額	億ドル	1,760	1,504	1,452	1,688	1,802
	前年比(%)	▲ 3.6	▲ 14.6	▲ 3.4	16.3	6.7
輸入額	億ドル	1,782	1,427	1,357	1,570	1,887
	前年比(%)	▲ 4.5	▲ 19.9	▲ 4.9	15.7	20.2
貿易収支	億ドル	▲ 22	77	95	118	▲ 85
対日貿易収支	億ドル	61	48	31	26	15 *
製造業生産指数	前年比(%)	4.8	4.8	4.0	4.3	4.2
失業率	(%)	5.9	6.2	5.6	5.5	5.3
消費者物価指数	前年比(%)	6.4	6.4	3.5	3.8	3.2
直接投資受入額	億ドル	285	293	290	322	293 *
為替レート(1ドル)	ルピア	11,865.21	13,389.41	13,308.33	13,380.83	14,236.94
為替レート(1ルピア)	円	0.009	0.009	0.008	0.008	0.008

出所: 内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

11-2. 九州とインドネシアの貿易動向

●2018年の九州の対インドネシア貿易額

輸出総額： 967億円（前年比11.6%増） → 2年連続のプラス

輸入総額： 2,782億円（前年比9.4%増） → 4年ぶりのプラス

差引額： ▲1,814億円（前年比▲138億円）

●輸出品目（輸出額多い順）原動機、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ

〈寄与度↑〉原動機（+16.7%）、構造物及び同建築材（+1.6%）

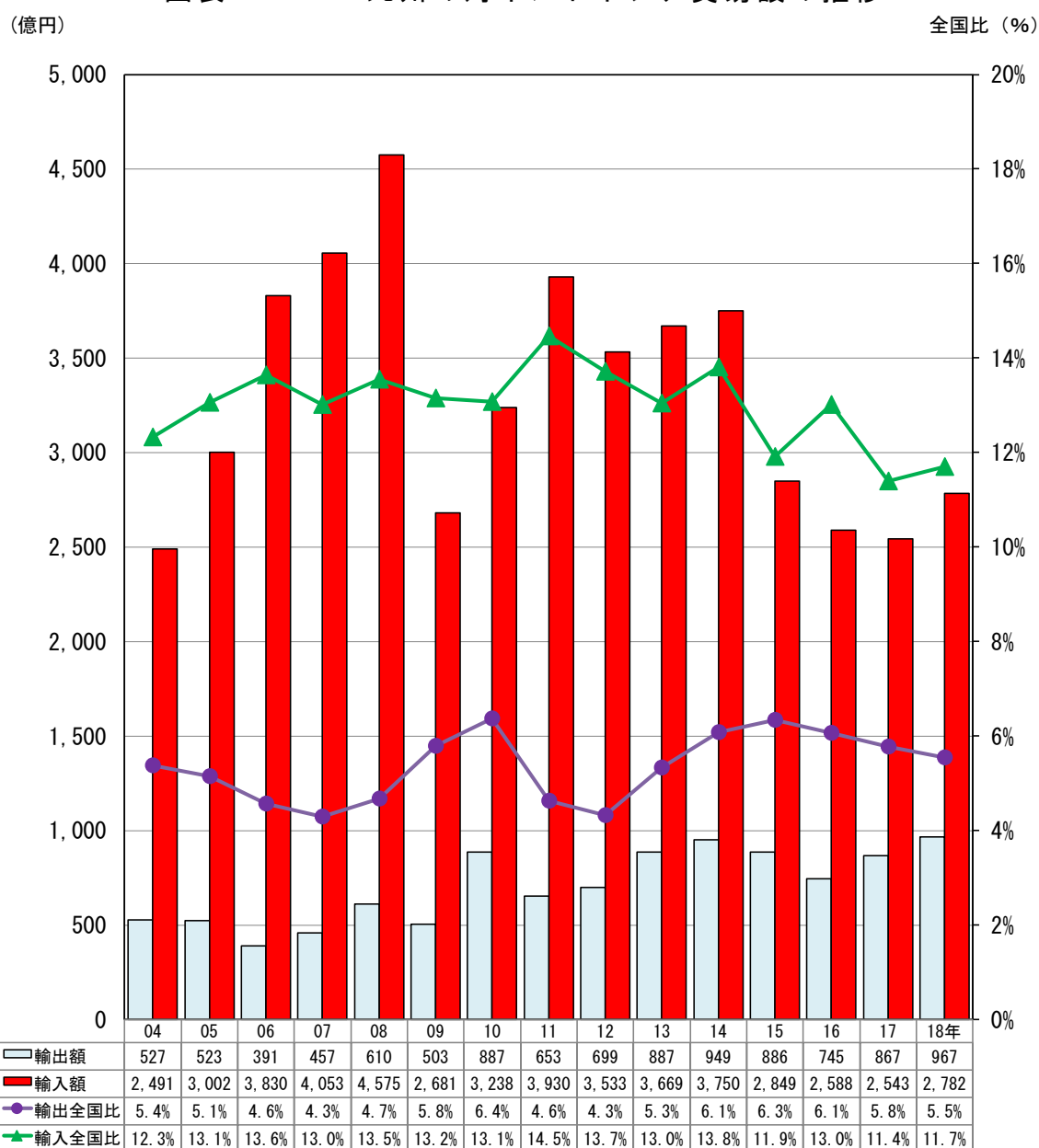
〈寄与度↓〉自動車（▲4.9%）、科学光学機器（▲1.9%）

●輸入品目（輸入額多い順）石炭、非鉄金属鉱、天然ゴム

〈寄与度↑〉絶縁電線及び絶縁ケーブル（+1.2%）、石油製品（+1.1%）

〈寄与度↓〉天然ゴム（▲2.9%）、米（▲0.5%）

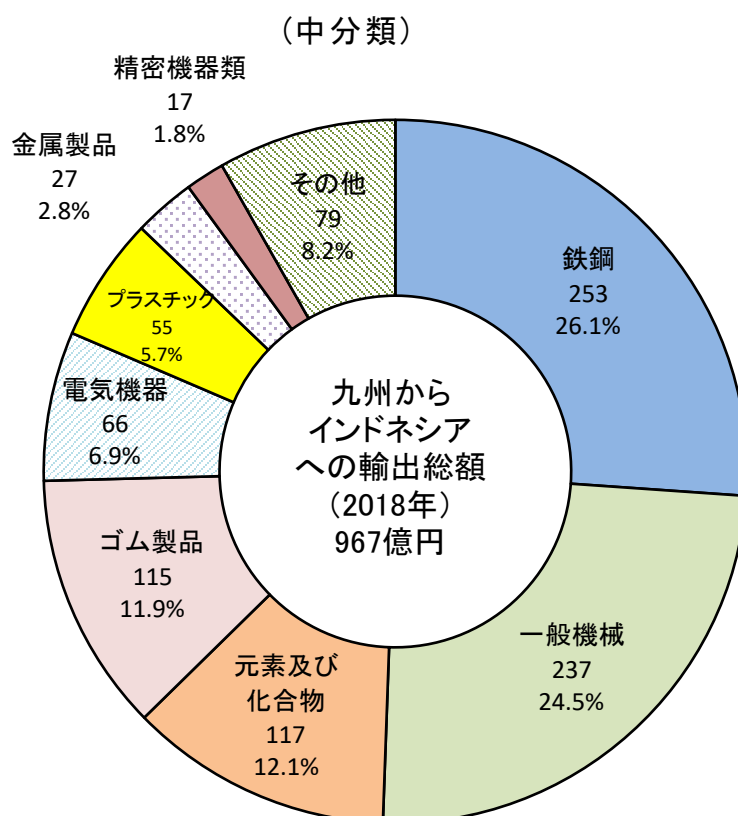
図表 2-11-2 九州の対インドネシア貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-11-3 九州からインドネシアへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
原動機	一般機械	205	21.2%	236.8%	13.1%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	181	18.7%	1.7%	13.4%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	113	11.7%	▲7.1%	43.8%
有機化合物	元素及び化合物	78	8.1%	▲12.8%	22.6%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	60	6.2%	7.7%	15.8%
無機化合物	元素及び化合物	39	4.0%	15.6%	24.5%
半導体等電子部品	電気機器	28	2.9%	17.7%	10.4%
構造物及び同建設材	金属製品	22	2.3%	173.3%	58.5%
科学光学機器	精密機器類	17	1.8%	▲48.1%	10.3%
通信機	電気機器	12	1.3%	▲41.2%	18.6%
その他		211	21.8%	—	—
総 額		967	100.0%	11.6%	5.5%

寄与度（増加分）：原動機（＋16.7%）、構造物及び同建設材（＋1.6%）等

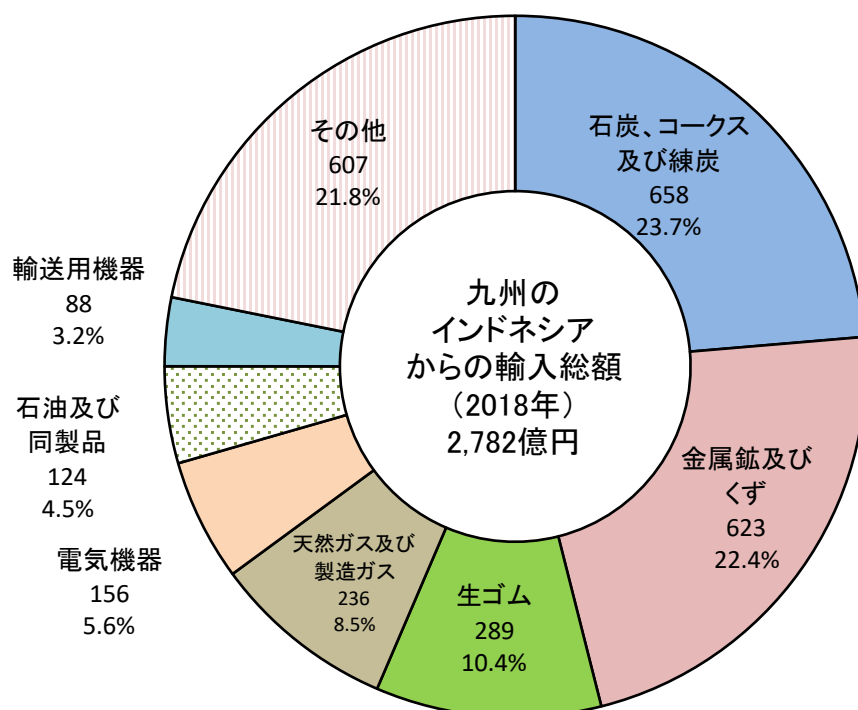
寄与度（減少分）：自動車（▲4.9%）、科学光学機器（▲1.9%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-11-4 九州のインドネシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	658	23.7%	34.0%	18.8%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	612	22.0%	120.6%	23.8%
天然ゴム	生ゴム	289	10.4%	▲17.4%	37.0%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	236	8.5%	▲46.3%	8.0%
原油及び粗油	石油及び同製品	124	4.5%	▲15.4%	18.2%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	108	3.9%	52.8%	10.4%
自動車の部分品	輸送用機器	83	3.0%	11.8%	25.1%
すず及び同合金	非鉄金属	65	2.3%	2.7%	20.3%
魚介類	業界類及び同調製品	57	2.0%	▲30.7%	11.0%
植物性油かす	飼料	55	2.0%	91.4%	50.5%
その他		495	17.8%	—	—
総 額		2,782	100.0%	9.4%	11.7%

寄与度（増加分）：非鉄金属鉱（＋13.2%）、石炭（＋6.6%）等

寄与度（減少分）：石油ガス類（▲8.0%）、天然ゴム（▲2.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

12. 九州とミャンマーの貿易

12-1. ミャンマーの経済概況

国名	ミャンマー連邦共和国
面積	約68万km ² (日本の約1.8倍)
人口	5,141万人(2014年9月(ミャンマー入国管理・人口省発表))
首都	ネーピードー
人種	ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
言語	ミャンマー語
宗教	仏教(90%)、キリスト教、イスラム教等
政体	大統領制、共和制
主要産業	農業、天然ガス、製造業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-12-1 ミャンマー経済

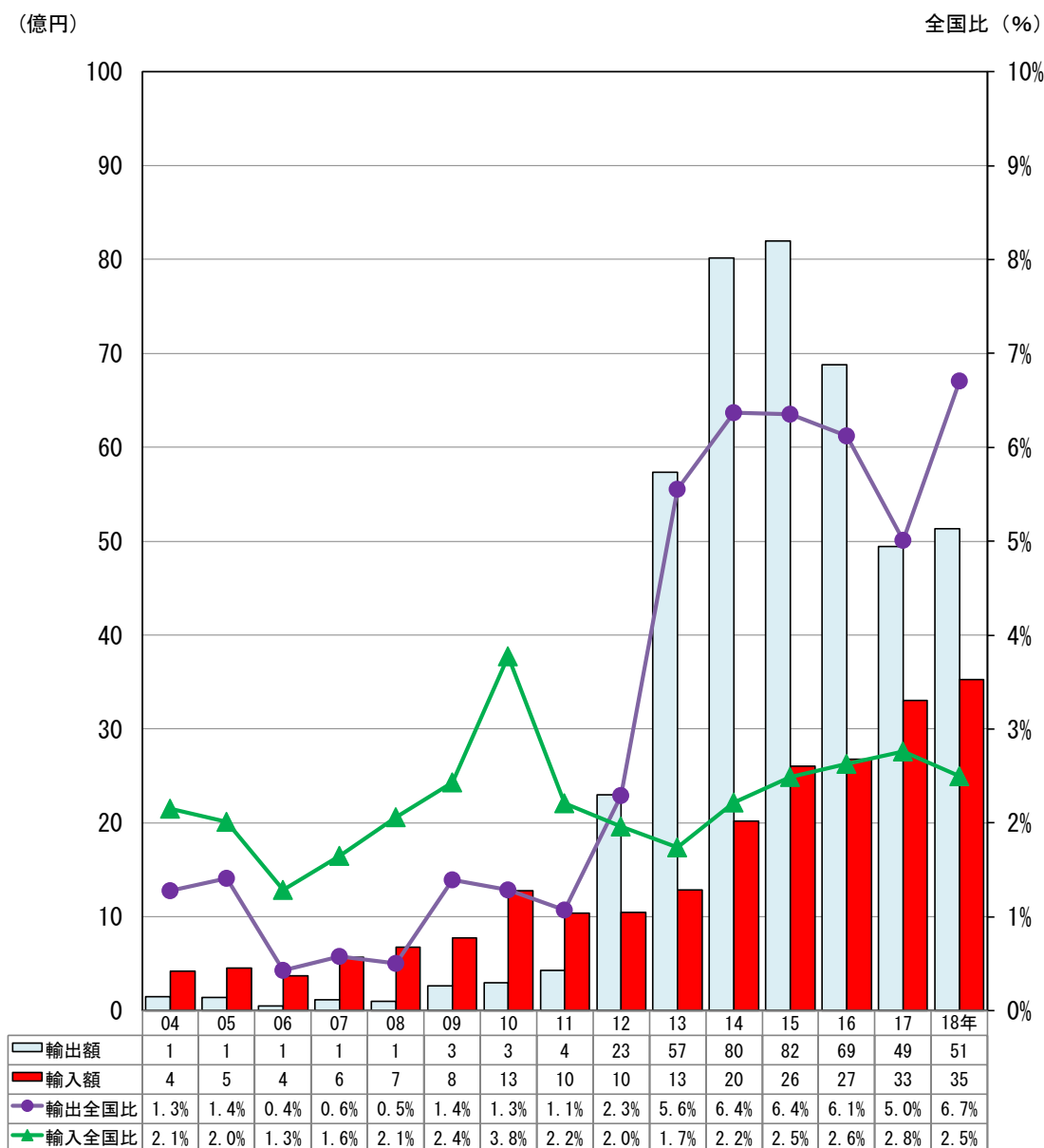
	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	8.2	7.5	5.2	6.3	6.7
名目GDP総額	10億ドル	63.3	63.2	60.5	61.4	68.6
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,231	1,219	1,157	1,166	1,298
輸出額	億ドル	114.1	114.4	118.4	138.9	167.8
	前年比(%)	▲ 0.4	0.2	3.5	17.4	20.8
輸入額	億ドル	163.4	169.9	157.2	192.5	194.4
	前年比(%)	34.9	4.0	▲ 7.5	22.5	1.0
貿易収支	億ドル	▲ 49.3	▲ 55.6	▲ 38.8	▲ 53.6	▲ 26.6
対日貿易収支	億ドル	▲ 10.7	▲ 11.0	▲ 5.9	▲ 1.5	6.9
消費者物価上昇率	(%)	5.1	9.5	7.0	4.6	6.9
失業率	(%)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
直接投資受入額	億ドル	21.75	40.84	32.78	40.02	—
為替レート(1ドル)	チャット	984.35	1162.62	1234.87	1360.36	1429.81

出所：ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

12-2. 九州とミャンマーの貿易動向

- 2012年以降、欧米諸国による制裁措置が緩和され、貿易額が大きく増加した。
- 2018年の九州の対ミャンマー貿易額
 - 輸出総額： 51億円（前年比3.8%増） → 3年ぶりのプラス
 - 輸入総額： 35億円（前年比6.7%増） → 6年連続のプラス
 - 差引額： 16億円（前年から横ばい） → 7年連続の輸出超過
- 輸出品目（輸出額多い順）荷役機械、自動車、鉄鋼のフラットロール製品
 - 〈寄与度↑〉荷役機械（+45.6%）、鉄鋼のフラットロール製品（+8.1%）
 - 〈寄与度↓〉自動車（▲45.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（▲2.8%）
- 輸入品目（輸入額多い順）衣類、メリヤス編み及びクロセ編み衣類、野菜
 - 〈寄与度↑〉衣類（+4.5%）、魚介類の粉、ミール及びペレット（+1.4%）
 - 〈寄与度↓〉天然ゴム（▲1.4%）、野菜（▲1.0%）

図表 2-12-2 九州の対ミャンマー貿易額の推移

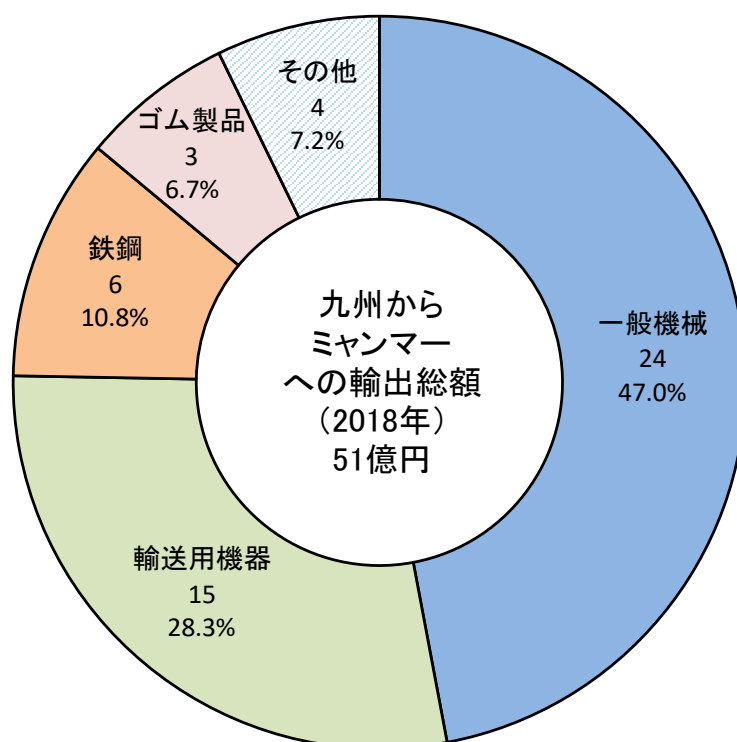


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-12-3 九州からミャンマーへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
荷役機械	一般機械	23	44.1%	28175.8%	63.2%
自動車	輸送用機器	14	27.0%	▲62.0%	5.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	6	10.8%	269.2%	28.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	3.4	6.7%	▲28.6%	48.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	0.9	1.7%	379.4%	3.3%
二輪自動車類	輸送用機器	0.6	1.2%	64.1%	6.0%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.5	1.0%	873.2%	7.3%
映像機器	電気機器	0.4	0.8%	43.6%	7.4%
有機化合物	元素及び化合物	0.4	0.7%	▲72.4%	26.6%
紙及び板紙	紙類及び同製品	0.3	0.6%	▲16.0%	2.1%
その他		3	5.4%	—	—
総 額		51	100.0%	3.8%	6.7%

寄与度（増加分）：荷役機械（＋45.6%）、鉄鋼のフラットロール製品（＋8.1%）等

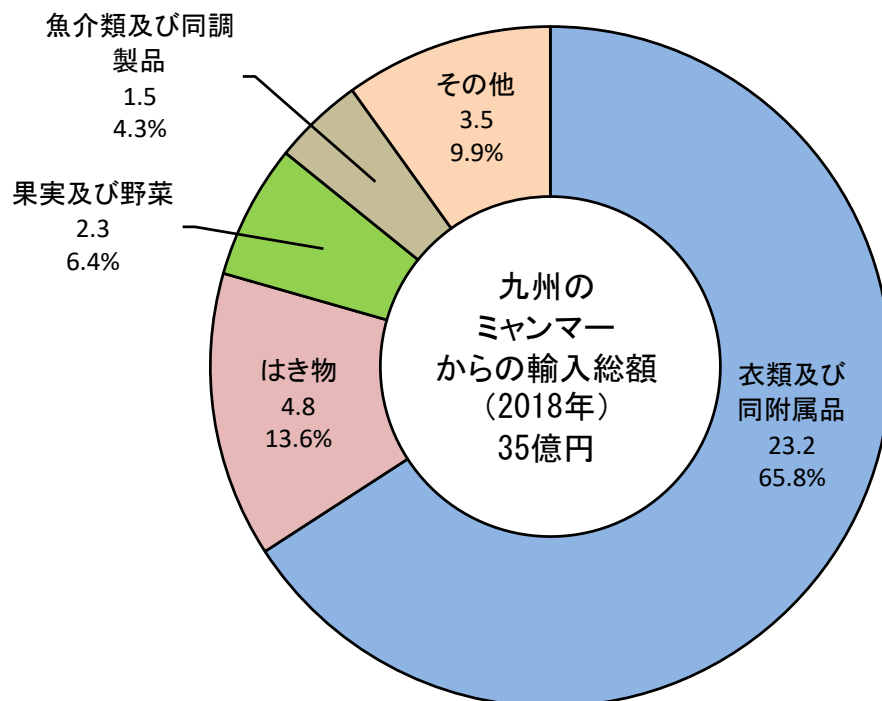
寄与度（減少分）：自動車（▲45.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（▲2.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-12-4 九州のミャンマーからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
衣類	衣類及び同附属品	19.6	55.5%	8.2%	2.5%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同附属品	3.7	10.4%	0.5%	1.7%
野菜	果実及び野菜	2.3	6.4%	▲12.7%	6.7%
魚介類	魚介類及び同調製品	1.2	3.5%	39.0%	2.3%
その他		8.5	24.2%	—	—
総 額		35	100%	6.7%	2.5%

寄与度（増加分）：衣類（＋4.5%）、魚介類の粉、ミール及びペレット（＋1.4%）等

寄与度（減少分）：天然ゴム（▲1.4%）、野菜（▲1.0%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

13. 九州とインドの貿易

13-1. インドの経済概況

国名	インド
面積	328万7,469km ² (インド政府資料: パキスタン、中国との係争地を含む)(2011年国勢調査)
人口	12億1,057万人(2011年国勢調査) 人口増加率17.68%(2011年国勢調査)
首都	ニューデリー
人種	インド・アーリア族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
言語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21
宗教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.7%、仏教徒0.7%、ジャイナ教徒0.4%(2011年国勢調査)
政体	共和制
主要産業	農業、工業、鉱業、IT産業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-13-1 インドのマクロ経済

	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
実質GDP成長率	前年比(%)	6.4	7.4	8.0	8.2	7.2
名目GDP総額	10億ドル	1,857	2,039	2,102	2,274	2,602
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,486	1,610	1,639	1,749	1,976
輸出額	億ドル	3,144	3,104	2,623	2,759	3,034
	前年比(%)	4.7	▲ 1.3	▲ 15.5	5.2	10.0
輸入額	億ドル	4,502	4,480	3,810	3,844	4,647
	前年比(%)	▲ 8.3	▲ 0.5	▲ 15.0	0.9	20.9
貿易収支	億ドル	▲ 1,358	▲ 1,377	▲ 1,187	▲ 1,085	▲ 1,613
対日貿易収支	億ドル	▲ 27	▲ 47	▲ 52	▲ 59	▲ 62 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	3.3	4.0	3.3	4.6	4.4
失業率	(%)	2.8	2.8	2.8	2.7	2.6 *
消費者物価指数(全国)	前年比(%)	9.4	5.8	4.9	4.5	3.6
直接投資受入額	億ドル	308	353	449	422	394 *
為替レート(1ドル)	ルピー	58.60	61.03	64.15	67.20	65.12
為替レート(1ルピー)	円	1.67	1.74	1.89	1.62	1.72

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

13-2. 九州とインドの貿易動向

● 2018 年の九州の対インド貿易額

輸出総額：1,101 億円（前年比 46.6%増） → 2 年連続のプラス

輸入総額：368 億円（前年比 22.8%減） → 3 年ぶりのマイナス

差引額：732 億円（前年比 +459 億円） → 前年比 59.5%増、過去最大

● 輸出品目（輸出額多い順）鉄鋼のフラットロール製品、銅及び同合金、コークス

〈寄与度↑〉銅及び同合金（+22.8%）、石油製品（+9.8%）

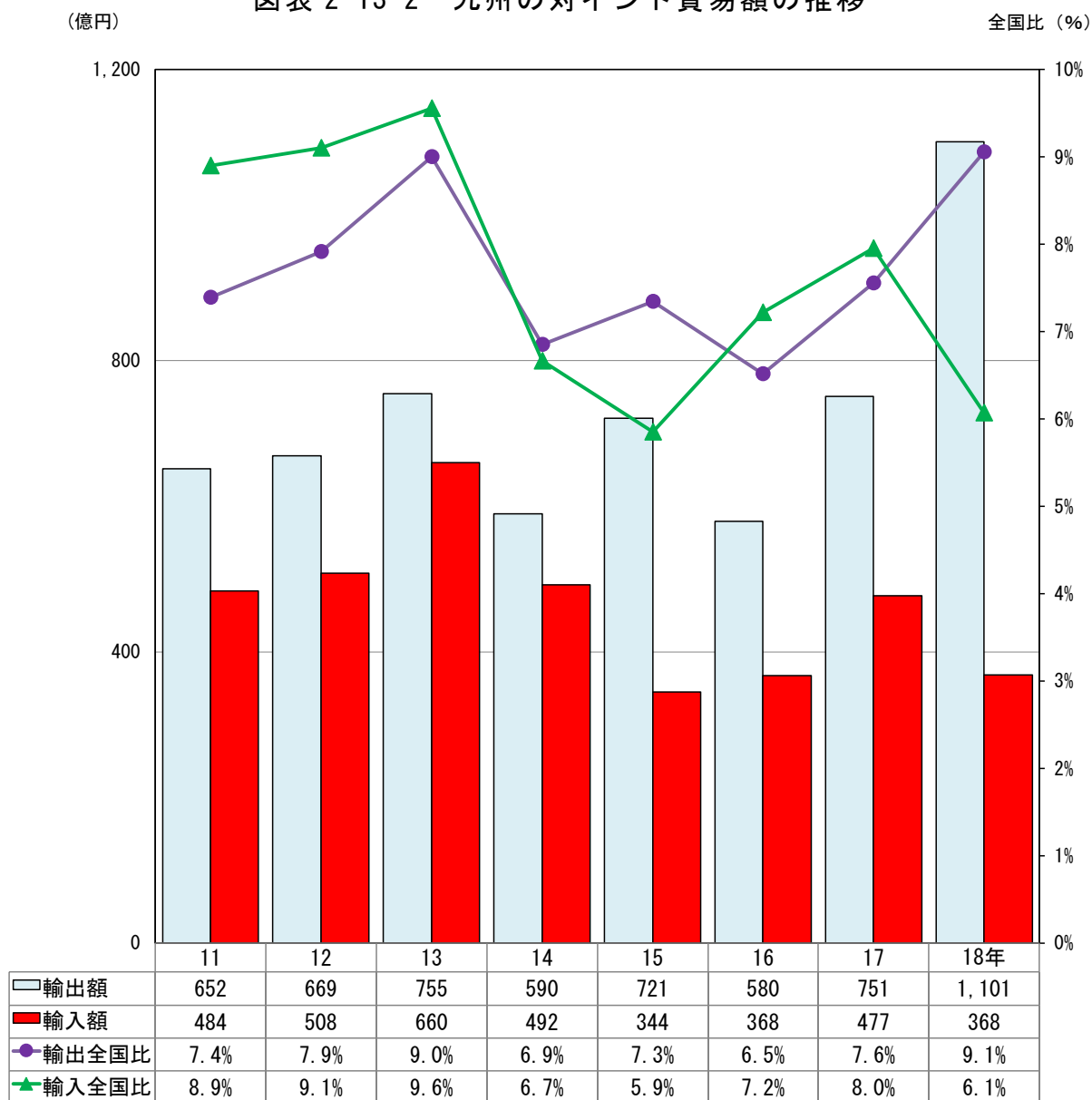
〈寄与度↓〉コークス（▲3.3%）、加熱用・冷却用機器（▲1.1%）

● 輸入品目（輸入額多い順）石油製品、植物性油かす、魚介類

〈寄与度↑〉アルミニウム及び同合金（+2.3%）、魚介類の粉、ミール及びペレット（+1.0%）

〈寄与度↓〉石油製品（▲23.1%）、植物性油かす（▲4.3%）

図表 2-13-2 九州の対インド貿易額の推移

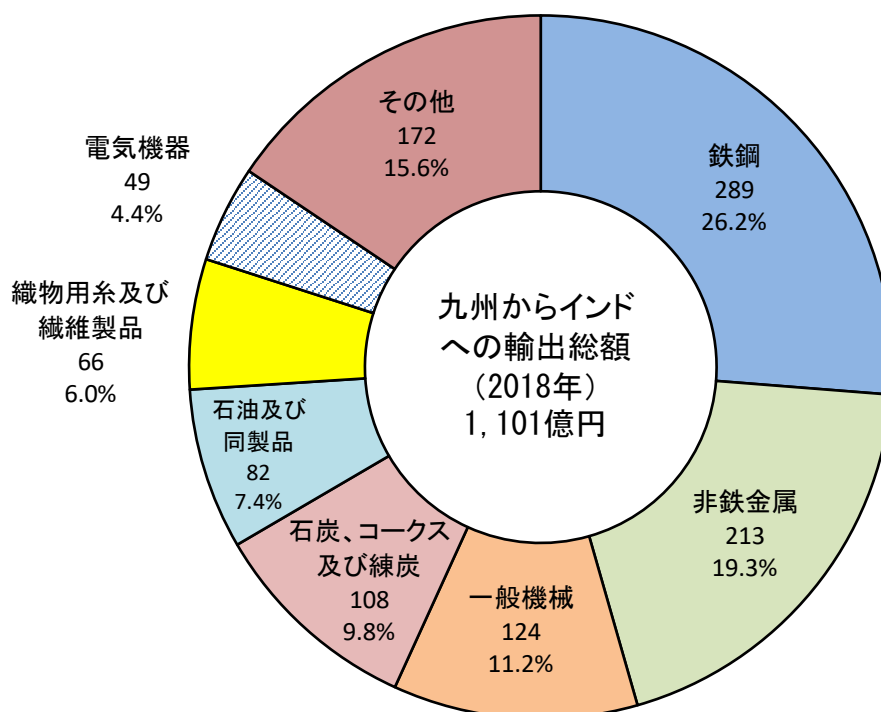


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-13-3 九州からインドへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	225	20.4%	19.7%	22.1%
銅及び同合金	非鉄金属	210	19.1%	439.7%	41.9%
コークス	石炭、コークス及び練炭	108	9.8%	▲18.8%	76.7%
石油製品	石油及び同製品	82	7.4%	928.8%	57.2%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	62	5.6%	3.9%	77.3%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	55	5.0%	141.9%	72.1%
原動機	一般機械	46	4.1%	▲13.4%	9.8%
有機化合物	元素及び化合物	37	3.3%	2.7%	8.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	28	2.6%	39.0%	65.0%
金属加工機械	一般機械	28	2.6%	63.9%	3.9%
その他		221	20.1%	—	—
総 額		1,101	100.0%	46.6%	9.1%

寄与度（増加分）：銅及び同合金（＋22.8%）、石油製品（＋9.8%）等

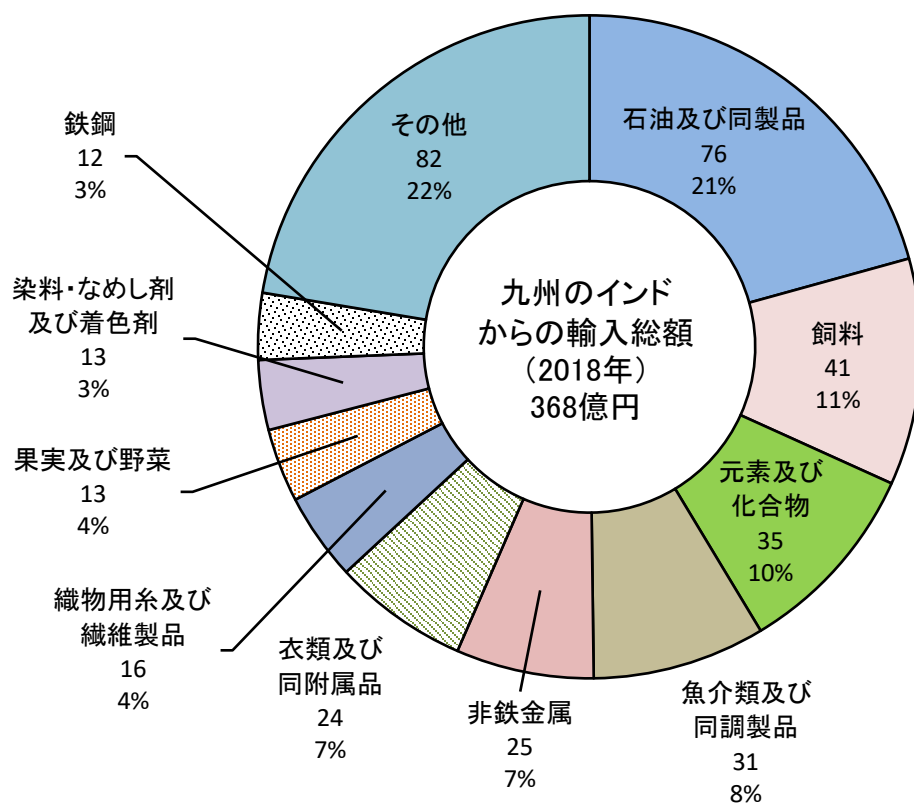
寄与度（減少分）：コークス（▲3.3%）、加熱用・冷却用機器（▲1.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-13-4 九州のインドからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石油製品	石油及び同製品	76	20.7%	▲59.1%	8.2%
植物性油かす	飼料	33	9.1%	▲38.1%	46.6%
魚介類	魚介類及び同調製品	31	8.4%	▲3.5%	6.6%
有機化合物	元素及び化合物	27	7.3%	13.4%	3.7%
衣類	衣類及び同附属品	23	6.1%	13.1%	10.6%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	13	3.6%	490.3%	5.8%
果実	果実及び野菜	13	3.5%	20.5%	12.3%
有機合成染料及びレーキ顔料	染料・なめし剤及び着色剤	12	3.3%	63.1%	14.0%
合金鉄	鉄鋼	12	3.2%	▲9.3%	4.3%
綿花	織物用繊維及びくず	11	2.9%	19.7%	63.8%
その他		117	31.8%	—	—
総 額		368	100.0%	▲22.8%	6.1%

寄与度（増加分）：アルミニウム及び同合金（＋2.3%）、

魚介類の粉、ミール及びペレット（＋1.0%）等

寄与度（減少分）：石油製品（▲23.1%）、植物性油かす（▲4.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

14 九州とEUの貿易

14-1. EU の概況

名 称	欧州連合 (European Union)
設 立	1993年11月
体 制	欧州理事会: 常任議長 ドナルド・トゥスク (Donald Tusk) 前ポーランド首相 EU理事会: 半年交替の輪番制議長国閣僚 (2019年前半ルーマニア、2019年後半フィンランド)
加 盟 国	28ヶ国: フランス、ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、英国、デンマーク、アイルランド、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、オーストリア、スウェーデン、フィンランド、キプロス、チェコ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、マルタ、ポーランド、スロバキア、スロベニア、ブルガリア、ルーマニア、クロアチア (但し、英国については、2016年6月の国民投票の結果を受け、離脱に向けて交渉中)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

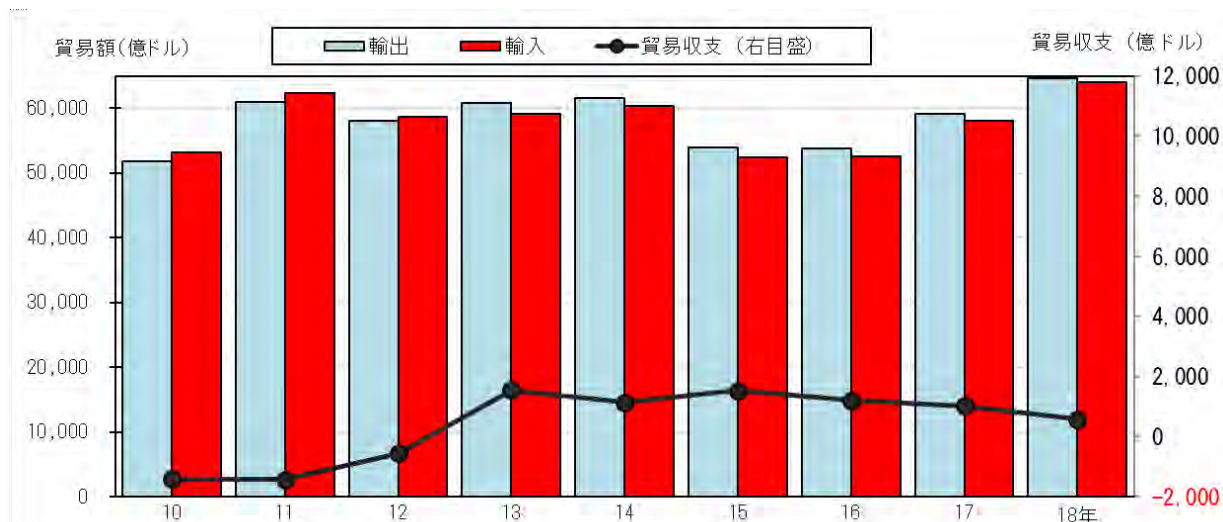
図表 2-14-1 世界の地域経済圏との比較（2018 年）

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP／人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	65,431	29,502	4,509	28,749
欧州連合 (EU)	28か国	51,193	187,085	36,545	128,785
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	49,824	235,320	47,230	61,267
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,830	26,897	9,017	6,404

出所：UNCTADstat より九州経済産業局作成。

備考：NAFTA 加盟国（アメリカ、カナダ、メキシコ）、MERCOSUR 加盟国（アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ）

図表 2-14-2 EU の対外貿易額の推移



出所：UNCTADstat より、九州経済産業局作成。

14-2. 九州とEUの貿易動向

●2018年の九州の対EU貿易額

輸出総額：5,160億円（前年比12.2%減） → 5年ぶりのマイナス

輸入総額：1,788億円（前年比12.3%増） → 2年連続のプラス

差引額：3,372億円（前年比▲912億円）

●輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、二輪自動車類、船舶類、半導体等電子部品

〈寄与度↑〉二輪自動車類品（+2.6%）、映像機器（+2.1%）

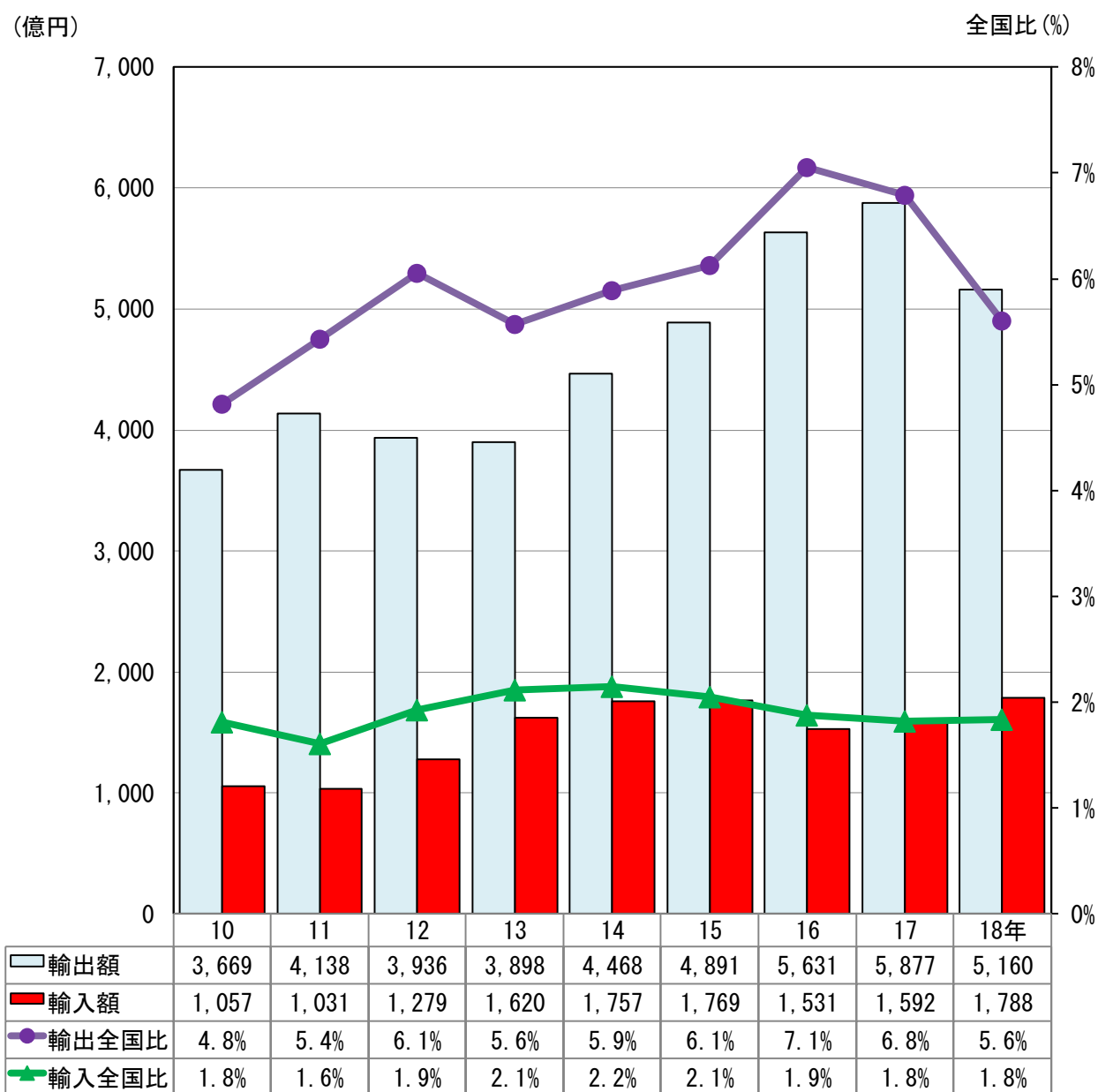
〈寄与度↓〉自動車（▲15.6%）、船舶類（▲6.8%）

●輸入品目（輸入額多い順）航空機類、原動機、自動車の部分品、銅及び同合金

〈寄与度↑〉航空機類（+10.3%）、銅及び同合金（+4.6%）

〈寄与度↓〉原動機（▲8.8%）、電気計測機器（▲2.5%）

図表 2-14-3 九州の対EU貿易額の推移

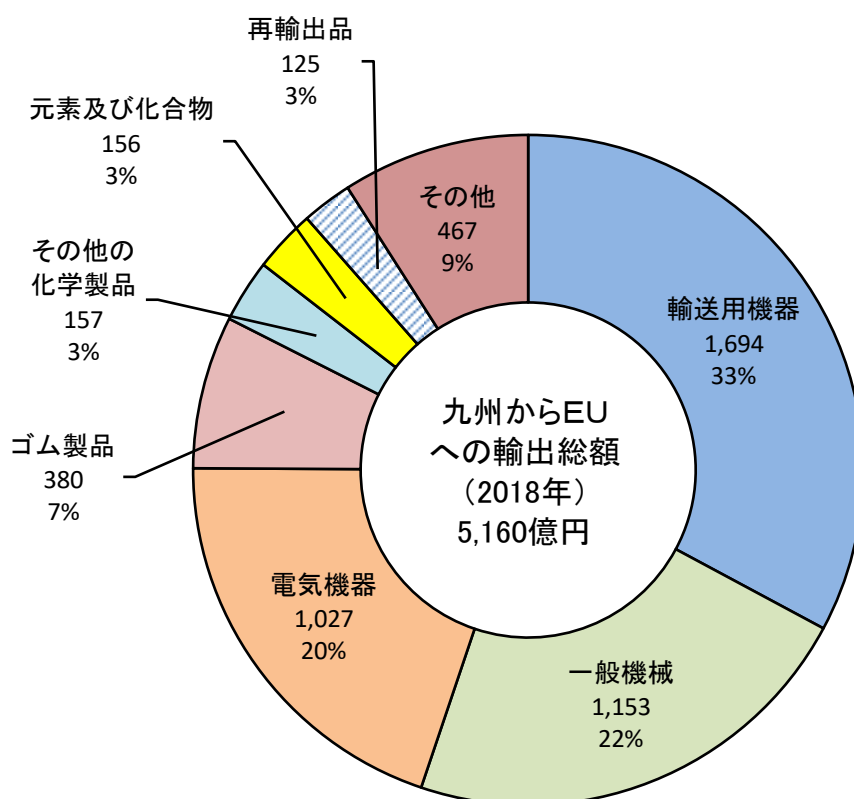


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-4 九州から EU への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



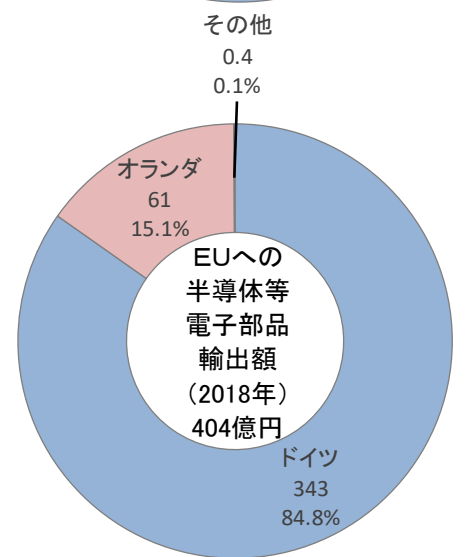
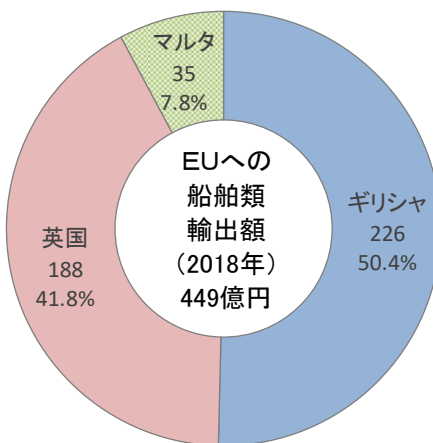
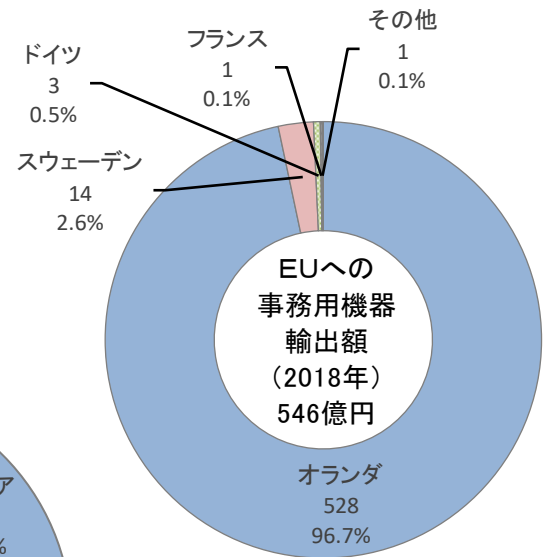
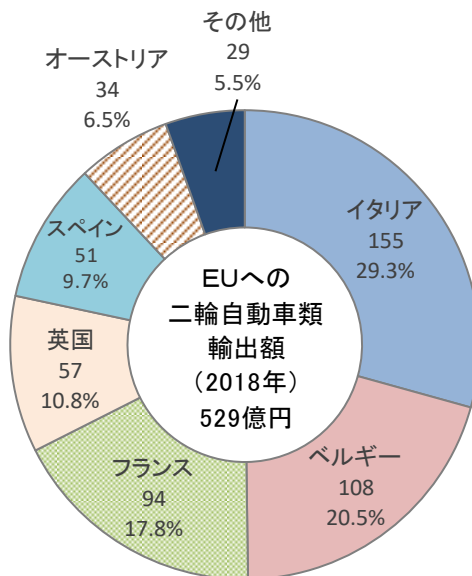
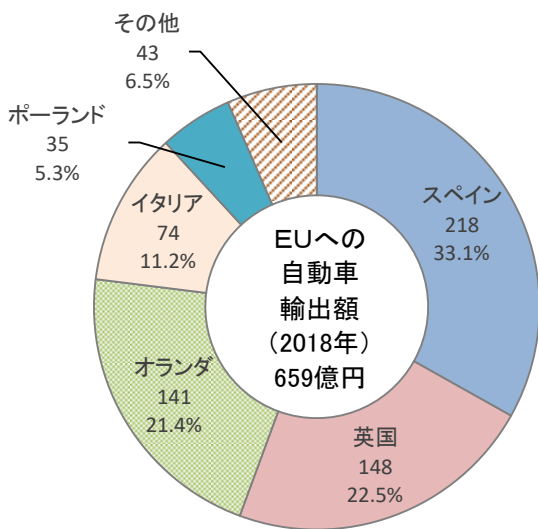
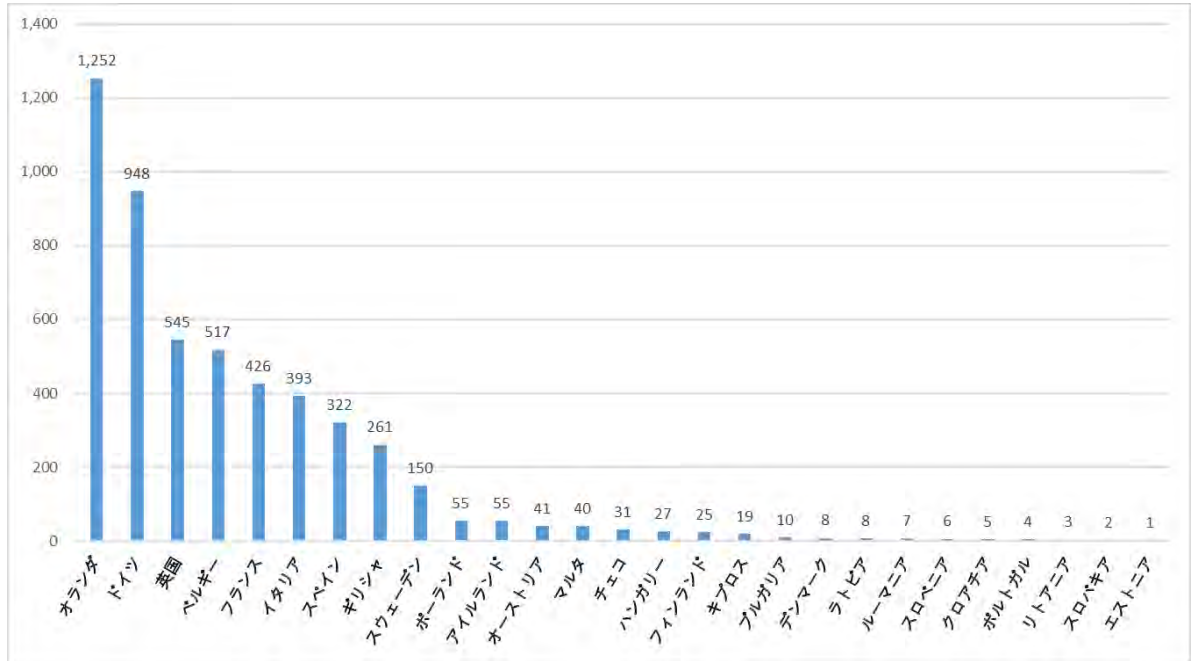
主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	659	12.8%	▲58.1%	4.8%
事務用機器	一般機械	546	10.6%	9.5%	14.4%
二輪自動車類	輸送用機器	529	10.2%	41.1%	30.8%
船舶類	輸送用機器	449	8.7%	▲47.1%	33.4%
半導体等電子部品	電気機器	404	7.8%	▲5.7%	20.4%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	369	7.1%	20.6%	46.5%
映像機器	電気機器	313	6.1%	64.9%	35.7%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	193	3.7%	33.2%	8.8%
自動車用等の電気機器	電気機器	147	2.9%	—	10.9%
有機化合物	元素及び化合物	117	2.3%	▲2.8%	4.5%
その他		1,433	27.8%	—	—
総 計		5,160	100.0%	▲12.2%	5.6%

寄与度（増加分）：二輪自動車類（+2.6%）、映像機器（+2.1%）等

寄与度（減少分）：自動車（▲15.6%）、船舶類（▲6.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-5 九州から EU への国別輸出額

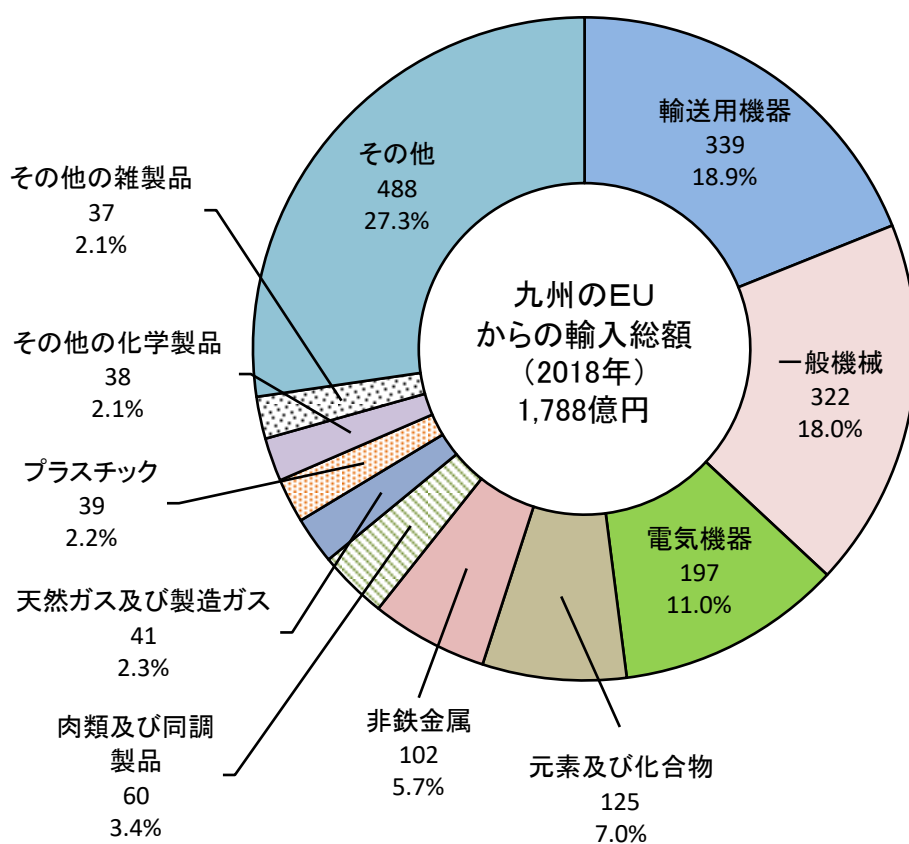


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-6 九州の EU からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



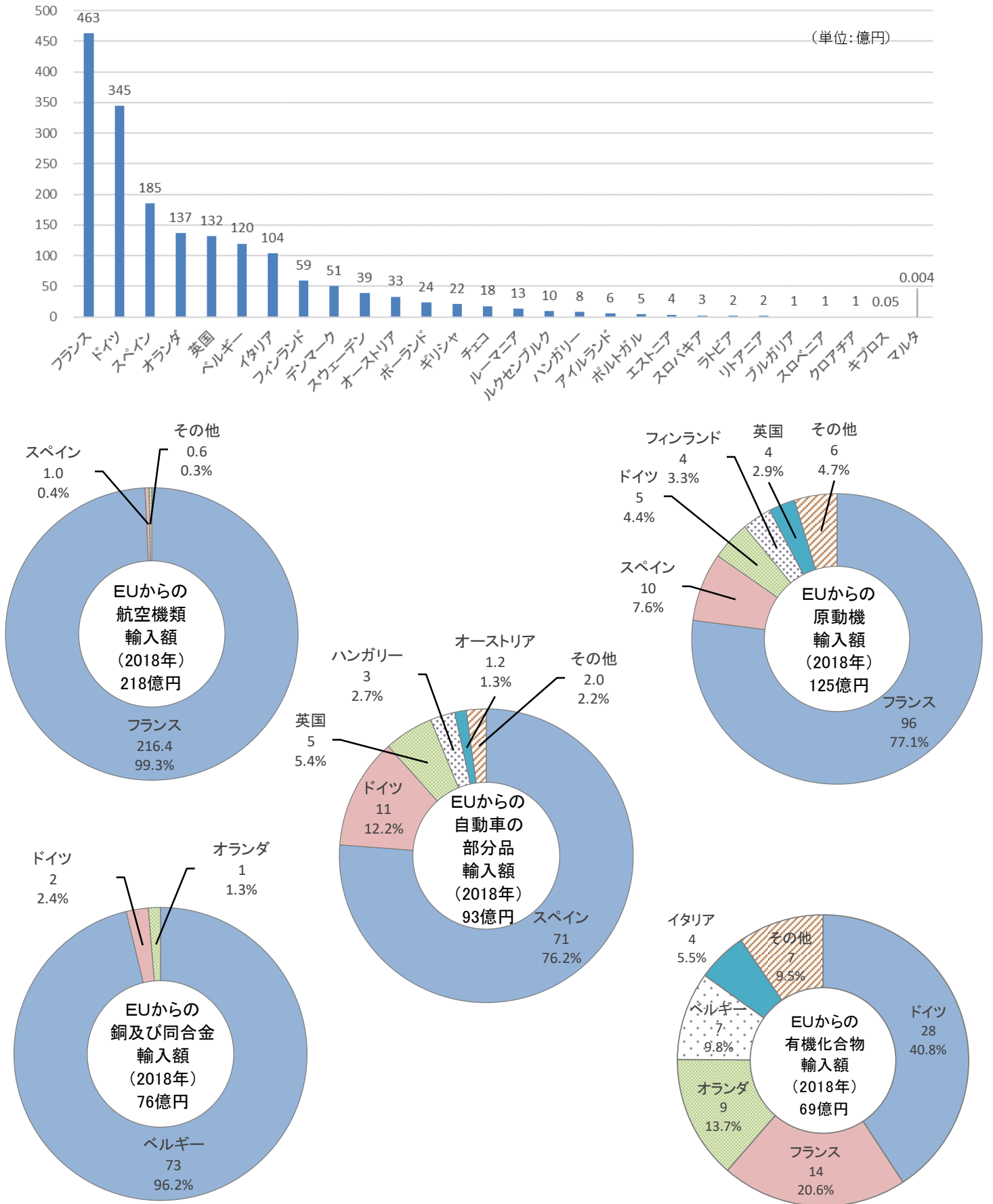
主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
航空機類	輸送用機器	218	12.2%	304.8%	12.4%
原動機	一般機械	125	7.0%	▲52.8%	1.8%
自動車の部分品	輸送用機器	93	5.2%	13.1%	6.1%
銅及び同合金	非鉄金属	76	4.2%	3297.9%	58.0%
有機化合物	元素及び化合物	69	3.9%	19.7%	1.4%
電気計測機器	電気機器	61	3.4%	▲39.2%	2.9%
無機化合物	元素及び化合物	56	3.1%	25.0%	7.1%
豚・いのししの肉	肉類及び同調製品	54	3.0%	1.3%	1.6%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	41	2.3%	—	8.5%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	40	2.3%	▲7.0%	2.3%
その他		955	53.4%	—	—
総 額		1,788	100%	12.3%	1.8%

寄与度（増加分）：航空機類（＋10.3%）、銅及び同合金（＋4.6%）等

寄与度（減少分）：原動機（▲8.8%）、電気計測機器（▲2.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-7 九州の EU からの国別輸入額



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

14-3. 九州と英国の貿易動向

● 2018 年の九州の対英国貿易額

輸出総額：545 億円（前年比 38.6%減） → 6 年ぶりのマイナス

輸入総額：132 億円（前年比 4.1%減） → 3 年連続のマイナス

差引額：413 億円（前年比 34.0%減）

● 輸出品目（輸出額多い順）船舶類、自動車、二輪自動車類

〈寄与度↑〉船舶類（+8.7%）、二輪自動車類（+2.1%）

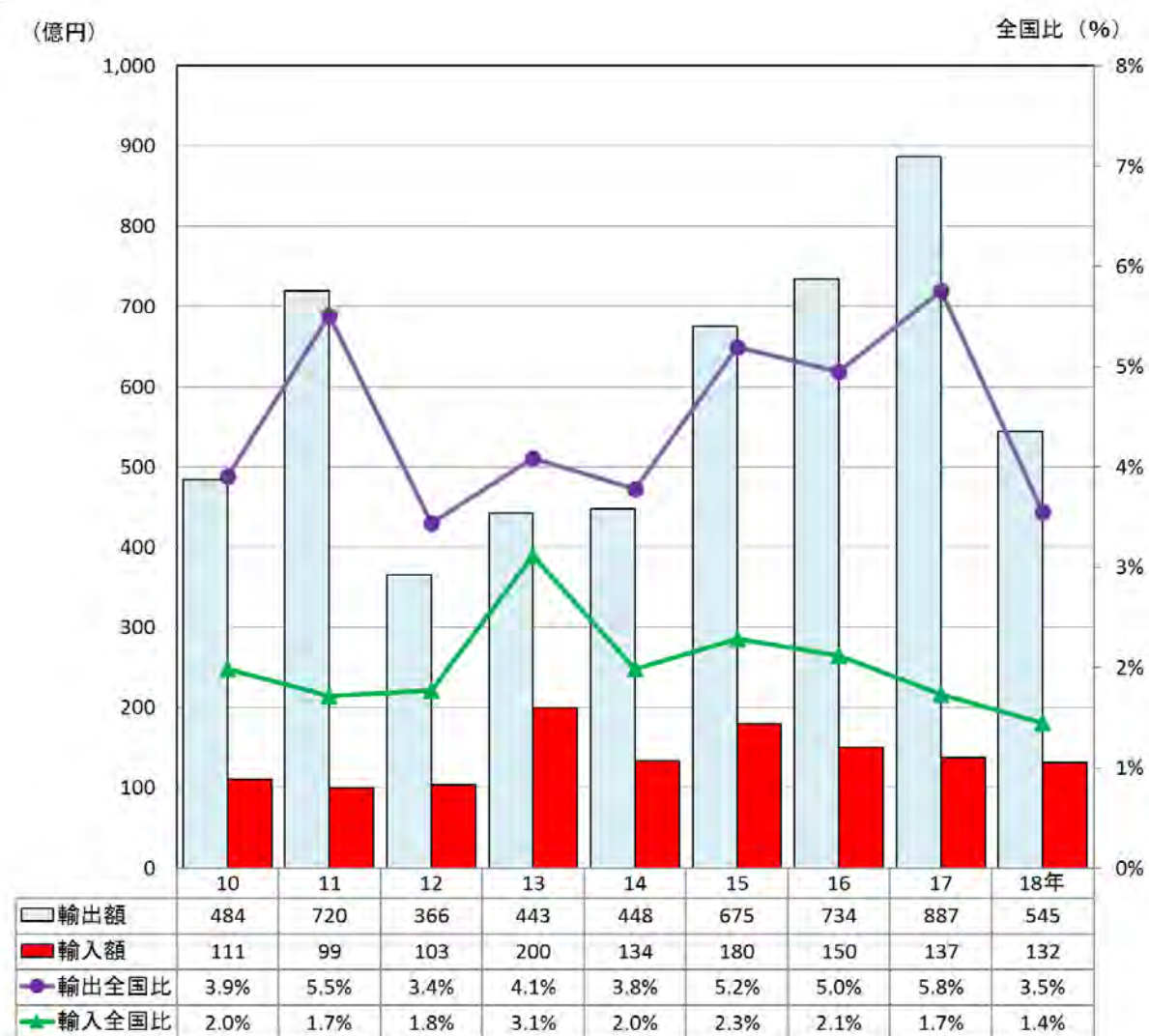
〈寄与度↓〉自動車（▲51.6%）、無機化合物（▲0.2%）

● 輸入品目（輸入額多い順）自動車、電気計測機器、音響・映像機器（含部品）

〈寄与度↑〉音響・映像機器（含部品）（+5.4%）、自動車（+4.7%）

〈寄与度↓〉電気計測機器（▲18.3%）、自動車の部分品（▲3.4%）

図表 2-14-8 九州の対英国貿易額の推移

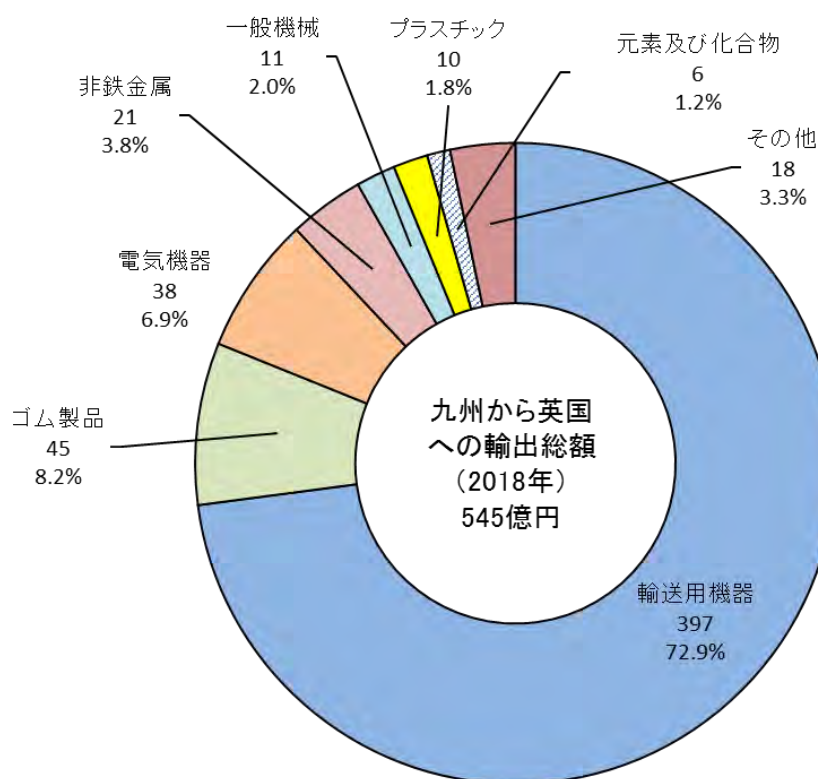


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-9 九州から英国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
船舶類	輸送用機器	188	34.5%	70.3%	87.5%
自動車	輸送用機器	148	27.2%	▲75.5%	5.8%
二輪自動車類	輸送用機器	57	10.5%	49.3%	63.5%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	44	8.1%	18.1%	46.1%
自動車用等の電気機器	電気機器	21	3.8%	9.8%	8.7%
チタン及び同合金	非鉄金属	18	3.4%	1.3%	49.3%
電気回路等の機器	電気機器	7	1.2%	265.6%	2.9%
有機化合物	元素及び化合物	6	1.1%	87.6%	2.2%
鉄道用車両	輸送用機器	4	0.7%	▲26.3%	0.4%
加熱用・冷却用機器	一般機械	4	0.7%	46.5%	2.1%
その他		49	9.0%	—	—
総 計		545	100%	▲38.6%	3.5%

寄与度（増加分）：船舶類（＋8.7%）、二輪自動車類（＋2.1%）等

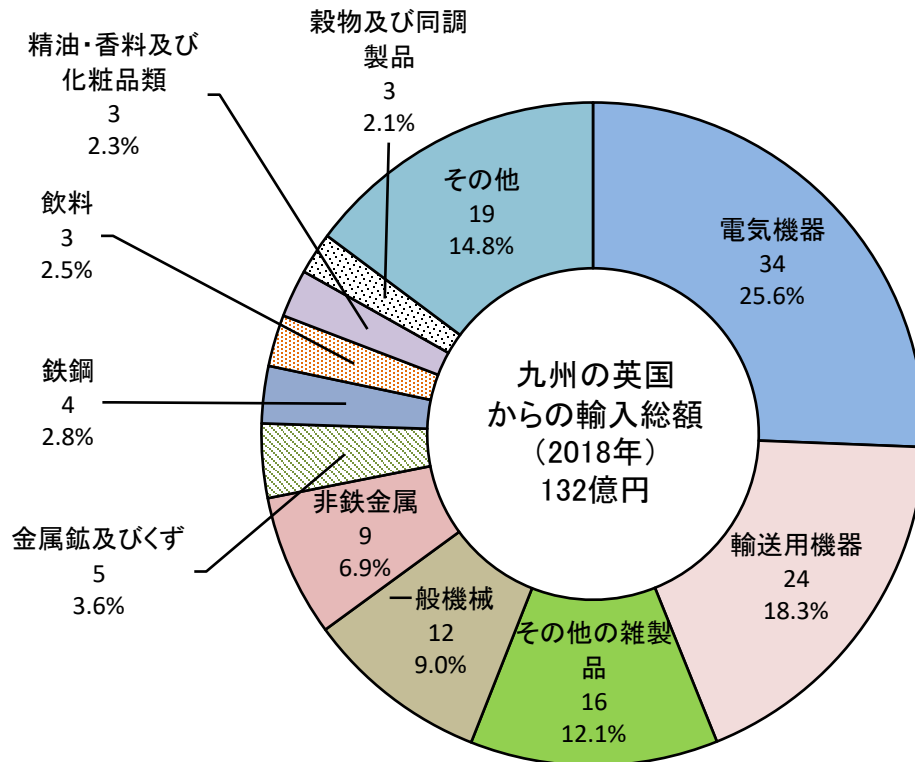
寄与度（減少分）：自動車（▲51.6%）、無機化合物（▲0.2%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-10 九州の英国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	16	12.4%	65.7%	1.0%
電気計測機器	電気機器	13	9.9%	▲65.8%	4.2%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	10	7.2%	339.6%	11.5%
ニッケル及び同合金	非鉄金属	8	6.1%	▲21.2%	9.6%
自動車の部分品	輸送用機器	5	3.8%	▲48.0%	6.5%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	4	3.0%	269.8%	17.1%
原動機	一般機械	4	2.8%	▲25.6%	0.3%
美術品・収集品及びこつとう	その他の雑製品	4	2.8%	19685.2%	8.4%
合金鉄	鉄鋼	4	2.7%	49.4%	22.9%
アルコール飲料	飲料	3	2.5%	▲10.5%	1.0%
その他		62	46.8%	—	—
総 額		132	100%	▲4.1%	1.4%

寄与度（増加分）：音響・映像機器（含部品）（＋5.4%）、自動車（＋4.7%）等

寄与度（減少分）：電気計測機器（▲18.3%）、自動車の部分品（▲3.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

15. 九州と米国の貿易

15-1. 米国の経済概況

国名	アメリカ合衆国
面積	371.8万平方マイル(962.8万平方キロメートル、50州・日本の約25倍) (内水面18.1万24平方マイル)
人口	3億875万人(2010年4月 米国国勢局)
首都	ワシントンD.C.
言語	主として英語(法律上の定めはない)
宗教	信教の自由を憲法で保障、主にキリスト教
政体	大統領制、連邦制(50州他)
主要産業	工業(全般)、農林業(小麦、トウモロコシ、大豆、木材他)、金融・保険・不動産業、サービス業

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-15-1 米国のマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.5	2.9	1.6	2.2	2.9
名目GDP総額	10億ドル	17,522	18,219	18,707	19,485	20,501
一人当たりGDP(名目)	ドル	54,952	56,718	57,815	59,792	—
輸出額	億ドル	23,767	22,667	22,158	23,511	25,000
	前年比(%)	3.6	▲ 4.6	▲ 2.2	6.1	6.3
輸入額	億ドル	28,662	27,652	27,178	29,033	31,210
	前年比(%)	4.0	▲ 3.5	▲ 1.7	6.8	7.5
貿易収支	億ドル	▲ 4,896	▲ 4,985	▲ 5,020	▲ 5,523	▲ 6,210
対日貿易収支	億ドル	▲ 676	▲ 691	▲ 688	▲ 689	▲ 676
鉱工業生産指数	前年比(%)	3.1	▲ 1.0	▲ 1.9	1.6	4.0
失業率	(%)	6.2	5.3	4.9	4.4	3.9
消費者物価	前年比(%)	1.6	0.1	1.3	2.1	2.4
直接投資受入額	億ドル	2,017	4,676	4,718	2,773	2,536*
為替レート(1ドル)	円	105.94	121.04	108.79	112.17	110.42

出所：内閣府「海外経済データ 一月次アップデートー」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)から九州経済産業局作成。

15-2. 九州と米国の貿易動向

● 2018 年の九州の対米国貿易額

輸出総額：9,405 億円（前年比 15.7%減） → 3 年ぶりのマイナス

輸入総額：4,477 億円（前年比 34.6%増） → 2 年連続のプラス

差引額：4,928 億円（前年比▲2,902 億円）

● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ

〈寄与度↑〉映像機器（+1.1%）、二輪自動車類（+1.0%）

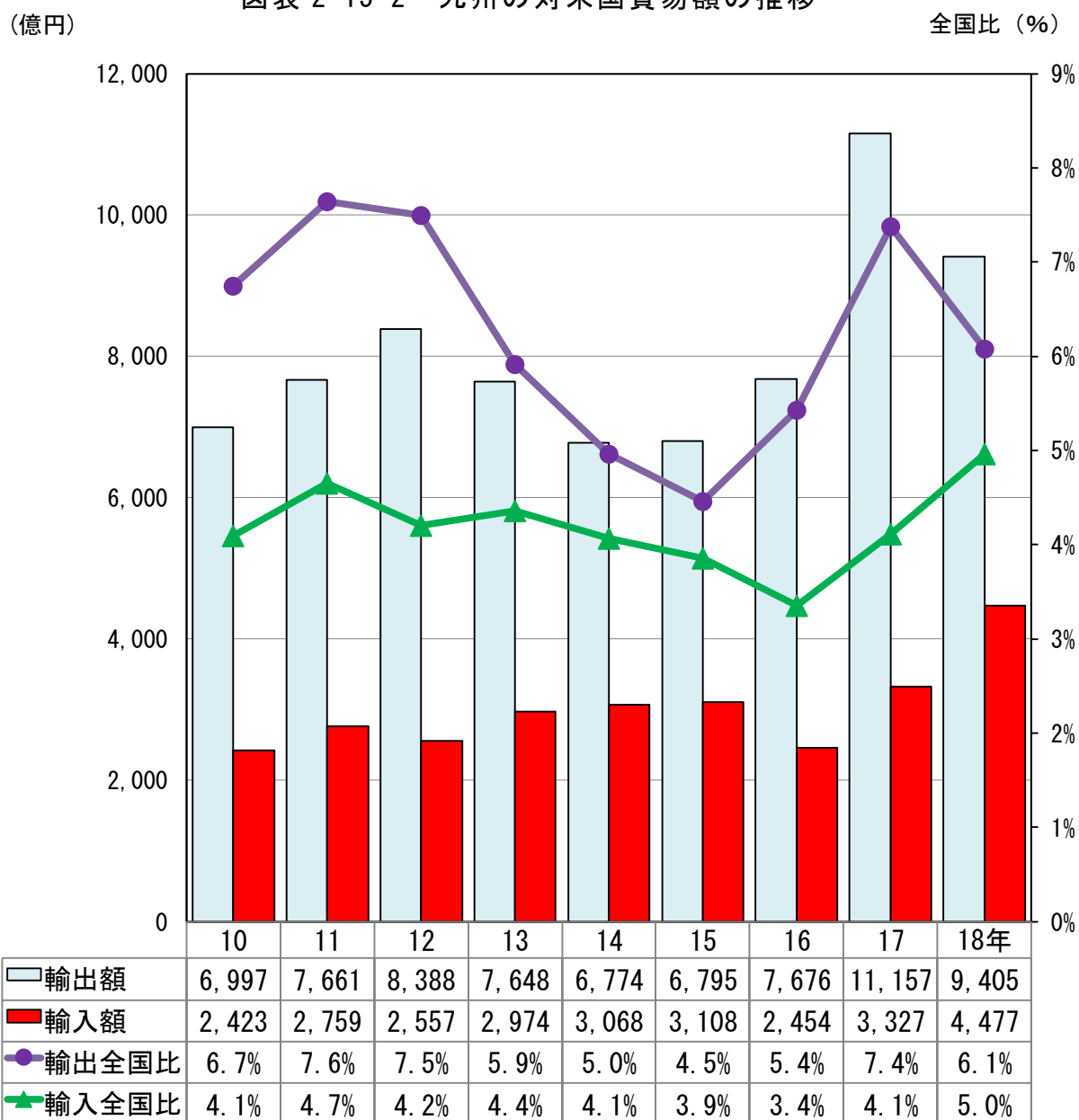
〈寄与度↓〉自動車（▲16.7%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.0%）

● 輸入品目（輸入額多い順）とうもろこし、原油及び粗油、石油ガス類

〈寄与度↑〉原油及び粗油（+15.0%）、とうもろこし（+6.0%）

〈寄与度↓〉米（▲1.0%）、電気計測機器（▲0.5%）

図表 2-15-2 九州の対米国貿易額の推移

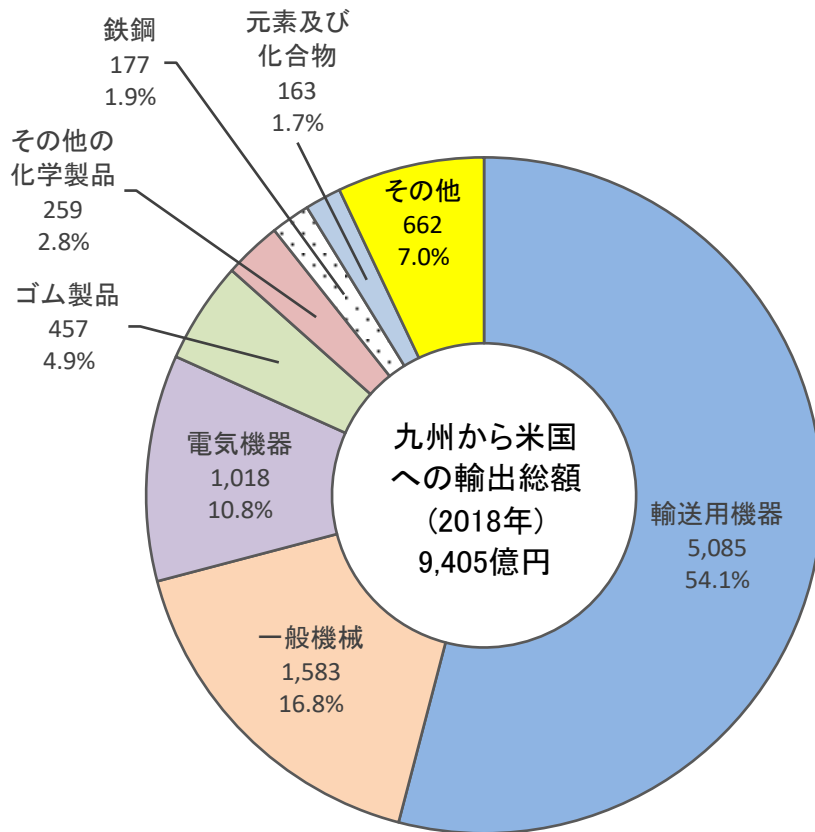


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-3 九州から米国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	4,508	47.9%	▲29.2%	10.0%
事務用機器	一般機械	570	6.1%	7.6%	15.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	412	4.4%	11.6%	32.6%
原動機	一般機械	403	4.3%	13.0%	4.4%
二輪自動車類	輸送用機器	374	4.0%	41.0%	36.4%
映像機器	電気機器	361	3.8%	50.4%	26.2%
半導体等電子部品	電気機器	250	2.7%	▲14.3%	10.7%
自動車の部分品	輸送用機器	203	2.2%	▲23.6%	2.2%
自動車用等の電気機器	電気機器	139	1.5%	▲21.7%	7.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	135	1.4%	9.4%	3.4%
その他		2,052	21.8%	—	—
総 額		9,405	100%	-15.7%	6.1%

寄与度（増加分）：映像機器（+1.1%）、二輪自動車類（+1.0%）等

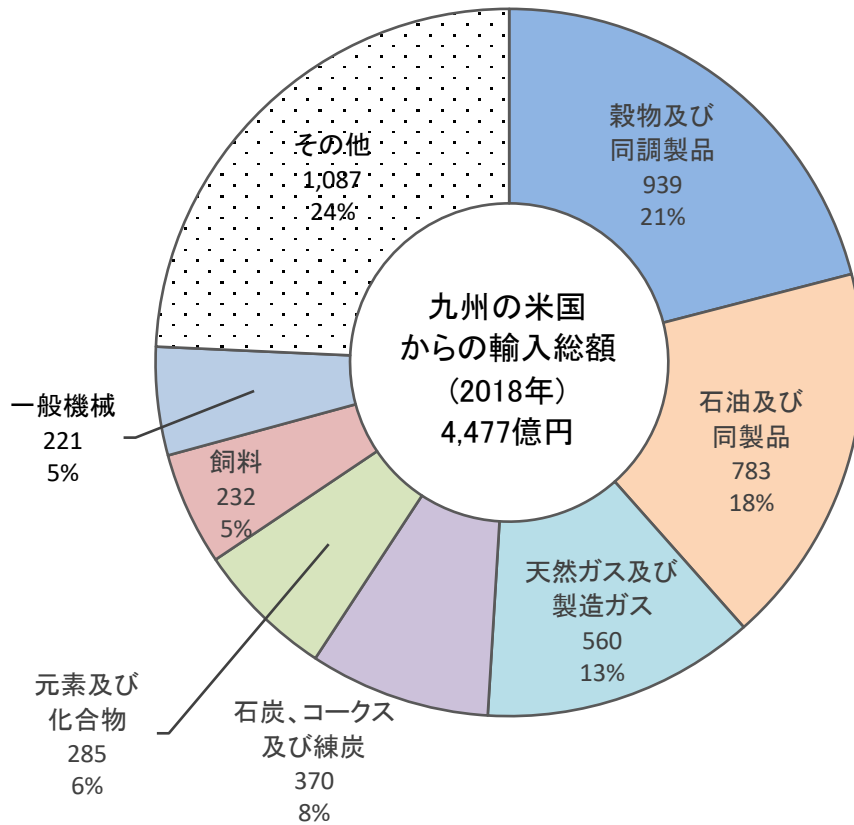
寄与度（減少分）：自動車（▲16.7%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.0%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-4 九州の米国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比 (%)	前年比 (%)	全国比 (%)
とうもろこし	穀物及び同調製品	777	17.4%	34.4%	22.7%
原油及び粗油	石油及び同製品	630	14.1%	387.6%	39.7%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	560	12.5%	36.0%	9.6%
石炭	石炭、コークス及び練炭	370	8.3%	72.5%	18.9%
石油製品	石油及び同製品	153	3.4%	▲8.0%	11.8%
有機化合物	元素及び化合物	143	3.2%	18.5%	4.4%
無機化合物	元素及び化合物	142	3.2%	57.5%	8.8%
原動機	一般機械	137	3.0%	43.4%	1.9%
魚介類	魚介類及び同調製品	136	3.0%	8.6%	9.0%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	110	2.5%	12.6%	12.6%
その他		1,321	29.5%	—	—
総 額		4,477	100%	34.6%	5.0%

寄与度（増加分）：原油及び粗油（＋15.0%）、とうもろこし（＋6.0%）等

寄与度（減少分）：米（▲1.0%）、電気計測機器（▲0.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

16. 九州とオーストラリアの貿易

16-1. オーストラリアの経済概況

国名	オーストラリア連邦
面積	769万2,024km ² (日本の約20倍、アラスカを除く米とほぼ同じ)
人口	約2,460万人(2017年6月。豪州統計局)
首都	キャンベラ
人種	アングロサクソン系等欧州系が中心。その他に中東系、アジア系、先住民など。
言語	英語
宗教	キリスト教52%、無宗教30%(2016年国勢調査)
政体	立憲君主制
主要産業	第一次産業2.2%、第二次産業26.9%、第三次産業70.9% 農林水産業(2.2%)、鉱業(9.5%)、製造業(6.3%)、建設業(8.3%)、卸売・小売業(9.1%)、運輸・通信業(8.0%)、金融・保険業(9.5%)、専門職・科学・技術サービス(6.2%)など(2015-16年度のGDP産業別シェア、豪州統計局)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-16-1 オーストラリアのマクロ経済

	単位	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.6	2.5	2.8	2.4	2.7
名目GDP総額	10億ドル	1,455	1,233	1,265	1,380	—
一人当たりGDP(名目)	ドル	61,547	51,404	51,861	55,693	—
輸出額	億ドル	2,404	1,880	1,926	2,315	2,579
	前年比(%)	1.2	▲ 6.2	3.5	16.6	14.3
輸入額	億ドル	2,383	2,073	1,985	2,209	2,380
	前年比(%)	3.3	4.3	▲ 3.2	7.9	10.5
貿易収支	億ドル	21	▲ 193	▲ 59	106	200
対日貿易収支	億ドル	268	143	79	164	—*
鉱工業生産指数	前年比(%)	4.4	1.6	1.9	1.0	3.7
失業率	(%)	6.1	6.1	5.7	5.6	5.3
消費者物価上昇率	前年比(%)	2.5	1.5	1.3	1.9	1.9
直接投資受入額	億ドル	460	374	400	451	—*
為替レート(1ドル)	豪ドル	1.11	1.33	1.35	1.30	1.34
為替レート(1豪ドル)	円	95.47	91.07	80.85	86.00	82.57

備考：貿易額については、表記載の為替レートで米ドルに換算

出所：内閣府「海外経済データ月次アップデート」(平成31年3月)、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

16-2. 九州とオーストラリアの貿易動向

● 2018 年の九州の対オーストラリア貿易額

輸出総額： 1,084 億円（前年比 8.5%増） → 2 年連続のプラス

輸入総額： 6,500 億円（前年比 11.0%増） → 2 年連続のプラス

差引額： ▲5,417 億円（前年比 ▲561 億円）

● 輸出品目（輸出額多い順）自動車、ゴムタイヤ及びチューブ、映像機器

〈寄与度↑〉自動車（+6.4%）、映像機器（+3.0%）

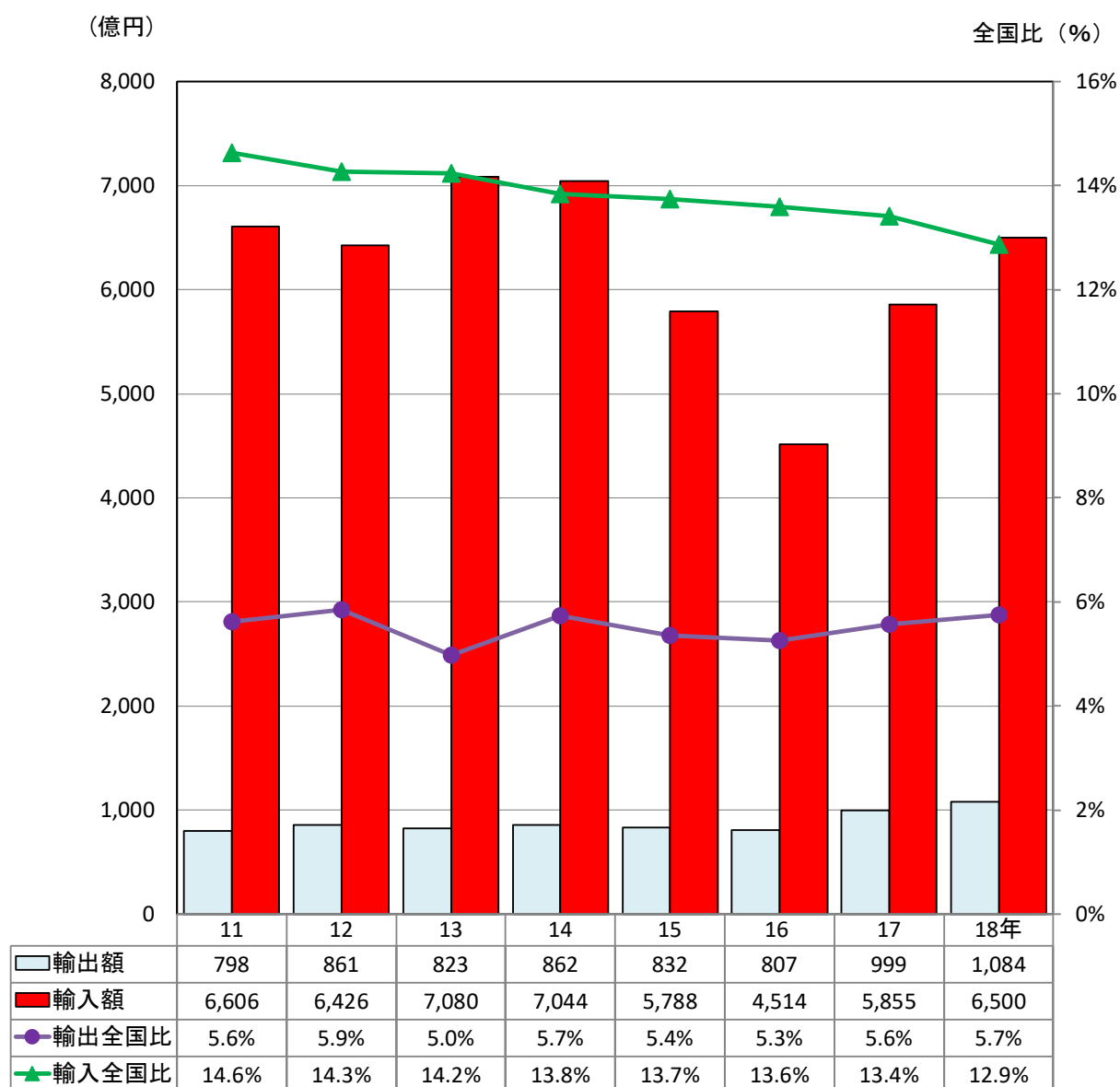
〈寄与度↓〉石油製品（▲1.0%）、セメント（▲0.7%）

● 輸入品目（輸入額多い順）石炭、石油ガス類、鉄鉱石

〈寄与度↑〉石油ガス類（+5.4%）、石炭（+2.3%）

〈寄与度↓〉砂糖（▲0.3%）、粗鉱物（除りん鉱石）（▲0.1%）

図表 2-16-2 九州の対オーストラリア貿易額の推移

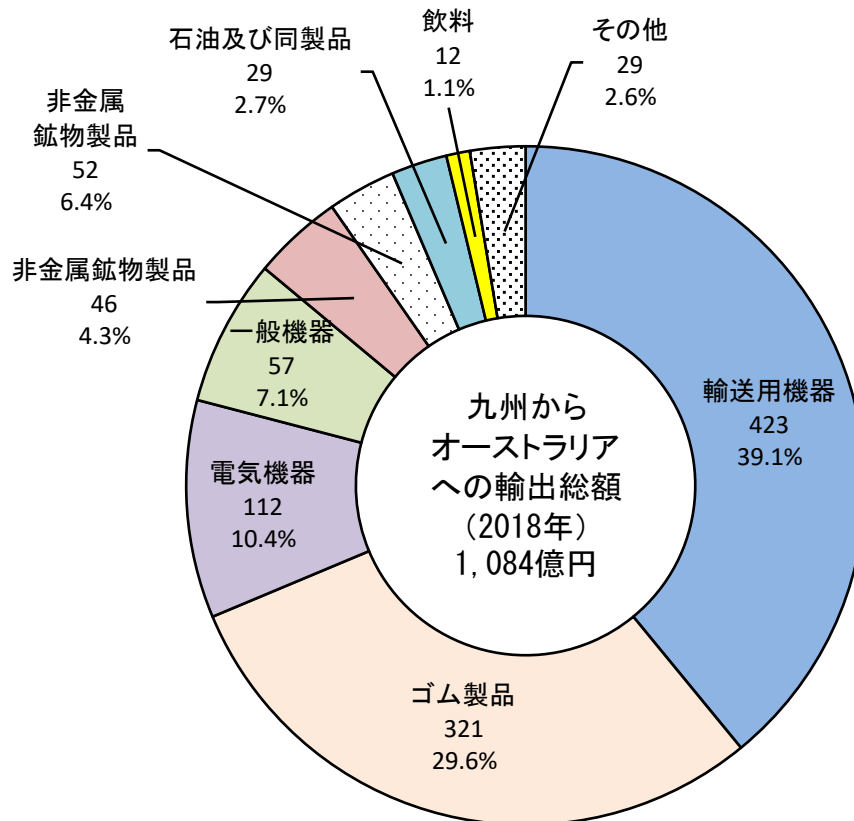


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-3 九州からオーストラリアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
自動車	輸送用機器	396	36.6%	19.2%	4.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	321	29.6%	4.0%	59.0%
映像機器	電気機器	92	8.5%	47.3%	80.1%
セメント	非金属鉱物製品	44	4.1%	▲13.5%	66.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	31	2.9%	▲10.5%	4.3%
石油製品	石油及び同製品	29	2.7%	▲26.0%	1.1%
二輪自動車類	輸送用機器	27	2.5%	25.1%	22.9%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	25	2.3%	▲9.9%	79.3%
加熱用・冷却用機器	一般機械	23	2.1%	▲2.2%	13.9%
自動車用等の電気機器	電気機器	17	1.6%	▲18.9%	27.0%
その他		78	7.2%	—	—
総 額		1,084	100%	8.5%	5.7%

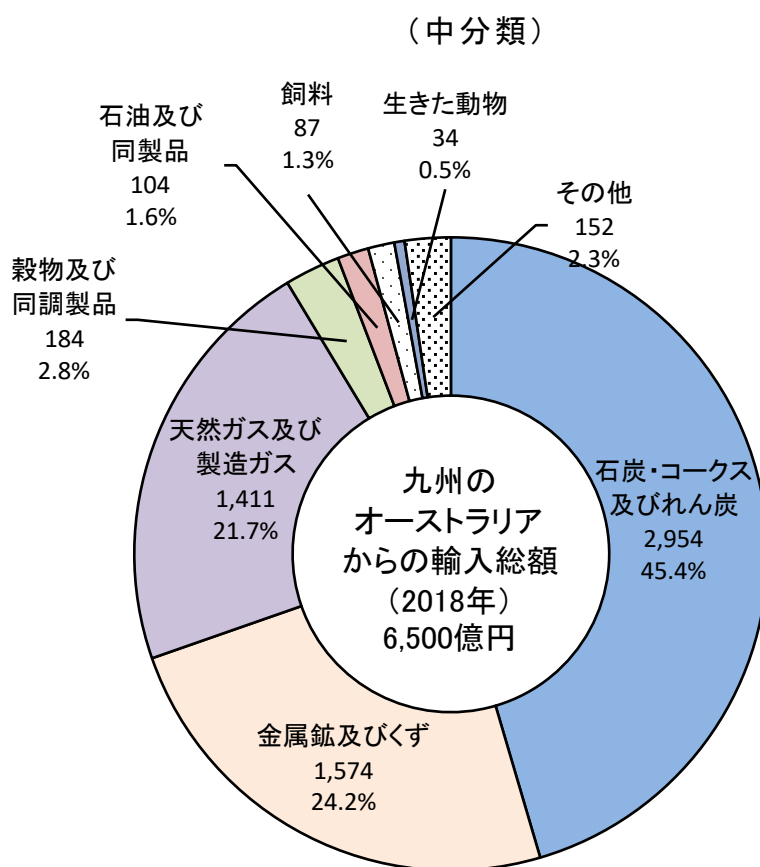
寄与度（増加分）：自動車（＋6.4%）、映像機器（＋3.0%）等

寄与度（減少分）：石油製品（▲1.0%）、セメント（▲0.7%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-4 九州のオーストラリアからの輸入品目

(単位：億円、%)



主な輸入品目	中分類	輸入額 (億円)	構成比(%)	前年比(%)	全国比(%)
石炭	石炭、コークス及び練炭	2,954	45.4%	4.7%	17.1%
石油ガス類	天然ガス及び製造ガス	1,411	21.7%	29.0%	8.3%
鉄鉱石	金属鉱及びびくず	932	14.3%	▲0.3%	18.2%
非鉄金属鉱	金属鉱及びびくず	633	9.7%	25.6%	31.5%
大麦及びはだか麦	穀物及び同調製品	117	1.8%	6.5%	45.2%
原油及び粗油	石油及び同製品	104	1.6%	145.1%	35.3%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	33	0.5%	▲12.5%	11.0%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	31	0.5%	▲9.6%	2.3%
砂糖	糖類及び同調製品・はちみつ	28	0.4%	▲34.7%	8.8%
米	穀物及び同調製品	27	0.4%	2331.5%	45.8%
その他		230	3.5%	—	—
総 額		6,500	100.0%	11.0%	12.9%

寄与度（増加分）：石油ガス類（＋5.4%）、石炭（＋2.3%）等

寄与度（減少分）：砂糖（▲0.3%）、粗鉱物（除りん鉱石）（▲0.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。